

Kotanraunkur a-wen yubi a-tokse honihi shirkooterke

コタンラびとに腹を踏まれた姫が物語る

第 1 章

トミサンベチ・シヌタプカ

1.1 平和な日常

p. 1

- 1 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまと
- 2 a-koro unarbe
ア・コロ ウナラベ
我・もつ おば
一人のおばさまが
- 3 i-reshba wa.
イ・レシバ ワ.
我・育てる (文終結)
あたしたちを育てていました。
- 4 Pon a-koro sapo tura
ボン ア・コロ サポ トウラ
小さい 我・もつ 姉 ともに
姉さまと
- 5 tun a-ne wa
トゥン ア・ネ ワ
二人 我・である (接続)
あたしたち二人は
- 6 shino nokambe a-ne wa
シノ ノカムベ ア・ネ ワ
まことに 幼い者 我・である (接続)
まだとても幼くて
- 7 i-ukoreshba-an. Aine
イ・ウコレシバ・アン. アイネ
我・一緒に育てられる (接続)
養育されているうちに、
- 8 tane ne kusu
タネ ネ クス
今 (繫辞類) (理由・目的)
今はもう
- 9 uwesamanno
ウエサマンノ
いっしょに
二人とも
- 10 semor borono
セモロ ボロノ
(否定) 大きく
かなり大きくなって
- 11 okai-an.
オカイ・アン.
いる・我ら
いました。
- 12 Pon a-kor sapo
ボン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
あたしの姉さまである
- 13 Ikoshikupmat*¹
イコシクプマト
(人名)
イコシクプマツ (許婚がいる女性) は
- 14 tane wakka ta ka
タネ ワクカ タ カ
今 水 汲む も
もう水汲みや
- 15 munuiba ka
ムヌイバ カ
掃除する も
掃除も
- 16 eashkai kane.
エアシカイ カネ.
できる (同時)
できるようになりました。
- 17 Aokai anakne
アオカイ アナクネ
我 は
あたしは
- 18 tokap an ko
トカプ アン コ
昼 ある (条件)
昼は
- 19 uina oro beka
ウイナ オロ ベカ
手に取る 所 で
炉の中で

*¹ 知里真志保は「i-ko-shikup-mat <その人・のために・成長した・女> 《幌別》いいなずけの妻」(人 515) だという。本編では Kotanraunkur のいいなずけ、あるいは許婚がいる女の意で使っているか。ここでは <我・と共に・育った・女> = pon a-kor sapo <若き我・の 姉> の通称として扱った。

- 20 **koikor-an kane**
 コイコロ・アン カネ
 波を切って泳ぐ (同時)
 灰まみれになって
- 21 **yaiturashinot-an kane.**
 ヤイトウラシノト・アン カネ.
 一人遊びする・我 (同時)
 一人遊びをしていました。
- 22 **Kunne an ko**
 クンネ アン コ
 ように ある (条件)
 夜になれば
- 23 **harkisotta**
 ハラキソッタ
 左座に
 左座にある
- 24 **pon a-kor sapo**
 ポン ア・コロ サポ
 小さい 我・もつ 姉
 姉さまの
- 25 **ehotke ita**
 エホトケ イタ
 横たわる ときに
 寢床で
- 26 **utumam-an wa**
 ウトゥマム・アン ワ
 抱き合う・我 (接続)
 抱き合って
- 27 **hotke-an ranke.**
 ホトケ・アン ランケ.
 寝る・我 (反復)
 いつも寝ていました。
- 28 **I-resu yubi**
 イ・レス ユビ
 我・育てる 兄
 兄さまほどの人は
- 29 **ine moshit ta**
 イネ モシト タ
 (接続) どこ 国土 (場所)
 どこの国
- 30 **ine kotan ta**
 イネ コタン タ
 (接続) どこ 村 (場所)
 どこの村に
- 31 **eturbak shirka**
 エトゥルバク シリカ
 並ぶ 鞞
 それに匹敵する風貌
- 32 **eturbak nanka**
 エトゥルバク ナンカ
 並ぶ 顔面
 それに負けない容貌の人が
- 33 **okai nankora.**
 オカイ ナンコラ.
 ある だろうか
 いるでしょうか。
- 34 **Kamui shiri ne**
 カムイ シリ ネ
 神 様子 (繫辞類)
 神の如き様をして
- 35 **bito shiri ne**
 ビト シリ ネ
 人 様子 (繫辞類)
 尊貴な方の如き様をして
- 36 **okutchi urar**
 オクトチ ウララ
 たちこめる 霧
 濃くかげるもや
- 37 **urar tumu**
 ウララ トウム
 霧 中
 もやの中
- 38 **yayomare,**
 ヤヨマレ,
 自分を入れる
 に身を入れ、
- 39 **kani kosonte**
 カニ コソンテ
 黄金 小袖
 金襴の刺繍衣を
- 40 **arutomechiu,**
 アルトメチウ,
 身にまとう
 襲ね着し、
- 41 **imut orunno**
 イムト オルunno
 腰に差す (不明)
 刀や鎧兜にも増して
- 42 **shibopke ruwe**
 シボプケ ルウエ
 着る物 跡
 その衣装は
- 43 **a-koerayap.**
 ア・コエラヤブ.
 我・感嘆する
 すばらしい。
- 44 **A-kor unarbe**
 ア・コロ ウナラベ
 我・もつ おば
 育てのおばさま
- 45 **newa ne yakka**
 ネワ ネ ヤクカ
 であって (繫辞類) (譲歩)
 にしても
- 46 **ene wa boka**
 エネ ワ ボカ
 このように から さえ
 言葉では
- 47 **a-reka i ka**
 ア・レカ イ カ
 我・ほめる こと も
 表せないほどの

- 48 **isam kane.**
イサム カネ.
無い (同時)
美しさです。
- 49 **A-un chise**
ア・ウン チセ
我・いる 家
あたしたちの家は
- 50 **ineapkus**
イネアプクス
何と
なんとまあ
- 51 **a-tomte wa**
ア・トムテ ワ
輝いている (接続)
美しく飾られて
- 52 **shiran nankora.**
シラン ナンコラ.
有様である だろうか
いたでしょうか。
- 53 **Tam boro chise**
タム ボロ チセ
この 大きい 家
この大館
- 54 **upsoroho**
ウブソロホ
内部
その内部は
- 55 **a-tomte kashba.**
ア・トムテ カシバ.
輝いている 甚だしい
いくら褒めちぎっても足りないほど。
- 56 **Rorunsopa ta**
ロルンソパ タ
上座の上手 (場所)
横座のかみてには
- 57 **kamuikorobe**
カムイコロベ
宝物
大切な什器祭器が
- 58 **ram besh kunne**
ラム ベシ クンネ
低い 崖 ように
低い崖のように
- 59 **chishiturire.*2**
チシトゥリレ.
伸びる
並んでいます。
- 60 **Kurkashike**
クルカシケ
上
そのあたり一帯に
- 61 **kamui imeru**
カムイ イメル
神 光
神の霊光が
- 62 **eshimaka.**
エシマカ.
輝く
ピカピカ光を放っています。
- 63 **Nei enkashi ta**
ネイ エンカシ タ
その 離れた上 (場所)
その上方の壁には
- 64 **nishpa mutbe**
ニシパ ムトベ
長者 差す太刀
首領の太刀の
- 65 **otu san atu**
オトゥ サン アトゥ
二つの くだる 紐
肩から下げる平織りの紐
- 66 **ore san atu**
オレ サン アトゥ
三つの くだる 紐
何本もの刀帯が
- 67 **cheunruke*3**
チェウンルケ
位置している
壁にかかっている、
- 68 **ukorambusa**
ウコラムブサ
どれも垂れた房 (を)
吊り帯端につく四角い布が
- 69 **suipa kane.**
スイパ カネ.
揺する (同時)
ゆらゆら揺れていました。
- 70 **Ikit tukari**
イキト トウカリ
列 手前
宝列のすぐ手前に
- 71 **kani amset**
カニ アムセト
黄金 寝台
美しい座台が
- 72 **chishiturire.**
チシトゥリレ.
伸びる
ずうっと延びています。
- 73 **Amset kurka**
アムセト クルカ
寝台 上
座台の上には

p. 2

*2 原綴 chishiturire の chishi のみ。

*3 ← chi-e-unruke <ている・そこへ・～を～にはめる>

コタンラびとに腹を踏まれた姫が物語る

- 74 **I-resu yubi**
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまが
- 75 **ehorarba.**
エホララバ、
居る
お座りになっていました。
- 76 **Keshto an ko**
ケシト アン コ
毎日 ある (条件)
毎日毎日
- 77 **kebushbe nuye**
ケブシベ スイエ
鞘 彫り刻む
刀鞘の彫刻
- 78 **shirika nuye**
シリカ スイエ
表面 彫り刻む
宝器表の彫刻
- 79 **kokipshirechiu.**
コキブシレチウ、
熱中する
に熱中していました。
- 80 **Shiso sam ta**
シソ サム タ
右座 そば (場所)
右座側には
- 81 **ikit tukari wano**
イキト トウカリ ワノ
列 手前 から
宝列の手前から
- 82 **kani matchuyop**
カニ マトチュヨブ
黄金 女持ちの手函
美しい女筐の
- 83 **boro ikiri**
ボロ イキリ
大きい 列
たくさんの列が
- 84 **utur un shikkeu**
ウトウル ウン シクケウ
火尻座 (方向) 隅
下座の隅まで
- 85 **chieushi.**
チエウシ、
とどく
連なっています。
- 86 **Nei kotchake**
ネイ コトチャケ
その 前
その前面には
- 87 **menoko mukru**
メノコ ムクル
女 枕
女持ちの枕
- 88 **kani mukru**
カニ ムクル
黄金 枕
美しい枕が
- 89 **chishiturire.**
チシトゥリレ、
伸びる
伸びていました。
- 90 **Enkashi ta**
エンカシ タ
離れた上 (場所)
その上方には
- 91 **nekona shiko p**
ネコナ シコ プ
どのように 目がついている もの
どのような目をした者が
- 92 **nekona boro p**
ネコナ ボロ プ
どのように 大きい もの
どのような口をした者が
- 93 **tekekar kuni p**
テケカラ クニ プ
手ずから作る はずの もの
手ずからつくったもの
- 94 **ne nankora.**
ネ ナンコラ、
(繫辞類) だろうか
なのでしょうか。
- 95 **Kamui chikirbe**
カムイ チキリベ
神 刺繍衣
神々しいほど美しい小袖
- 96 **kani chikirbe**
カニ チキリベ
黄金 刺繍衣
金糸銀糸の刺繍衣で
- 97 **rikun kakenchai**
リクン カケンチャイ
上にある 掛け竿
上段の掛竿
- 98 **ranke kakenchai**
ランケ カケンチャイ
下の 掛け竿
下段の掛竿が
- 99 **eereweuse.**
エエレウェウセ、
しなる
しなっています。
- 100 **Kurkashke**
クルカシケ
上
その上には
- 101 **tu kamui chupki**
トゥ カムイ チュプキ
二つの 神 光
たくさんの神々しい光

- 102 re kamui chupki
レ カムイ チュプキ
三つの 神 光
いくつもの神々しい光が
- 103 eshimaka.
エシマカ.
輝く
照り輝いていました。
- 104 Anramasu
アンラマス
まったく好ましい
まったく好ましく
- 105 a-uwesuye.
ア・ウウエスイエ.
我・思う
心動かされる光景です。
- 106 Kani so kurka
カニ ソ クルカ
黄金 平面上
黄金色の床には
- 107 koteshnataru,
コテシナタラ,
平らになっている
ずらっとござが敷きのべられ、
- 108 kani inumbe
カニ イヌムベ
黄金 炉縁
こがねの炉縁が
- 109 baye ruwe konna
バイエ ルウエ コンナ
行く 跡 は
戸口へ向かって
- 110 rumaibe etom ne kane.
ルマイベ エトム ネ カネ.
(色の名。未詳) (不詳) (繫辞類) (同時)
ルマイベ色に伸びています。
- 111 A-kor unarbe
ア・コロ ウナラベ
我・もつ おば
育てのおばさまは
- 112 karkar kuni p
カラカラ クニ プ
刺繍する ところ もの
針仕事に
- 113 attomsama
アトトムサマ
中
夢中になって
- 114 yayomare.
ヤヨマレ.
自分を入れる
うちこんでいます。
- 115 Ineapkus
イネアプクス
何と
なんとまあ
- 116 ashkai wa
アシカイ ワ
上手である (接続)
お上手に
- 117 ikichi nankora.
イキチ ナンコラ.
する だろうか
していることでしょうか。
- 118 Karkar kuni p
カラカラ クニ プ
刺繍する ところ もの
おばさまが刺繍したものは
- 119 tu kamui nish ne
トゥ カムイ ニシ ネ
二つの 神 雲 (繫辞類)
たくさんの神々しい雲
- 120 re kamui nish ne
レ カムイ ニシ ネ
三つの 神 雲 (繫辞類)
いくつもの神々しい雲となって
- 121 yayebumba kane.
ヤイエブムバ カネ.
立ちのぼる (同時)
立ち昇るほどでした。
- 122 Ikoshikupmat
イコシクプマト
(人名)
イコシクプマツである
- 123 pon a-kor sapo
ボン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
あたしの姉さま
- 124 newa ne yakka
ネワ ネ ヤクカ
であって (繫辞類) (譲歩)
も
- 125 keshto ikarkar
ケシト イカラカラ
毎日 刺繍する
毎日刺繍を
- 126 eyaihanokkar aine
エヤイハノクカラ アイネ
稽古する (接続)
練習して
- 127 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
今はもう
- 128 shino ashkai.
シノ アシカイ.
まことに 上手である
すっかり上手です。
- 129 Aokai ne yakka
アオカイ ネ ヤクカ
我 (繫辞類) (譲歩)
あたしも

- 130 **rupne bukuru**
ルフネ ブクル
大きい 袋
大きく膨らんだり
- 131 **nokan bukuru**
ノカン ブクル
幼い 袋
小さく縮んでひきつれた
- 132 **a-uchiupare wa.**
ア・ウチウパレ ワ.
我・引っ張り合う (文終結)
刺繍のまねごとをしました。
- 133 **I-resu yubi**
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまと
- 134 **a-kor unarbe**
ア・コロ ウナラベ
我・もつ おば
おばさまや
- 135 **pon a-kor sapo**
ポン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
あたしの姉さまに
- 136 **a-nukare ko,**
ア・ヌカレ コ,
我・見せる (条件)
それを見せると、
- 137 **ashkai-an manu**
アシカイ・アン マヌ
上手である・我 という
お上手だと
- 138 **anrekakare ko**
アンレカカレ コ
すっかり褒められる (条件)
すっかりほめられて
- 139 **obittano**
オビトタノ
皆
みんなで
- 140 **shietu uina**
シエトゥ ウイナ
自分の鼻 手に取る
鼻をおさえ
- 141 **shibar uina**
シバラ ウイナ
自分の口 手に取る
口をおさえて驚き
- 142 **ashkai-an manu**
アシカイ・アン マヌ
上手である・我 という
あたしが上手だと
- 143 **anrekakarba.**
アンレカカラバ.
まったく褒める
ほめそやしました。
- 144 **Ponno shirantek ko**
ボンノ シランテク コ
少し 時がたつ (条件)
しばらくして
- 145 **kanantano kane**
カナンタノ カネ
変に (同時)
何となく変な
- 146 **humash wakusu**
フマシ ワクス
気配がする (接続)
気がしたから
- 147 **inkar-an ko,**
インカラ・アン コ,
見る・我 (条件)
見てみると、
- 148 **I-resu yubi**
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまと
- 149 **a-kor unarbe**
ア・コロ ウナラベ
我・もつ おば
おばさまや
- 150 **Ikoshikupmat**
イコシクプマト
(人名)
イコシクプマツである
- 151 **pon a-kor sapo**
ポン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
あたしの姉さまは
- 152 **shineikinne**
シネイキンネ
一斉に
いつせいに
- 153 **shisembir un wa**
シセムビリ ウン ワ
自分の後ろ (方向) から
後ろへ
- 154 **shikirpa hine**
シキリパ ヒネ
振り向く (接続)
振り向いて
- 155 **bituntunke**
ビトゥントウンケ
クックと忍び笑う
おかしさをこらえ
- 156 **bikitkitche newa**
ビキトキトチェ ネワ
クスクス忍び笑う であって
クスクス笑っていたのです。
- 157 **A-rushka kusu**
ア・ルシカ クス
我・怒る (理由・目的)
あたしは腹を立てて

- 158 **kuttokono**
クトトコノ
逆さまに
仰向けになり
- 159 **makachinkan-**
マカチンカン・
倒れて足を
両足を宙に
- 160 **hokush-an kane**
ホクシ・アン カネ
倒れる・我ら (同時)
蹴り上げて
- 161 **hotakutaku-an.**
ホタクタク・アン.
足をバタバタする・我
足をバタバタ。
- 162 **Karkarse-an kane**
カラカラセ・アン カネ
転がる・我 (同時)
ゴロゴロ転げまわって
- 163 **wen rayaise**
ウェン ラヤイセ
悪い 泣き叫ぶ
大声で泣き叫び
- 164 **an-ekiyarashpa ko,**
アネキヤラシパ コ,
(不詳) (条件)
駄々をこねると、
- 165 **I-resu yubi**
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまや
- 166 **a-kor unarbe**
ア・コロ ウナラベ
我・もつ おば
おばさまや
- 167 **pon a-kor sapo**
ポン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
姉さまは
- 168 **yaikimui ka**
ヤイクミイ カ
自分の髪 上
自分の頭を
- 169 **kikiba kane,**
キキバ カネ,
揺く (同時)
揺き揺き、
- 170 **shine itak**
シネ イタク
一つの言葉
一人の言葉を
- 171 **eubaemko-**
エウバエムコ・
口の半分
最後まで言わせず
- 172 **uina kane,**
ウイナ カネ,
手に取る (同時)
口々に、
- 173 **Usaine tap sui**
ウサイネ タブ スイ
(呼びかけ) これ 再び
「これはこれは
- 174 **a-tureshi ari**
ア・トゥレシ アリ
我・妹 (引用)
わが妹よ」と
- 175 **a-matkarku ari**
ア・マトカラク アリ
我・姪 (引用)
「わが姪よ」と
- 176 **a-matakipo ari**
ア・マタキポ アリ
我・妹 (引用)
「かわいい妹よ」と
- 177 **ushinnai ushinnai**
ウシンナイ ウシンナイ
別に 別に
めいめいが
- 178 **iborse kane,**
イボロセ カネ,
表現する (同時)
あたしに呼びかけて言うには、
- 179 **Hemanta tapne**
ヘマンタ タブネ
何 これである
「何をそんなに
- 180 **chishkar kusu.**
チシカラ クス.
泣く (理由・目的)
泣くんだい?
- 181 **Iramtuiba**
イラムトウイバ
驚愕する
びっくりさせるような
- 182 **haweokai be ne ya.**
ハウエオカイ ベ ネ ヤ.
言う もの (繫辞類) (疑問)
お声で泣くものだな。
- 183 **Aun*⁴ ushiu**
アウン ウシウ
入る 召使い
内使い女中や
- 184 **soyun ushiu**
ソユン ウシウ
外にある 召使い
外使い女中が

*4 原綴は Ahun で金成マツの書き癖。

- 185 **nep tapne**
ネブ タブネ
何 これである
何かこう
- 186 **ye haweokai.**
イエ ハウエオカイ.
言う 言う
言ったようだ。
- 187 **Tambe kusu**
タムベ クス
これ (理由・目的)
それで
- 188 **a-emina.**
ア・エミナ.
我・笑う
笑ったのだ。
- 189 **Ene eashkai ruwe**
エネ エアシカイ ルウェ
このように できる 跡
こんなにお上手で
- 190 **irayapka okai ko**
イラヤパカ オカイ コ
人を感心させる ある (条件)
いいなあとほめているのに
- 191 **nep kusu a-emina p**
ネブ クス ア・エミナ プ
何 (理由・目的) 我・笑う もの
なんでそれを笑うもん
- 192 **ne wakusu.**
ネ ワクス.
(繫辞類) (接続)
か。
- 193 **Oar somo a-emina**
オアラ ソモ ア・エミナ
全く (否定) 我・笑う
絶対おまえを笑った
- 194 **ruwe ne na.**
ルウェ ネ ナ.
跡 (繫辞類) ぞ
のではないのだよ。
- 195 **Iteki chishno**
イテキ チシノ
決して よく泣く
そんなに泣かないで
- 196 **hokure hokure**
ホクレ ホクレ
早く 早く
さあさあ
- 197 **ikarkar kunak**
イカラカラ クナク
刺繍する (引用)
気をとりなおして刺繍を
- 198 **ramu yan. ari**
ラム ヤン. アリ
思う (命令) (引用)
しなさい」と
- 199 **hawash chiki,**
ハワシ チキ,
言われる (条件)
言うから、
- 200 **nube tum wa**
ヌベ トウム ワ
涙 中 から
涙の間から
- 201 **imasasa-an kane**
イマササ・アン カネ
目を開ける・我 (同時)
あたしは目をあけて
- 202 **sui nei bukuru kara**
スイ ネイ ブクル カラ
再び その 袋 作る
またその下手な刺繍刺し
- 203 **a-koarikiki kane.**
ア・コアリキキ カネ.
我・懸命に働く (同時)
に励んでいました。
- 204 **Tu shukup ram kuru**
トゥ シュクブ ラム クル
二つの 成長する 心 人
いくつもの若さが
- 205 **re shukup ram kuru**
レ シュクブ ラム クル
三つの 成長する 心 人
追いかけ合うようにして
- 206 **a-unoshbare,**
ア・ウノシバレ,
我・互いを追いかけさせる
どンドン育ち、
- 207 **tane ne kusu**
タネ ネ クス
今 (繫辞類) (理由・目的)
いまはもう
- 208 **semor borono**
セモロ ボロノ
(否定) 大きく
かなり大きく
- 209 **shikup-an ki ko,**
シクブ・アン キ コ,
育つ・我 する (条件)
成長したところ、
- 210 **pirika-an kotom ne**
ピリカ・アン コトム ネ
美しくある ようである (繫辞類)
あたしは美しいらしく
- 211 **okutchi urar**
オクトチ ウララ
たちこめる 霧
濃くかげるもや
- 212 **urar tumu**
ウララ トウム
霧 中
その中に

- 213 a-yayomare.
ア・ヤヨマレ。
我・みずから入れる
身を入れています。
- 214 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまは
- 215 okkeu kurkan
オクケウ クルカン
襟首 上
首骨も
- 216 isam kane
イサム カネ
無い (同時)
折れんばかりに
- 217 i-henkotba
イ・ヘンコトバ
我・愛撫する
むちやくちや首をふって
- 218 otu henkuror
オトゥ ヘンクロロ
二つの うなづき
うんうん
- 219 ore henkuror
オレ ヘンクロロ
三つの うなづき
うなづきながら
- 220 i-koanukara.
イ・コアヌカラ。
我・置く
ニコニコあかしを見ていました。
- 221 Ineapkus
イネアプクス
何と
なんとまあ
- 222 a-eaikap wa
ア・エアイカプ ワ
我ら・できない (接続)
あたしが下手で
- 223 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまが
- 224 i-emina shiri
イ・エミナ シリ
我・笑う 様子
あんなに笑って
- 225 okai rok kemeiki,
オカイ ロク ケメイキ,
ある (完了) 針仕事をする
いらした針仕事も、
- 226 a-karkar kuni p
ア・カラカラ クニ プ
我・作る ところ もの
あたしが刺繍したものは
- 227 tu kamui nish ne
トゥ カムイ ニシ ネ
二つの 神 雲 (繫辞類)
たくさんの神々しい雲
- 228 re kamui nish ne
レ カムイ ニシ ネ
三つの 神 雲 (繫辞類)
いくつもの神々しい雲となって
- 229 yayebumpa.
ヤイエブムパ。
立ちのぼる
立ち昇ります。
- 230 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまは
- 231 tekkakipo
テクカキポ
かざした手
手びさしを
- 232 rikunruke
リクンルケ
高くかざす
高くかかげ
- 233 raunruke
ラウンルケ
低くかざす
低くかかげて
- 234 a-karkar kuni p
ア・カラカラ クニ プ
我・作る ところ もの
あたしの針仕事の
- 235 kurkashike
クルカシケ
上
あとを
- 236 uwambare*⁵
ウワムバレ
見て調べる
つくづくと見直し
- 237 ene itak hi,
エネ イタク ヒ,
このように 言う こと
こう言いました。
- 238 Ene hetapne
エネ ヘタプネ
このように これ
「なんとまあ
- 239 a-pon tureshi
ア・ボン トウレンシ
我・小さい 妹
俺のちっちゃな妹は

*⁵ 原綴 uwambere

- 240 ashkai ruwe okai awa,
アシカイ ルウェ オカイ アワ,
上手である 跡 ある (展開)
あんなにお上手であったのに
- 241 tane aikap ruwe okai.
タネ アイカプ ルウェ オカイ.
今 左手 跡 ある
今はおへたになったなあ
- 242 ari itak ko
アリ イタク コ
(引用) 言う (条件)
と言って
- 243 euminare.
エウミナレ.
皆で笑い合う
笑い合いました。
- 244 Hawash chiki
ハワシ チキ
言われる (条件)
そう言われて
- 245 yayikush keutum
ヤイクシ ケウトウム
羞じる 心
あたしは恥ずかしく
- 246 a-yaikore kane.
ア・ヤイコレ カネ.
我・もつ (同時)
思いました。
- 247 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまは
- 248 ekimne ko
エキムネ コ
山に行く (条件)
山へ狩りに行っては
- 249 tup sumaukoro
トゥブ スマウコロ
二つ 熊を獲る
たくさんの獲物
- 250 rep sumaukoro kane.
レブ スマウコロ カネ.
三つ 熊を獲る (同時)
数々の獲物をとって来ました。
- 251 Kirbu batek
キリブ バテク
脂身 のみ
脂肉ばかり
- 252 a-ebaropirika kane
ア・エバロピリカ カネ
我・美食する (同時)
腹一杯おいしくいただいて
- 253 okai-an ko,
オカイ・アン コ,
いる・我ら (条件)
暮らしていると、

1.2 兄が出自を語る

- 254 shineanto ta
シネアント タ
ある日 (場所)
ある日のこと
- 255 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまが
- 256 ene itak i.
エネ イタク.
このように 言う ことには
こう言いました。
- 257 Inkar kusu.
インカラ クス.
見る (理由・目的)
「これこれ。
- 258 Boro a-tureshi
ボロ ア・トゥレシ
大きい 我・妹
大きい妹と
- 259 pon a-tureshi utar.
ボン ア・トゥレシ ウタラ.
小さい 我・妹 たち
小さい妹たちよ。
- 260 Itak-an chiki
イタク・アン チキ
言う・我 (条件)
わが申し述べることを
- 261 pirikano nu yan.
ピリカノ ヌ ヤン.
良く 聞く (命令)
しっかり聞きなさい。
- 262 Tan a-koro kotan
タン ア・コロ コタン
この 我・もつ 村
これなるわが村の
- 263 reikoro katu
レイコロ カトゥ
名のる 様
その名は
- 264 Tomisambechi
トミサムベチ
(地名)
トミサンベチ
- 265 Shinutapka newa,
シヌタプカ ネワ,
(地名) であって
シヌタプカである。
- 266 Teeta kane
テエタ カネ
以前 (同時)
その昔

- 267 a-koro ainu
ア・コロ アイヌ
我・もつ 父
われらが父上は
- 268 ainu bito
アイヌ ビト
人間 人
人間のお方
- 269 iki korokaiki
イキ コロカイキ
する (逆接)
ではあったけれど
- 270 koro shiretok
コロ シレトク
持つ 美貌の人
その美貌
- 271 kon rametok
コン ラメトク
持つ 勇者
その勇氣
- 272 koro bawetok
コロ バウエトク
持つ 雄弁
その雄弁さにおいて
- 273 kamui ot ta ka
カムイ オト タ カ
神 所 (場所) も
神界でも
- 274 ainu ot ta ka
アイヌ オト タ カ
人間 所 (場所) も
人間界にも
- 275 ebetturashi p
エベトトゥラシ プ
匹敵する もの
かなう者は
- 276 shinen ka isam.
シネン カ イサム.
一人 も いない
一人もいなかった。
- 277 Newaambe
ネワアムベ
そのこと
そのことで
- 278 tuima okai be
トゥイマ オカイ ベ
遠い ある もの
遠在
- 279 hanke okai be
ハンケ オカイ ベ
近い ある もの
近在の者たちに
- 280 an-yairamta
アン・ヤイラムタ
自分の心に~される
謀られて
- 281 utekambare
ウテカムバレ
互いの手を取る
連合軍を組まれ
- 282 a-ukokeshke
ア・ウコケシケ
共に妬まれる
妬まれ
- 283 a-ukoebokpa.
ア・ウコエボクパ.
憎まれる
憎まれた。
- 284 Tambe kusu
タムベ クス
これ (理由・目的)
それ故に
- 285 shukup turashi
シュクプ トウラシ
成長する 浴って
それまでの半生を
- 286 tumunchi batek
トゥムンチ バテク
戦闘 のみ
いくさばかり
- 287 rorumbe batek
ロルムベ バテク
戦闘 のみ
戦いばかりの
- 288 eritne shikup
エリトネ シクプ
つらい 成長する
苦しい歳月を
- 289 ki ruwe ne.
キ ルウェ ネ.
する 跡 (繫辞類)
送っていたのだ。
- 290 Eebaki ta
エエバキ タ
次 (場所)
それからまた
- 291 Iyochiunkuru
イヨチウンクル
イヨチの人
イヨチ人は
- 292 yayirwak ne wa
ヤイリワク ネ ワ
兄弟がいない (繫辞類) (接続)
男の兄弟はおらず
- 293 shine turesh ne.
シネ トウレシ ネ.
一つの 妹 (繫辞類)
妹が一人いた。
- 294 Hushkotoiwano
フシコトイワノ
以前から
昔からの

- 295 shine irutara ne kusu
シネ イルタラ ネ クス
一つの 兄弟姉妹 (繫辞類) (理由・目的)
一族だから
- 296 turesh turanno
トゥレシ トウランノ
妹 ともに
妹といっしょに
- 297 a-kor ainu
ア・コロ アイヌ
我・もつ 父
われらが父上に
- 298 kasui wa
カスイ ワ
甚だしい (接続)
加勢して
- 299 tumikoro
トゥミコロ
戦う
戦さにおいては
- 300 saure p hene
サウレ プ ヘネ
軽輩の もの も
軽い戦いでも
- 301 yupke p hene
ユプケ プ ヘネ
強い もの も
激しい戦さでも
- 302 euarkamkashi
エウアラカムカシ
共に全身の上に
一緒に
- 303 otasashkepa.
オタサシケパ.
苦勞を分かちあう
苦勞を分かち合った。
- 304 Tumunchi utur
トゥムンチ ウトゥル
戦闘 間
戦さ合間の
- 305 eshini ita
エシニ イタ
休む ときに
休戦時に
- 306 tumi ukoheboki
トゥミ ウコヘボキ
戦い 戦の礼
助力を感謝し合う
- 307 okai a kusu
オカイ ア クス
ある 完了 (理由・目的)
ために
- 308 utashpa tureshi
ウタシパ トウレシ
互いに 妹
お互いにその妹たちを
- 309 utomnukarepa.
ウトムヌカレパ.
結婚させる
結婚させた。
- 310 Tomisambechi
トミサムベチ
(地名)
トミサンベチ
- 311 Shinutapka wa
シヌタプカ ワ
(地名) から
シヌタプカから
- 312 a-kor unarbe
ア・コロ ウナラベ
我・もつ おば
父の妹であるわれらの叔母が
- 313 kamuikorbe
カムイコロベ
神宝
首飾りや耳輪などで
- 314 okkeu kashi
オクケウ カシ
襟首 上
胸元や耳元を
- 315 a-epirikare wa
ア・エビリカレ ワ
で飾りつけられる (接続)
美しく飾られて
- 316 Iyochi kotan
イヨチ コタン
イヨチ(地名) 村
イヨチ村
- 317 eitomnukara.
エイトムヌカラ.
妻になる
に嫁入りした。
- 318 Iyochiummat
イヨチウムマト
イヨチの女性
イヨチの女人は
- 319 kamuikorobe
カムイコロベ
宝物
首飾りや耳飾りなどで
- 320 okkeu kurka
オクケウ クルカ
襟首 上
胸元や耳元を
- 321 a-epirikare
ア・エビリカレ
で飾りつけられる
美しく飾られて
- 322 Tomisambechi
トミサムベチ
(地名)
トミサンベチ

- 323 **eitomnukara wa.**
 エイトムヌカラ ワ.
 妻になる (文終結)
 に嫁入った。
- 324 **Orota ren a-ne wa**
 オロタ レン ア・ネ ワ
 そこで 三人 我・である (接続)
 そこでわれら三人が
- 325 **shiko-an ruwe ne.**
 シコ・アン ルウェ ネ.
 生まれる・我 跡 (繫辞類)
 生まれたのだ。
- 326 **Tap unarbe ari**
 タプ ウナラベ アリ
 これ おば (引用)
 今<おば>と
- 327 **a-borse p anakne**
 ア・ボロセ プ アナクネ
 我・呼ぶ ものは
 われらが呼んでいる者は
- 328 **a-kot totto*6**
 ア・コト トトト
 我・持つ 母
 われらの母者が
- 329 **koshmat*7 ne wa ek ita**
 コシマト ネ ワ エク イタ
 よめ (繫辞類) (接続) 来る ときに
 嫁としてやって来たときに
- 330 **uitekmat ne wa ek be**
 ウイテクマト ネ ワ エク ベ
 小間使い (繫辞類) (接続) 来る もの
 小女として連れて来た者
- 331 **ne ruwe ne.**
 ネ ルウェ ネ.
 (繫辞類) 跡 (繫辞類)
 なのだ。
- 332 **A-kot totto ot ta**
 ア・コト トトト オト タ
 我・持つ 母 所 (場所)
 わが母者付きの
- 333 **iyobakkaiushi.**
 イヨバクカイウシ.
 子守
 子守のねえやなのだ。
- 334 **Naa echi-nokan aine**
 ナア エチ・ノカン アイネ
 まだ 汝ら・幼い (接続)
 まだそなたたちが幼いうちに
- 335 **a-kor ainu**
 ア・コロ アイヌ
 我・もつ 父
 われらが父上と
- 336 **a-koro totto**
 ア・コロ トトト
 我・もつ 母
 母者は
- 337 **kamui orun**
 カムイ オルン
 神 (方向)
 神の国へ
- 338 **baye ruwe ne.**
 バイエ ルウェ ネ.
 行く 跡 (繫辞類)
 旅だった。
- 339 **Tambe kusu**
 タムベ クス
 これ (理由・目的)
 それゆえ
- 340 **ponram orowano**
 ポンラム オロワノ
 幼少 (始点)
 幼きころから
- 341 **taban unarbe**
 タバン ウナラベ
 この おば
 このばあやに
- 342 **a-obittano**
 ア・オビトタノ
 我・すべて
 われらみんなが
- 343 **i-reshba wa**
 イ・レシバ ワ
 我・育てる (接続)
 育てられて
- 344 **rupne-an ruwe ne.**
 ルプネ・アン ルウェ ネ.
 大きくなる・我 跡 (繫辞類)
 大きくなったのだ。
- 345 **Iyochi ta**
 イヨチ タ
 イヨチ(地名) (場所)
 イヨチ村では
- 346 **ouse shine okkayo**
 オウセ シネ オクカヨ
 ただ(だけ) 一つの 男
 たった一人の男の子だけが
- 347 **a-kor unarbe utara**
 ア・コロ ウナラベ ウタラ
 我・もつ おば たち
 叔母夫婦の間に
- 348 **ukosapte wa.**
 ウコサプテ ワ.
 産む (文終結)
 生まれた。

*6 原綴 totta

*7 kos-mat 「<軽・女、妻>《北海道全般》i) よめ(娘の夫、兄の妻、弟の妻など) ii) 《樺太》義母-樺太の神話でわ飼犬が主人の妻に対して kosmachi と呼んでいる例がある。kosne-mat 《沙流》弟の妻》(人 513) 【名詞】(所属形は kosmaci(hi) コマチ(ヒ) <?・女>嫁(=息子の妻)、(広義に)兄弟・いとこ・孫などの妻、兄嫁、弟嫁など。対語 kokow 婿》(田 341)

- 349 **Naa pon kane ne yakka**
 ナア ボン カネ ネ ヤクカ
 まだ 小さい (同時) (繫辞類) (譲歩)
 まだ小さいのに
- 350 **a-hopba wa.**
 ア・ホアバ ワ.
 我・残す (文終結)
 遺された。
- 351 **A-koro unarbe**
 ア・コロ ウナラベ
 我・もつ おば
 イヨチの叔母夫婦
- 352 **utar ne yakka**
 ウタラ ネ ヤクカ
 たち (繫辞類) (譲歩)
 たちも
- 353 **ainu moshit ta**
 アイヌ モシト タ
 人間 国土 (場所)
 人間界では
- 354 **ramubekamam.*8**
 ラムベカマム.
 悲しい思いをする
 気苦労がたえない。
- 355 **Tambe kusu**
 タムベ クス
 これ (理由・目的)
 それゆえ
- 356 **kamui ot ta baye wa**
 カムイ オト タ バイエ ワ
 神 所 (場所) 行く (接続)
 天に帰って
- 357 **shino ukor**
 シノ ウコロ
 まことに 結婚
 まことの結婚
- 358 **sonno uhekotba kusu**
 ソンノ ウヘコトバ クス
 真に 連れ添う (理由・目的)
 本当の夫婦生活をしようと
- 359 **baye wa isam ruwe ne.**
 バイエ ワ イサム ルウエ ネ.
 行く (接続) 死ぬ 跡 (繫辞類)
 旅だってしまったのだ。
- 360 **Eebaki ta**
 エエバキ タ
 次 (場所)
 それからまた
- 361 **chihopba itak**
 チホアバ イタク
 残される 言葉
 その遺言は
- 362 **ene okai i.**
 エネ オカイ イ.
 このように ある ことには
 こうであった。
- 363 **Iyochiunkuru**
 イヨチウンクル
 イヨチの人
 イヨチびと
- 364 **a-ak tonoke**
 ア・アク トノケ
 我・弟 殿
 わが従弟どのと
- 365 **a-pon tureshi**
 ア・ボン トウレシ
 我・小さい 妹
 わが下の妹は
- 366 **oma yarbe**
 オマ ヤラベ
 ある おしめ
 包むおむつは
- 367 **yarbe emko**
 ヤラベ エムコ
 おしめ 半分
 同じ布を半分に分けて裁ち
- 368 **a-oresu.**
 ア・オレス.
 我ら・育てる
 それぞれその中で包み育てよ。
- 369 **Iyochiunkuru**
 イヨチウンクル
 イヨチの人
 イヨチびとの
- 370 **buikotuye p**
 ブイコトウイエ プ
 耳輪をはめさせる もの
 耳輪を
- 371 **e-buikotuye,**
 エ・ブイコトウイエ,
 汝・耳輪をはめさせる
 妹であるそなたと交換し、
- 372 **e-buituye p**
 エ・ブイトウイエ プ
 汝・耳にはめる もの
 そなたの耳輪を
- 373 **buikotuye**
 ブイコトウイエ
 耳輪をはめさせる
 イヨチの従弟と交換して
- 374 **ruwe taban.**
 ルウエ タバン.
 跡 これである
 許婚者同士として育てよ。

*8 原綴 ramubekam

- 375 Eebaki ta
エエバキ タ
次 (場所)
それから
- 376 Kotanraunkuru
コタンラウンクル
人名
先代のコタンラびと
- 377 a-keusutu ne yakka
ア・ケウストゥ ネ ヤクカ
我・伯叔父 (繫辞類) (譲歩)
わが伯父は
- 378 otureshsakno
オトゥレンサクノ
妻もないままに
定まった妻もないまま
- 379 shine okkayo
シネ オクカヨ
一つの 男
一人の男の子を
- 380 ukosapte wa
ウコサプテ ワ
産む (接続)
設けて
- 381 Kotanra chashi
コタンラ チャシ
(地名) チャシ
コタンラ城
- 382 kohopba wa
コホプバ ワ
置いていく (接続)
に遺して
- 383 kamui orun
カムイ オルン
神 (方向)
神の国へ
- 384 baye wa isam ruwe ne.
バイエ ワ イサム ルウェ ネ.
行く (接続) 死ぬ 跡 (繫辞類)
旅だってしまったのだ。
- 385 A-boro tureshi anakne
ア・ボロ トゥレシ アナクネ
我・大きい 妹 は
わが大きい妹は
- 386 Kotanraunkuru
コタンラウンクル
人名
当代のコタンラびとを
- 387 oma yarbe
オマ ヤラベ
ある おしめ
包んでいたおむつと同じ布を
- 388 yarbe emko
ヤラベ エムコ
おしめ 半分
半分に分けてそのおむつを使って
- 389 a-oresu ruwe taban na.
ア・オレス ルウェ タバン ナ.
我ら・育てる 跡 これである ぞ
育てられた許婚同士なのだよ。
- 390 Echi-obittano
エチ・オビトタノ
汝ら・皆
そなたたち二人とも
- 391 hokukoshikupmenoko
ホクコシクプメノコ
許婚がいる娘
婚約者がいる娘
- 392 echi-ne ruwe taban na.
エチ・ネ ルウェ タバン ナ.
汝ら・である 跡 これである ぞ
なのだ。
- 393 Ikanebeka
イカネベカ
決して
決して
- 394 seta hene
セタ ヘネ
犬 も
たとえ犬であっても
- 395 ritush kane okai be
リトウシ カネ オカイ ベ
筋ばっている (同時) ある もの
男を
- 396 echi-nukar ko
エチ・ヌカラ コ
汝ら・見る (条件)
見ても
- 397 orun echi-itak hene
オルン エチ・イタク ヘネ
(方向) 汝ら・話す も
それへものを言ったり
- 398 echi-mina hene
エチ・ミナ ヘネ
汝ら・笑う も
笑いかけたり
- 399 ki kotom an na.
キ コトム アン ナ.
する ようである ある ぞ
するのではないぞ。
- 400 Pirikano
ピリカノ
良く
しっかりと
- 401 katkemat buri
カトケマト ブリ
婦人 行い
高貴な女性のマナー
- 402 ashkanne keutum
アシカンネ ケウトウム
清潔である 心
清らかな気持ちを

- 403 **echi-koro kusu ne**
 エチ・コロ クス ネ
 汝ら・持つ (理由・目的) (繫辞類)
 持ち続ける
- 404 **ruwe taban. ari**
 ルウェ タバン. アリ
 跡 これである (引用)
 のだよ」と
- 405 **hawash chiki.**
 ハワシ チキ.
 言われる (条件)
 おっしやった。
- 406 **Konepkeukata**
 コネプケウカタ
 何ということか
 ああなんと、
- 407 **konepkashita**
 コネプカシタ
 何としたことか
 あああわれな!
- 408 **oroyachiki**
 オロヤチキ
 驚いたことに
 意外や意外
- 409 **senne otobar**
 センネ オトバラ
 (否定) 普通である
 こんな立派な
- 410 **a-eshikop,**
 ア・エシコプ,
 我・両親
 両親、
- 411 **a-koro ainu hene**
 ア・コロ アイヌ ヘネ
 我・もつ 父 も
 父上や
- 412 **a-koro totto hene**
 ア・コロ トット ヘネ
 我・もつ 母 も
 母上が
- 413 **a-koro haweokai ko**
 ア・コロ ハウェオカイ コ
 我・もつ 言う (条件)
 いらしたのに、
- 414 **a-keskhe kusu**
 ア・ケシケ クス
 嫉まれる (理由・目的)
 人々からそねまれて
- 415 **somo a-nukanno**
 ソモ ア・ヌカンノ
 (否定) 我・よく見える
 あたしが見ないうちに
- 416 **kamui moshiri**
 カムイ モシリ
 神 国土
 神の世界
- 417 **koikesui**
 コイケスイ
 去る
 に去ってしまった
- 418 **haweokai chiki,**
 ハウェオカイ チキ,
 言う (条件)
 とおっしやるから、
- 419 **tu ok keutum ne**
 トウ オク ケウトウム ネ
 二つの 嘆き 心 (繫辞類)
 悲しくて
- 420 **re ok keutum ne**
 レ オク ケウトウム ネ
 三つの 嘆き 心 (繫辞類)
 寂しい気持ちに
- 421 **a-yaikore.**
 ア・ヤイコレ.
 我・もつ
 なりました。
- 422 **A-kor sapo**
 ア・コロ サポ
 我・もつ 姉
 姉さま
- 423 **newa ne yakka**
 ネワ ネ ヤッカ
 と (繫辞類) (譲歩)
 とても
- 424 **somo i-echutkonno**
 ソモ イ・エチュトコンノ
 (否定) 我・異なって
 あたしと変わりなく
- 425 **yainu p newa ne yakne**
 ヤイヌ プ ネワ ネ ヤクネ
 考える 物 であって (繫辞類) (条件)
 思うのならば
- 426 **kotom korkaiki,**
 コトム コロカイキ,
 ようである (逆接)
 いかにもそのとおりなのですが、
- 427 **shisembir un wa**
 シセムビリ ウン ワ
 自分の後ろ (方向) (接続)
 自分の後ろへ
- 428 **shikirba ko**
 シキリバ コ
 振り向く (条件)
 何度も振り向いて
- 429 **tu beken nube**
 トウ ベケン ヌベ
 二つの 明るい 涙
 清らかな涙を
- 430 **re beken nube**
 レ ベケン ヌベ
 三つの 明るい 涙
 ハラハラと

- 431 **yaikoranke.**
ヤイコランケ。
一人で流す
流しています。
- 432 **Eebaki ta**
エエバキ タ
次 (場所)
その上また
- 433 **utar sak kuni p**
ウタラ サク クニ プ
仲間 欠く ところ もの
同族もない
- 434 **aba sak kuni p**
アバ サク クニ プ
親 欠く ところ もの
親戚もない
- 435 **a-ne ruwe ne kuni**
ア・ネ ルウエ ネ クニ
我・である 跡 (繫辞類) ように
あたしたちだとばかり
- 436 **a-ramu rokwa,**
ア・ラム ロクワ,
我・思う (完了) + (接続)
思っていたのに、
- 437 **a-yubutari hene**
ア・ユブタリ ヘネ
我・兄たち も
従弟だの
- 438 **senne otohar okai wa,**
センネ オトバラ オカイ ワ,
(否定) 普通である ある (接続)
立派な人々がいらして
- 439 **ainu buri**
アイヌ ブリ
人間 行い
人間のしきたり
- 440 **kamui buri ne kusu**
カムイ ブリ ネ クス
神 行い (繫辞類) (理由・目的)
神でもする行いだから
- 441 **naa rupne-an ko**
ナア ルプネ・アン コ
まだ 大きくなる・我 (条件)
もう少し大きくなったら
- 442 **hokukoro ne manu**
ホクコロ ネ マヌ
夫を持つ (繫辞類) という
結婚というものを
- 443 **a-ki kusu**
ア・キ クス
我・する (理由・目的)
あたしたちがする
- 444 **hawash chiki,**
ハワシ チキ,
言われる (条件)
とおっしゃったから、
- 445 **arkehe ta**
アラケヘ タ
半分 (場所)
心の半分では
- 446 **yayikush keutum**
ヤイクシ ケウトウム
羞じる 心
気恥ずかしい気持ち
- 447 **a-yaikore kane,**
ア・ヤイコレ カネ,
我・もつ (同時)
を覚えてけれど、
- 448 **arkehe ta**
アラケヘ タ
半分 (場所)
その一方
- 449 **nekona shiko p**
ネコナ シコ プ
どのように 目がついている もの
どんなお顔の
- 450 **nekona baro p**
ネコナ バロ プ
どのように 口がついている もの
どんな口つきの
- 451 **tapne a-yubutari newa**
タプネ ア・ユブタリ ネワ
これである 我・兄たち であって
婚約者たちかしら、
- 452 **hetaktausa**
ヘタクタウサ
さあさ早く
ああ早く
- 453 **a-nukar okai ari**
ア・ヌカラ オカイ アリ
我・見る ある (引用)
見たいなあと
- 454 **arorkeshne*⁹**
アロロケシネ
ひそかに
密かに
- 455 **yainu-an kane**
ヤイヌ・アン カネ
考える・我 (同時)
思いながら
- 456 **okai-an awa,**
オカイ・アン アワ,
いる・我ら (展開)
暮らしていたところ、

1.3 兄が交易に出かける

- 457 **shineanto ta**
シネアント タ
ある日 (場所)
ある日のこと

*⁹ 原綴 arorkeshte

- 458 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまが
- 459 ene itak i.
エネ イタキ.
このように 言う ことには
こう言いました。
- 460 Koninkar kusu.
コニンカラ クス.
さて (理由・目的)
「これこれ。」
- 461 A-koro unarbe
ア・コロ ウナラベ
我・もつ おば
わがばあやと
- 462 a-turesh utari.
ア・トゥレシ ウタリ.
我・妹 たち
妹たちよ。
- 463 Itak-an chiki
イタケ・アン チキ
言う・我 (条件)
わが申し述べることを
- 464 pirikano nu yan.
ピリカノ ヌ ヤン.
良く 聞く (命令)
よく聞きなさい。
- 465 Tanepo konna
タネポ コンナ
たった今 こそ
今こそ
- 466 okayo bakno
オクカヨ バクノ
男 まで
一人前の男といえるほどの
- 467 shikup-an kusu
シクフ・アン クス
育つ・我 (理由・目的)
年になったから
- 468 tonokouimam*10
トノコウイマム
和人との交易
和人との交易に
- 469 a-ki kusu ne.
ア・キ クス ネ.
我・する (理由・目的) (繫辞類)
出かけることにする。
- 470 Teeta kane
テエタ カネ
以前 (同時)
その昔
- 471 ponram ot ta
ボンラム オト タ
幼少 所 (場所)
幼少のころ
- 472 ene hetapne
エネ ヘタフネ
このように これ
あれほどにまあ
- 473 a-shinrichi
ア・シンリチ
我・先祖
わがご先祖
- 474 a-ekash utari
ア・エカシ ウタリ
我・先祖 たち
わが祖父たちが
- 475 tonokouimam ko
トノコウイマム コ
和人との交易 (条件)
和の国へ交易に行つて
- 476 tono ku sake
トノ ク サケ
殿 飲む 酒
和人の飲む酒や
- 477 tono e amam hene
トノ エ アマム ヘネ
殿 食べる 穀物 も
米だの
- 478 usa kerambe
ウサ ケラムベ
(譲歩) おいしいもの
甘い菓子だのを
- 479 an-ebaropirika
アネバロピリカ
我・口を満たす
おいしく
- 480 a-ekatnu humi
ア・エカトヌ フミ
我ら・好む 気配
好ましく食べたの
- 481 okai rok awa,
オカイ ロク アワ,
ある (完了) (展開)
であったが、
- 482 a-shinrichi utara
ア・シンリチ ウタラ
我・先祖 たち
わがご先祖たち
- 483 an-ekashi utar
アネカシ ウタラ
我・祖父 たち
祖父たちが
- 484 i-hopba i wano
イ・ホフバ イ ワノ
我・後に残す とき から
亡くなってからは

*10 原綴 tonokouimam

- 485 uwesamanno
ウエサマンノ
いっしょに
われらはみな
- 486 nokan-an be ne kusu
ノカン・アン ベ ネ クス
幼い・我 もの (繫辞類) (理由・目的)
幼かったものだから
- 487 tane bakno
タネ バクノ
今 まで
今まで
- 488 orsetakko
オロセタクコ
長い間
ずいぶん長い間
- 489 tonokouimam ka
トノコウイマム カ
和人との交易 も
和との交易も
- 490 isam ruwe okai kusu.
イサム ルウェ オカイ クス.
無い 跡 ある (理由・目的)
なかったのであった。
- 491 shinrit tutanu p
シンリト トウタヌ プ
出自 の次に もの
祖先をすぐ継ぐ者
- 492 kamui tutanu p a-ne.
カムイ トウタヌ プ ア・ネ.
神 の次に もの 我・である
神祀り当主の我である。
- 493 Tambe kusu
タムベ クス
これ (理由・目的)
それゆえ
- 494 a-ak utari
ア・アク ウタリ
我・弟 たち
わが従弟たちが
- 495 okai a yakka
オカイ ア ヤクカ
ある 完了 (譲歩)
たくさんいても
- 496 aokai hoshkino
アオカイ ホシキノ
我 先に
われが最初に
- 497 uimam-an kusu ne.
ウイマム・アン クス ネ.
交易する・我 (理由・目的) (繫辞類)
交易に出かけることにする。
- 498 Kamui or bakno
カムイ オロ バクノ
神 所 まで
神々まで
- 499 kanto or bakno
カント オロ バクノ
天 所 まで
天国まで
- 500 kamuinomi-an,
カムイノミ・アン,
神に祈る・我
神祀りし
- 501 a-shinrichi utar
ア・シンリチ ウタラ
我・先祖 たち
祖先たち
- 502 an-ekashi utara
アネカシ ウタラ
我・祖父 たち
祖父たちを
- 503 a-nomi
ア・ノミ
我・祀る
まつり
- 504 a-koshinurapba kusu ne.
ア・コシヌラパバ クス ネ.
我・先祖を供養する (理由・目的) (繫辞類)
先祖供養をしよう。
- 505 Orota tapne
オロタ タプネ
そこで これである
そこに
- 506 a-ak utari hene
ア・アク ウタリ ヘネ
我・弟 たち も
従弟たちや
- 507 a-utari utara
ア・ウタリ ウタラ
我・人々 たち
親戚たち
- 508 obittano
オビトタノ
皆
全部
- 509 a-tak wa
ア・タク ワ
我・招く (接続)
招んで
- 510 pirika iku
ピリカ イク
よい 酒を飲む
うまき酒を飲み
- 511 pirika ibe
ピリカ イベ
よい 食事する
うまき物を食べ
- 512 ibe tuika ta
イベ トウイカ タ
食事する 上 (場所)
宴会しながら

- 513 wem be hene
ウエム ベ ヘネ
悪い もの も
悪き事も
- 514 pirika p hene
ピリカ プ ヘネ
よい もの も
善きことも
- 515 a-uweneusar,
ア・ウウエネウサラ,
我・話し合う
語りつくし、
- 516 pirika shinot
ピリカ シノト
よい 遊び
面白き遊びをして
- 517 a-uwenubetnere
ア・ウウエヌベトネレ
我ら・喜ばせ合う
大いに楽しもう
- 518 kusu ne ruwe taban na.
クス ネ ルウエ タバン ナ.
(理由・目的) (繫辞類) 跡 これである ぞ
ではないか。
- 519 A-oat chikiri
ア・オアト チキリ
我・片方の 足
わが片足は
- 520 orebun kane
オレブン カネ
沖へ (同時)
沖へ向けても
- 521 a-oat chikiri
ア・オアト チキリ
我・片方の 足
わが片足は
- 522 oyaun kane
オヤウン カネ
陸へ (同時)
陸地にいる者に心かけながら
- 523 uimam kusu ne
ウイマム クス ネ
交易をする (理由・目的) (繫辞類)
海を越えて行って
- 524 ruwe taban na.
ルウエ タバン ナ.
跡 これである ぞ
くるぞ。
- 525 I-keshke p batek
イ・ケシケ プ バテク
我・嫉む もの のみ
われらをそねむ者ばかり
- 526 i-nonchip batek
イ・ノンチプ バテク
我・魂を愚弄する のみ
われらに悪戯するものばかり
- 527 uwatte ruwe taban na.
ウワトテ ルウエ タバン ナ.
集まる 跡 これである ぞ
たくさんいるのだよ。
- 528 Pirikano pirikano
ピリカノ ピリカノ
良く 良く
よくよく
- 529 yaishikkashima kane
ヤイシクカシマ カネ
自分を守る (同時)
自分の身を大切にしてい
- 530 kamui ewakihi
カムイ エワキヒ
神 住まい
シヌタブカの館を
- 531 echi-ebunkine
エチ・エブンキネ
汝ら・番兵する
そなたたちが守り
- 532 echi-shikkashima
エチ・シクカシマ
汝ら・守る
二人で管理して
- 533 kusu ne ruwe taban na.
クス ネ ルウエ タバン ナ.
(理由・目的) (繫辞類) 跡 これである ぞ
いるのだぞ。
- 534 Isam-an*¹¹ yakka
イサム・アン ヤクカ
いない・我 (譲歩)
われが留守中には
- 535 usaine nepka
ウサイネ ネプカ
(呼びかけ) 何か
いろいろ何事か
- 536 okai be ne kusu,
オカイ ベ ネ クス,
ある もの (繫辞類) (理由・目的)
あるものだから、
- 537 nepka echi-ekimattek be
ネプカ エチ・エキマトテク ベ
何か 汝ら・あわてる もの
何か心配事
- 538 hene an ita
ヘネ アン イタ
も ある ときに
でもあったときは、
- 539 orotunashno
オロトゥナシノ
一刻も早く
即刻

*11 原綴 isam のみ。

- 540 **Kotanraunkuru**
コタンラウンクル
人名
コタンラビとである
- 541 **a-ak tonoke**
ア・アク トノケ
我・弟 殿
わが従弟どの
- 542 **koasurannu yan.**
コアスランヌ ヤン.
に知らせる (命令)
に知らせなさい。
- 543 **Yak anakne**
ヤク アナクネ
(条件) は
そうすれば
- 544 **kepbirore**
ケブピロロケ
お蔭で
彼のお陰で
- 545 **echi-tusa kusu ne**
エチ・トゥサ クス ネ
汝ら・再生する (理由・目的) (繫辞類)
無事助かるはず
- 546 **ruwe taban. ari**
ルウェ タバン. アリ
跡 これである (引用)
だからな」と
- 547 **hawash chiki.**
ハワシ チキ.
言われる (条件)
おっしやった。
- 548 **Konepkeukata**
コネプケウカタ
何ということか
おお何ということか、
- 549 **konepkashita**
コネプカシタ
何としたことか
ああお気の毒に!
- 550 **I-resu yubi**
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまは
- 551 **ene hetapne**
エネ ヘタブネ
このように これ
あんなにもまあ
- 552 **ramma i-eyamba wa**
ラムマ イ・エヤムバ ワ
いつも 我・氣遣う (接続)
いつもあたたしたちを氣遣って
- 553 **i-omap shiri**
イ・オマブ シリ
我・可愛がる 様子
可愛がってくださって
- 554 **okairok awa,**
オカイロク アワ,
居た (展開)
いたのに、
- 555 **shine to hene**
シネ ト ヘネ
一つの 日 も
一日とて
- 556 **somo a-nukar ko**
ソモ ア・ヌカラ コ
(否定) 我・見る (条件)
お顔を見なくて
- 557 **a-eboso hean.**
ア・エボソ ヘアン.
我・生き抜く なのか
生きて行かれるかしら?
- 558 **Yakka ainu buri**
ヤクカ アイヌ ブリ
しかし 人間 行い
でもそれが人間の習慣
- 559 **kamui buri**
カムイ ブリ
神 行い
神でもする行い
- 560 **kone p ne kusu**
コネ プ ネ クス
(繫辞類) もの (繫辞類) (理由・目的)
なのだから
- 561 **ramma ki kusu**
ラムマ キ クス
いつも する (理由・目的)
いつもしようと
- 562 **ne a p ne**
ネ ア プ ネ
(繫辞類) 完了 もの (繫辞類)
思っていた事である
- 563 **hawe ne koanakne**
ハウエ ネ コアナクネ
声 (繫辞類) (条件)
というのであれば
- 564 **ene a-ye i ka**
エネ ア・イエ イ カ
このように 我・言う こと も
もう何を言うことも
- 565 **ene a-kar i ka**
エネ ア・カラ イ カ
このように 我・する こと も
あたしにはどうすることも
- 566 **isam kane.**
イサム カネ.
無い (同時)
できない。
- 567 **Arkehe ta**
アラケヘ タ
半分 (場所)
一方では

- 568 a-enubetne kane
ア・エヌベトネ カネ
我・喜ぶ (同時)
嬉しい気持ちもあって
- 569 tan te wano
タン テ ワノ
この これ から
今これから
- 570 hetaktausa
ヘタクタウサ
さあさ早く
少しでも早く
- 571 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまが
- 572 tonokouimam wa
トノコウイマム ワ
和人との交易 (接続)
和人との交易に
- 573 ek okai ari
エク オカイ アリ
来る ある (引用)
行って来ればいいなあと
- 574 pon a-kor sapo
ポン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
姉さま
- 575 turanno
トゥランノ
ともに
と二人で
- 576 shisembir*¹² beka
シセムビリ ベカ
自分の後ろ で
自分の後ろで
- 577 a-eukobinubinu
ア・エウコビヌビヌ
我ら・囁き合う
ささやきあって
- 578 ikichi-an shiri
イキチ・アン シリ
する・我 様子
いる様子を
- 579 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまが
- 580 nukar chiki,
ヌカラ チキ,
見る (条件)
見て、
- 581 yainu-an shiri
ヤイヌ・アン シリ
考える・我 様子
あたしたちが考えることや
- 582 a-keutum kurka
ア・ケウトウム クルカ
我・心 上
心のうちを
- 583 chikushnanukar be
チクシナヌカラ ベ
貫き見通す もの
見通している
- 584 semkorachi
セムコラチ
まるで (する) ように
かのように
- 585 tun a-ne wa
トゥン ア・ネ ワ
二人 我・である (接続)
あたしたち二人に
- 586 otu henkuror
オトゥ ヘンクロロ
二つの うなづき
何度も何度も
- 587 ore henkuror
オレ ヘンクロロ
三つの うなづき
うなづいて
- 588 i-koanukar kane
イ・コアヌカラ カネ
我・置く (同時)
見せて
- 589 i-henkotpa kane.
イ・ヘンコトパ カネ.
我・愛撫する (同時)
ニコニコ顔を向けました。
- 590 Kotanraunkuru
コタンラウクル
人名
「コタンラびとである
- 591 a-ak tonoke ot ta
ア・アク トノケ オト タ
我・弟 殿 所 (場所)
わが従弟どには
- 592 a-ye wa an kusu,
ア・イエ ワ アン クス,
我・言う (接続) ある (理由・目的)
よく言っているから、
- 593 ouse irukai
オウセ イルカイ
ただ (だけ) しばらくの間
ほんのちよつとの間
- 594 kamui ewaki tura
カムイ エワキ トウラ
神 住まい ともに
シヌタブカの城と

*¹² 原綴 shirsembir

- 595 echi-hopba-an yakka
エチ・ホババ・アン ヤクカ
汝ら・残す・我 (譲歩)
そなたたちを残しておいても
- 596 kamui utar ne yakka
カムイ ウタラ ネ ヤクカ
神 たち (繫辞類) (譲歩)
神々も
- 597 echi-shikkashima
エチ・シクカシマ
汝ら・守る
そなたたちを守ってくれる
- 598 nankon na.
ナンコン ナ.
だろう ぞ
であろうぞ。
- 599 Iteki mashkinno
イテキ マシキンノ
決して あまりに
あまり
- 600 nishmu yan.
ニシム ヤン.
寂しい (命令)
淋しがりなさんな」
- 601 ari itak kane.
アリ イタク カネ.
(引用) 言う (同時)
と言いました。
- 602 Tu pirika kuni p
トゥ ビリカ クニ プ
二つの よい ところ もの
数々のよいこと
- 603 re pirika kuni p
レ ビリカ クニ プ
三つの よい ところ もの
いくつものよいことを
- 604 eibakashnu kane,
エイバカシヌ カネ,
教える (同時)
教え聞かせたあと、
- 605 tu okkaipo tura
トゥ オクカイポ トウラ
二つの 男の子 ともに
若者二人と
- 606 kamui chihoki
カムイ チホキ
神 毛皮
熊皮や
- 607 yuk chihoki
ユク チホキ
鹿 毛皮
鹿皮を
- 608 chip orun rura.
チップ オルン ルラ.
舟 (方向) 運ぶ
船に運び込みました。
- 609 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまは
- 610 tonokoshiyuk*¹³
トノコシユク
和装
和人への礼装を整え
- 611 mashkin teta
マシキン テタ
ますます ここで
ますますもって
- 612 kamui shiri ne okai wa
カムイ シリ ネ オカイ ワ
神 様子 (繫辞類) ある (接続)
神の如き様子になって
- 613 too rebun wa isam.
トオ レブン ワ イサム.
ずっと遠くへ 沖の から いない
はるか沖に行ってしまいました。

1.4 育てのおばの異常な行動

- 614 Nei shimke
ネイ シムケ
その 翌日
その翌日
- 615 sennekasui
センネカスイ
まさか
まさかまあ
- 616 a-kor unarbe
ア・コロ ウナラベ
我・もつ おば
あのばあやが
- 617 katkoro kuni
カトコロ クニ
振舞う ように
そんな振る舞いをするとは
- 618 a-ramu rok i,
ア・ラム ロク イ,
我・思う (完了) ことには
思わなかったのに、
- 619 matkosanu
マトコサヌ
さっと立ち上がる
彼女はパッと立ち上がり
- 620 tan arka itak
タン アラカ イタク
この 痛い 言葉
このような痛罵を
- 621 eterkere
エテレケレ
跳ねとばす
浴びせて

*13 金田一は tonokoshiyukbe を「和風の装束」(金 I337) と和訳している

- 622 ene okai i.
エネ オカイ イ.
このように ある ことには
こう言いました。
- 623 Achikara ta.
アチカラ タ.
いやなことだ (感嘆)
「ああいまいましい！」
- 624 Ayakanna ta.
アヤカンナ タ.
ろくでもないことだ (感嘆)
腹が立つ！
- 625 a-wen matkarku
ア・ウェン マトカラク
我・悪い 姪
わが悪姪
- 626 utarorke
ウタロロケ
たち
めら！
- 627 ambotaunsui*14
アムボタウンスイ
(不詳)
(不詳)
- 628 uben kusu
ウベン クス
若い (理由・目的)
若いせいで
- 629 naa beure kusu
ナア ベウレ クス
まだ 若い (理由・目的)
まだ若いから
- 630 buinepo
ブイネポ
ひとりぼっち
あんたら二人だけ
- 631 a-hokukobakashnu
ア・ホクコバカシヌ
夫名を告げられる
夫の名を教えられた
- 632 haweokai.
ハウエオカイ.
言う
ようだね。
- 633 Aokai ne yakka
アオカイ ネ ヤカカ
我 (繫辞類) (譲歩)
あちしだって
- 634 unarbe ari
ウナラベ アリ
おば (引用)
〈おばさん〉と
- 635 iborse-an kokusui
イボロセ・アン コクスイ
言われる としても
呼ばれていたとしても
- 636 naa ubem mat
ナア ウベム マト
まだ 若い 女
まだ若い娘
- 637 naa beure mat
ナア ベウレ マト
まだ 若い 女
まだまだ若い女
- 638 a-ne awa,
ア・ネ アワ,
我・である (展開)
なのであって、
- 639 i-hokukore-an ka*15
イ・ホクコレ・アン カ
我・夫を与えられる も
あちしに夫を持たせも
- 640 somokino
ソモキノ
しないうちに
しないで
- 641 ene hawash i ta an.
エネ ハワシ タ アン.
このように 言われる こと これ ある
ああいうことを言うのか？
- 642 Nekona hene
ネコナ ヘネ
どのように も
どんなことでも
- 643 katkoro kuni p
カトコロ クニ プ
振舞う ところ もの
したいことを
- 644 echi-ne a kusu,
エチ・ネ ア クス,
汝ら・である 完了 (理由・目的)
あんたらはするがいいさ。
- 645 tan te wano
タン テ ワノ
この これ から
あちしはこれから
- 646 Iyochi kotan
イヨチ コタン
イヨチ(地名) 村
イヨチの郷
- 647 a-koro kotani
ア・コロ コタニ
我・もつ 村
わが故郷

*14 ambotaunsui 不詳。

*15 原綴 ihokure anka

- 648 a-koikesui wa,
ア・コイケスイ ワ、
我・立ち去る (接続)
にむかつ腹立てて去り、
- 649 kamui ewaki
カムイ エワキ
神 住まい
イヨチの城
- 650 a-koshireba wa,
ア・コシレバ ワ、
我・到着する (接続)
に戻ったら、
- 651 kamui a-karku
カムイ ア・カラク
神 我・甥
イヨチのわが甥っこ
- 652 a-hekote wa
ア・ヘコテ ワ
我・連れ添う (接続)
と結婚して
- 653 sambe etok
サムベ エトク
心臓 前方
打つ心臓の先や
- 654 hese etok
ヘセ エトク
息をする 前方
つく息の先に
- 655 a-omare wa
ア・オマレ ワ
我・音の休止 (接続)
入れるほど可愛がられ
- 656 a-omap
ア・オマフ
我・可愛がる
愛され
- 657 uwepirika-an
ウエピリカ・アン
幸せに暮らす・我
幸せに暮らして
- 658 kusu ne ruwe taban.
クス ネ ルウェ タバン.
(理由・目的) (繫辞類) 跡 これである
やるからな」
- 659 ari itak kane.
アリ イタク カネ.
(引用) 言う (同時)
と言いました。
- 660 Shut ketushi
シュト ケトウシ
根元 長持ち
彼女は祖母伝来の長持ちを
- 661 sanasapte.
サナサプテ.
取り出す
引っ張り出しました。
- 662 Oro usa sarambe
オロ ウサ サラムベ
所 (譲歩) 絹
その中には絹だの
- 663 usa machikor
ウサ マチコロ
(譲歩) 女の宝物
首飾りや耳輪など
- 664 pirika ike
ピリカ イケ
よい こと
上等なものが
- 665 eshikte.
エシクテ.
満たす
たくさん入っています。
- 666 Abe hekota
アベ ヘコタ
火 向かう
炉のわきに
- 667 mi amip
ミ アミフ
着る 着物
着ていた着物を
- 668 yaikoare,
ヤイコアレ,
脱ぐ
脱ぎ捨て、
- 669 ashiri chikirbe
アシリ チキリベ
新しい 刺繍衣
新しい刺繍衣を
- 670 arutomechiu.
アルトメチウ.
身にまとう
襲ね着しました。
- 671 Sarambe kuchi
サラムベ クチ
絹 喉
絹の帯を
- 672 tumamkosaiba,
トゥマムコサイバ,
胴に巻く
胴にしめ、
- 673 kamui tamasai
カムイ タマサイ
神 胸飾り
美々しい玉飾りの
- 674 pirika ike
ピリカ イケ
よい こと
上等な品を
- 675 rekuchi unu,
レクチ ウヌ,
首 はめる
首に飾り、

- 676 **kamui ninkari**
カムイ ニンカリ
神 耳飾り
美々しい耳輪を
- 677 **buisut unu,**
ブイスト ウヌ,
耳元 はめる
耳にはめ、
- 678 **kamui chibanup**
カムイ チバナブ
神 冠り物
美々しい鉢巻き
- 679 **erurikikur-^{*16}**
エルリキクル・
髪の毛高く
で髪の毛を高く
- 680 **raiba kane.**
ライバ カネ.
移動させる (同時)
抑えました。
- 681 **Iyainumare**
イヤイヌマレ
驚いた
なんとまあ
- 682 **a-koro unarbe**
ア・コロ ウナラベ
我・もつ おば
ばあやは
- 683 **imi ari**
イミ アリ
着物 で
着物でもって
- 684 **machikor ari**
マチコロ アリ
女の宝物 で
首飾りや耳輪でもって
- 685 **ene wa boka**
エネ ワ ボカ
このように (接続) さえ
どうにもこうにも
- 686 **a-reka i ka**
ア・レカ イ カ
我・ほめる こと も
ほめる言葉も
- 687 **isam kane.**
イサム カネ.
無い (同時)
見つからないほどきれいです。
- 688 **Shirki awa**
シリキ アワ
そうする (展開)
彼女がそうしたところ、
- 689 **Ikoshikupmat**
イコシクプマト
(人名)
イコシクプマツである
- 690 **pon a-kor sapo**
ボン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
あたしの姉さまは
- 691 **homatu rui be**
ホマトウ ルイ ベ
驚く 激しい もの
あまりにも驚き
- 692 **oshserke rui be**
オシセレケ ルイ ベ
驚く 激しい もの
ひどくびっくりした
- 693 **kone p ne kusu**
コネ プ ネ クス
(繫辞類) もの (繫辞類) (理由・目的)
ものだから
- 694 **inkan ruwe konna**
インカン ルウェ コンナ
見る 跡こそ
目を丸くして
- 695 **chainatara.**
チャイナタラ.
目を見開いている
みつめています。
- 696 **Koro wem buri**
コロ ウェム ブリ
持つ 悪い 行い
やがて怒りの形相を
- 697 **enantuikashi**
エナントウイカシ
顔面
顔中に
- 698 **chihobunire**
チホブニレ
起きる
みなぎらせ
- 699 **ene itak i.**
エネ イタキ.
このように 言う ことには
こう言いました。
- 700 **Usaine tap sui.**
ウサイネ タブ スイ.
(呼びかけ) これ 再び
「これはこれは、呆れたものね!
- 701 **A-wen unarbe**
ア・ウェン ウナラベ
我・悪い おば
わがろくでなしばあやの
- 702 **a-otui ike**
ア・オトウイ イケ
我・尻が切れる こと
最低なやつ。

*16 原綴 erukikur

- 703 **Okai wa namne**
オカイ ワ ナムネ
ある (接続) こそ
いるにもことかいて
- 704 **katkoro hawe**
カトコロ ハウエ
振舞う 声
とんでもない言いぐさ
- 705 **katkor shiri**
カトコロ シリ
振舞う 様子
とんでもない振る舞い
- 706 **a-eoyanene na.**
ア・エオヤネネ ナ.
我・嫌う ぞ
不屈き千万だわ。
- 707 **Sonno hetapne**
ソンノ ヘタプネ
真に これ
ほんとにまあ
- 708 **katkemat buri**
カトケマト ブリ
婦人 行い
高貴な婦人のマナー
- 709 **pirika keutum**
ピリカ ケウトウム
よい 心
正しいモラル
- 710 **ashkanne keutum**
アシカンネ ケウトウム
清潔である 心
気高い精神
- 711 **koro be hene**
コロ ベ ヘネ
持つ もの も
を持って
- 712 **shukup turashi**
シュクプ トウラシ
成長する 沿って
これまでの半生
- 713 **i-reshba shiri**
イ・レシバ シリ
我・育てる 様子
われらを育て
- 714 **uwesamanno**
ウエサマンノ
いっしょに
いつもいっしょに
- 715 **okai kusu,**
オカイ クス,
ある (理由・目的)
暮らしていたから、
- 716 **yairamhekotba**
ヤイラムヘコトバ
結婚する
結婚して

- 717 **a-ki wa ne yakne**
ア・キ ワ ネ ヤクネ
我・する (接続) (繫辞類) (条件)
自活できるようになったら
- 718 **uwesamanno**
ウエサマンノ
いっしょに
妹とともに
- 719 **chihorkareshu**
チホロカレシュ
孝養
孝行し
- 720 **chiannunuke**
チアンヌヌケ
全く孝行すること
孝養を
- 721 **a-ekarkar kuni batek**
ア・エカラカラ クニ バテク
我・する すべきことのみ
つくそうとばかり
- 722 **a-ramu awa,**
ア・ラム アワ,
我・思う (展開)
思っていたのに、
- 723 **oroyachiki**
オロヤチキ
驚いたことに
意外にも
- 724 **arhoiyo p**
アラホイヨ プ
乱心する もの
まったく危ない女
- 725 **wen bauchi koro be**
ウエン バウチ コロ ベ
悪い 妖魔 持つ もの
淫魔に憑かれた者
- 726 **ne rok okai.**
ネ ロク オカイ.
(繫辞類) (完了) ある
だったようね。
- 727 **A-ye manu**
ア・イエ マヌ
言われる という
人が言うところの
- 728 **ochiu tushtekka**
オチウ トウシテクカ
姦通する 黙らす
男を求めるあまり
- 729 **kinin tushtekka wa**
キニン トウシテクカ ワ
淫乱 黙らす (接続)
気が狂って
- 730 **nep kusu**
ネプ クス
何 (理由・目的)
なぜか

- 731 **I-resu yubi**
 イ・レス ユビ
 我・育てる 兄
 兄さまが
- 732 **an raboki ta**
 アン ラボキ タ
 ある その間 (場所)
 いる間に
- 733 **somo neino e-hawean i^{*17}**
 ソモ ネイノ エ・ハウエアニ
 (否定) ように 汝・言う こと
 そのように言いも
- 734 **e-ikino,**
 エ・イキノ,
 汝・する
 せずに、
- 735 **I-resu yubi**
 イ・レス ユビ
 我・育てる 兄
 兄さまが
- 736 **ene hetapne**
 エネ ヘタプネ
 このように これ
 あんなにも
- 737 **tu pirika kuni p**
 トゥ ピリカ クニ プ
 二つの よい ところ もの
 数々のよいこと
- 738 **re pirika kuni p**
 レ ピリカ クニ プ
 三つの よい ところ もの
 いくつものいいことを
- 739 **eibakashnu**
 エイバカシヌ
 教える
 教え聞かせ
- 740 **kamui turanno**
 カムイ トゥランノ
 神 ともに
 神の加護を願いながら
- 741 **chikoitaknuye**
 チコイタクヌイエ
 言い遺す
 言いつけ
- 742 **i-y-ekarkar hawe**
 イ・イエカラカラ ハウエ
 我・する 声
 なさったその言葉を
- 743 **e-eashba p**
 エ・エアシバ プ
 汝・耳が聞こえない もの
 そなたは聞いていないもの
- 744 **ne wa kusu,**
 ネ ワ クス,
 (繫辞類) (接続) (理由・目的)
 だから、
- 745 **buinepo okai-an ko**
 ブイネポ オカイ・アン コ
 ひとりぼっち いる・我ら (条件)
 自分だけ独り身でいるのを
- 746 **chikoyayikire**
 チコヤイキレ
 馬鹿にする
 馬鹿にして粗末に
- 747 **e-i-y-ekarkar kusu,**
 エ・イ・イエカラカラ クス,
 汝・我・する (理由・目的)
 あつかわれたとて、
- 748 **totto koro be**
 トトト コロ ベ
 母 持つ もの
 母の形見
- 749 **huchi koro be**
 フチ コロ ベ
 祖母 持つ もの
 先祖伝来の装束を
- 750 **chikoeikka e-ki kane,**
 チコエイクカ エ・キ カネ,
 収奪 汝・する (同時)
 盗んで、
- 751 **a-matakipo**
 ア・マタキポ
 我・妹
 わが妹の
- 752 **ante hoku**
 アンテ ホク
 あらしめる 夫
 定まっている夫
- 753 **sokar hoku**
 ソカラ ホク
 傍に仕える 夫
 許婚の男を
- 754 **chikoeikka**
 チコエイクカ
 収奪
 盗んで
- 755 **e-ekarkar rusui hawe**
 エ・エカラカラ ルスイ ハウエ
 汝・する (欲求) 声
 やりたいということ
- 756 **tambe ne ya.**
 タムベ ネ ヤ.
 これ (繫辞類) (疑問)
 なのね」
- 757 **ari hawash awa,**
 アリ ハワシ アワ,
 (引用) 言われる (展開)
 と姉さまが言ったところ、

*17 原綴 ehawan

- 758 **a-kor unarbe**
ア・コロ ウナラベ
我・もつ おば
ばあやは
- 759 **emina haukan**
エミナ ハウカン
それを笑う 声
カラカラと
- 760 **tununitara.**
トゥヌニタラ.
美しい音が響く
打ち笑いました。
- 761 **Achikara ta.**
アチカラ タ.
いやなことだ (感嘆)
「ああいまいましい!
- 762 **Ayakanna ta.**
アヤカンナ タ.
ろくでもないことだ (感嘆)
腹が立つ!
- 763 **a-wen matkarku**
ア・ウェン マトカラク
我・悪い 姪
にくたらしい姪らの
- 764 **an-otui ike**
アノトゥイ イケ
尻が切れる こと
最低のやつめが
- 765 **okai wa namne**
オカイ ワ ナムネ
ある (接続) こそ
居てけつかつて。
- 766 **Boro itak ki.**
ボロ イタク キ.
大きい 言葉 する
しゃらくさい。
- 767 **matkachi boro**
マトカチ ボロ
少女 大きい
まだ小娘のくせに
- 768 **menoko boro**
メノコ ボロ
女 大きい
一人前の口を利き
- 769 **okai wa**
オカイ ワ
ある (接続)
やがって
- 770 **konep tap reihe i**
コネプ タブ レイヘ イ
何 これ その名 こと
何のことが
- 771 **ochiu newa**
オチウ ネワ
姦通する であって
性交とか
- 772 **kinin newa**
キニン ネワ
淫乱 であって
男を欲しがるとか
- 773 **eraman wa**
エラマン ワ
知る (接続)
わかって
- 774 **katkoro hawe**
カトコロ ハウエ
振舞う 声
しゃべくって
- 775 **okai be ne ya.**
オカイ ベ ネ ヤ.
ある もの (繫辞類) (疑問)
いるのか]
- 776 **ari itak awa,**
アリ イタク アワ,
(引用) 言う (展開)
と言ったら、
- 777 **pon a-koro sapo**
ボン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
姉さまは
- 778 **humse tura**
フムセ トウラ
声を出す とともに
フムッと氣勢をあげて
- 779 **matkosanu.**
マトコサヌ.
さっと立ち上がる
サッと立ち上がりました。
- 780 **Honebeta.**
ホネベタ.
何と
「何をぬかすか。
- 781 **a-wen unarbe**
ア・ウェン ウナラベ
我・悪い おば
ろくでなしばあや、
- 782 **an-otui ike.**
アノトゥイ イケ.
尻が切れる こと
この最低なやつめ。
- 783 **Ochiueterke p**
オチウエテレケ プ
淫事に走る もの
淫奔者
- 784 **kinineterke p**
キニネテレケ プ
姦淫する もの
淫乱者が
- 785 **koneptapteta**
コネプタブテタ
何ということ
いやはや

- 786 **somo yashtomano**
ソモ ヤシトマノ
(否定) 恥じる
恥ずかしげもなく
- 787 **koohanepo**
コオハネポ
笑止にも
笑止千万な
- 788 **ye hawe**
イエ ハウエ
言う 声
その言いぐさ
- 789 **emina hawe**
エミナ ハウエ
それを笑う 声
お笑いぐさを
- 790 **shiknu ihoma p**
シクヌ イホマ プ
生きている 恐れる もの
死にたくて
- 791 **tusa ihoma p**
トゥサ イホマ プ
快復する 恐れる もの
くたばりたくて
- 792 **katkoro hawe**
カトコロ ハウエ
振舞う 声
しゃべること、
- 793 **ene hetapne**
エネ ヘタプネ
このように これ
なんとまあ
- 794 **unarbe buri**
ウナラベ ブリ
おば 行い
いいくおばさま>ぶり
- 795 **okai i ne wa kusu**
オカイ イ ネ ワ クス
ある こと (繫辞類) (接続) (理由・目的)
だこと！」
- 796 **ari itak kane,**
アリ イタク カネ,
(引用) 言う (同時)
と言って、
- 797 **a-wen unarbe**
ア・ウエン ウナラベ
我・悪い おば
ろくでなしばあやの
- 798 **kimuiushbe**
キムイウシベ
髪の毛
髪の毛を
- 799 **tekkokari**
テクコカリ
抱き寄せる
手に巻き付け
- 800 **amso kurka**
アムソ クルカ
寝台 上
座台の上
- 801 **ekik hum konna**
エキク フム コンナ
たたく 音 こそ
に叩きつける音が
- 802 **rimkosanu.**
リムコサヌ.
ドスンと鳴る
ドシンとしました。
- 803 **Shiriki awa,**
シリキ アワ,
そのような有様である (展開)
姉さまがそうしたら、
- 804 **a-wen unarbe**
ア・ウエン ウナラベ
我・悪い おば
悪ばあやは
- 805 **homatu rui be**
ホマトウ ルイ ベ
驚く 激しい もの
非常にびっくりして
- 806 **humse turanno**
フムセ トウランノ
声を出す ともに
フムツと氣勢をあげながら
- 807 **matkosanu.**
マトコサヌ.
さっと立ち上がる
サッと立ち上がりました。
- 808 **Shiriki chiki,**
シリキ チキ,
そのような有様である (条件)
悪ばあやがそうしたので
- 809 **aokai ne yakka**
アオカイ ネ ヤクカ
我 (繫辞類) (譲歩)
あたしも
- 810 **matkosanu-an wa**
マトコサヌ・アン ワ
飛び起きる・我 (接続)
パッと立ち上がって、
- 811 **tun a-ne hine**
トゥン ア・ネ ヒネ
二人 我・である (接続)
姉さまと二人で
- 812 **a-wen unarbe**
ア・ウエン ウナラベ
我・悪い おば
悪ばあやの
- 813 **shikehe hemem**
シケヘ ヘMEM
荷物 も
背負い荷も

- 814 a-koebittekka.
ア・コエビトテクカ。
我・はずす
引きはずしました。
- 815 A-wen unarbe
ア・ウエン ウナラベ
我・悪い おば
ろくでなしばあやは
- 816 ineapkusu
イネアプクス
何と
なんて
- 817 okirashnu wa
オキラシヌ ワ
力が強い (接続)
強かった
- 818 humash nankora.
フマシ ナンコラ。
気配がする だろうか
ことでしょう。
- 819 Tun a-ne wa
トゥン ア・ネ ワ
二人 我・である (接続)
あたしたち二人が
- 820 a-koterke
ア・コテレケ
我・跳ばす
ばあやに跳びかかり
- 821 a-rishba kane
ア・リシバ カネ
我ら・むしる (同時)
むしったり
- 822 a-kikkik kane,
ア・キクキク カネ,
我ら・殴る (同時)
殴ったりすると、
- 823 itasa bakno
イタサ バクノ
返す まで
お返しに
- 824 i-rishba^{*18} kane
イ・リシバ カネ
我・むしる (同時)
あたしたちをむしり返し
- 825 i-kikkikba kane.
イ・キクキクバ カネ。
我・殴る (同時)
殴り返します。
- 826 Ki p ne koroka
キ プ ネ コロカ
するもの (繫辞類) (逆接)
そのようにやりあったけれど
- 827 oar a-kar koyaikush.
オアラ ア・カラ コヤイクシ。
全く 我・する できない
まったく勝負がつきません。
- 828 Ikoshikupmat
イコシクプマト
(人名)
イコシクプマツである
- 829 pon a-kor sapo
ボン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
姉さまは
- 830 ene itak i.
エネ イタキ。
このように 言う ことには
こう言いました。
- 831 A-matakipo.
ア・マタキポ。
我・妹
「妹よ。
- 832 Orotunashno
オロトゥナシノ
一刻も早く
ただちに
- 833 Kotanraunkuru
コタンラウンクル
人名
コタンラびと
- 834 pon a-koro yubi
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
わが許婚者
- 835 koasurbashte
コアスルバシテ
に知らせる
に知らせて
- 836 kunak ramu yan.
クナク ラム ヤン。
(引用) 思う (命令)
くださいな。
- 837 Tapne tapne
タブネ タブネ
これである これである
かくかくしかじかと
- 838 a-wen unarbe
ア・ウエン ウナラベ
我・悪い おば
ろくでなしばあやが
- 839 katkoro hawe
カトコロ ハウェ
振舞う 声
言ったこと
- 840 katkoro shiri
カトコロ シリ
振舞う 様子
やったこと

*18 原綴 irushba

- 841 **arobbittano**
アロビトタノ
すべて
ことごとく
- 842 **ye wa nure yan.**
イエ ワ ヌレ ヤン.
言う (接続) 聞かせる (命令)
言って聞かせなさい。
- 843 **Orotunashno**
オロトゥナシノ
一刻も早く
いつときも早く
- 844 **chikatunashka wa**
チカトゥナシカ ワ
急いで助ける (接続)
急ぎ足で行って
- 845 **i-kore yan.**
イ・コレ ヤン.
我・与える (命令)
きなさいね。
- 846 **A-wen unarbe**
ア・ウェン ウナラベ
我・悪い おば
あのろくでなしばあやが
- 847 **tapne tapne okai be**
タプネ タプネ オカイ ベ
これである これである ある もの
あれこれしているのは
- 848 **chikoeikka**
チコエイカカ
収奪
そなたの許婚イヨチの人を寝取ろう
- 849 **i-y-ekarkar na.**
イ・イエカラカラ ナ.
我・する ぞ
としているからなのよ」
- 850 **ari hawash chiki,**
アリ ハワシ チキ,
(引用) 言われる (条件)
とおっしゃったから、
- 851 **Ohaine kane ari**
オハイネ カネ アリ
なるほど (音節調整) (引用)
『なるほど、そうだわ』と
- 852 **yainu-an kusu**
ヤイヌ・アン クス
考える・我 (理由・目的)
あたしも思っ
- 853 **soyoterke-an.**
ソヨテレケ・アン.
外に飛び出す・私
あたしは外に飛び出ました。
- 854 **Ekaichish tapka wano**
エカイチシ タプカ ワノ
頂上の平らな岩山 頂き から
館が建っている山の頂上から
- 855 **ebisun ran ru**
エビスン ラン ル
浜へ 下がる 道
浜へ降りる道は
- 856 **otu ru shittok**
オトゥ ル シトトク
二つの 道 肘
肘のように曲がって
- 857 **ore ru shittok**
オレ ル シトトク
三つの 道 肘
つづら折りに
- 858 **chihokaibare kane.**
チホカイバレ カネ.
折れ曲がっている (同時)
うねうねと続いています。
- 859 **Shiran chiki**
シラン チキ
有様である (条件)
そのようにある
- 860 **kiroro tuika**
キロロ トウイカ
広い路 上
人が踏み堅めた広い路を
- 861 **an-i-y-ebashte.**
アニ・イエバシテ.
我・走らされる
あたしは走りました。
- 862 **Hoyubu-an humi**
ホユブ・アン フミ
走る・我 音
あたしが走る音
- 863 **an-ekisarsut**
アネキサラスト
我・耳元
耳元に
- 864 **mau kururu.**
マウ クルル.
風 あたる
ヒュルヒュル風がうなっています。

1.5 コタンラびとの異常な行動

- 865 **Inkar-an ko**
インカラ・アン コ
見る・我 (条件)
見れば
- 866 **a-ye manu**
ア・イエ マヌ
言われる という
話に聞いていた
- 867 **Kotanra kotan**
コタンラ コタン
(地名) 村
コタンラ村

- 868 moyotek kotan
モヨテク コタン
少ない 村
人家が多くない村が
- 869 kotan kurka
コタン クルカ
村 上
軒を連ねて
- 870 koteshnatara.
コテシナタラ.
平らになっている
ずらっと並んでいる。
- 871 Kotan noshkike
コタン ノシキケ
村 真中
村の中央に
- 872 chibuni tapkop
チブニ タフコフ
盛り上がる 小山
ポツンと盛り上がる丸い山が
- 873 chiekantoyor-
チエカントヨロ・
天
天空へ向かって
- 874 suiba kane.
スイバ カネ.
揺する (同時)
そびえていました。
- 875 Ekaichish ka ta
エカイチシ カ タ
頂上の平らな岩山 上 (場所)
頂上が平らな岩山の上には
- 876 tam boro chise
タム ボロ チセ
この 大きい 家
この大きな館と
- 877 tam boro chashi
タム ボロ チャシ
この 大きい チャシ
大きな柵がまえが
- 878 uworeroshki.
ウウオレロシキ.
重なってそびえる
重なり建っています。
- 879 A-un chisehe
ア・ウン チセヘ
我・いる 家
あたしのお館
- 880 batek hetapne
バテク ヘタブネ
のみ これ
だけが
- 881 pirika kuni
ピリカ クニ
よい ように
すばらしいと
- 882 a-ramu rokwa,
ア・ラム ロクワ,
我・思う (完了) + (接続)
思っていたら、
- 883 eturbak kuni p
エトウルバク クニ プ
並ぶ ように もの
同じくらい素晴らしいもの
- 884 ne nankora.
ネ ナンコラ.
(繫辞類) だろうか
かしら。
- 885 Ekasu kuni p
エカス クニ プ
越える ように もの
それを越えるほどのもの
- 886 ne nankora.
ネ ナンコラ.
(繫辞類) だろうか
かしら。
- 887 Chise soinake
チセ ソイナケ
家 家の外
お館の外側も
- 888 chashi soinake
チャン ソイナケ
チャン 家の外
柵構えの外側も
- 889 huihuinawano
フイフイナワノ
隅々まで
すみずみまで
- 890 a-reka kashba
ア・レカ カシバ
我・ほめる 甚だしい
言葉にできないほど
- 891 a-tomte kashba.
ア・トムテ カシバ.
輝いている 甚だしい
美しく飾られていました。
- 892 Mosem tuyor
モセム トゥヨロ
玄間納屋 中
内土間の中
- 893 a-oshikiru.
ア・オシキル.
我・まわる
にあたしは入っていきました。
- 894 Iyainumare.
イヤイヌマレ.
驚いた
まあ驚いた。
- 895 a-un*¹⁹ chise ta
ア・ウン チセ タ
我・いる 家 (場所)
あたしのお館と

- 896 **ukorachi**
ウコラチ
同じように
同じように
- 897 **mosem orowano**
モセム オロワノ
玄関納屋 (始点)
内土間の中から
- 898 **kamui hura**
カムイ フラ
神 匂い
神気の香り
- 899 **tomi hura**
トミ フラ
財宝 匂い
財宝の香りが
- 900 **rui rera ne**
ルイ レラ ネ
激しい 風 (繫辞類)
強風のように吹いてきて
- 901 **i-emaknakur-**
イ・エマクナクル・
我・奥
あたしをあとずさり
- 902 **raiba kane.**
ライバ カネ.
移動させる (同時)
させるほどでした。
- 903 **Ratki aba**
ラトキ アバ
垂れ下がった 簾戸
母屋戸口の御簾
- 904 **a-makekatta,**
ア・マケカッタ,
我・ぐいと開ける
をパッと開け、
- 905 **mintar ka ta**
ミンタラ カ タ
土間 上 (場所)
内土間に
- 906 **imeru tura**
イメル トウラ
光 とともに
光とともに
- 907 **urar tura**
ウララ トウラ
霧 とともに
もやとともに
- 908 **a-rutkosanu.**
ア・ルトコサヌ.
我・押し入る
サッと入っていきました。
- 909 **Inkar-an ko**
インカラ・アン コ
見る・我 (条件)
見ると
- 910 **tam boro chise**
タム ボロ チセ
この 大きい 家
このお館は
- 911 **a-unchise**
ア・ウンチセ
我・自分の家
あたしの館
- 912 **ukorachi**
ウコラチ
同じように
と同じような
- 913 **iyoma ruwe**
イヨマ ルウェ
ある 跡
宝物の様子
- 914 **a-tomte ruwe**
ア・トムテ ルウェ
輝いている 跡
飾られている様子
- 915 **hene okai.**
ヘネ オカイ.
も ある
でもありました。
- 916 **Ikit tukari**
イキト トウカリ
列 手前
宝壇の手前に
- 917 **chituye amset**
チトウイエ アムセト
切れた 寝台
高床の台座
- 918 **kani amset**
カニ アムセト
黄金 寝台
りっぱな台座が
- 919 **chishiturire.**
チシトゥリレ.
伸びる
しつらえてありました。
- 920 **Amset ka ta**
アムセト カ タ
寝台 上 (場所)
台座の上には
- 921 **pon urar*20 tapkop**
ボン ウララ タブコブ
小さい 霧 小山
霞の丸い小山が

p. 16

*19 原綴 n のみ。

*20 原綴 ponar

- 922 ehorari.
エホラリ.
居る
どっしり腰をすえています。
- 923 Urar tumu
ウララ トウム
霧 中
身を包んでいるもや
- 924 a-shikechari.
ア・シケチャリ.
我・目で散らす
をあたしは眼力で散らしました。
- 925 Inkar-an ko
インカラ・アン コ
見る・我 (条件)
見れば
- 926 ponainu ponkuru
ポナイヌ ポンクル
若い人 若い人
年若い青年
- 927 tampa teta
タムパ テタ
今年 ここで
一歳ほど
- 928 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまより
- 929 ponno turbokashno
ボンノ トウルボカシノ
少し 年下に
年下
- 930 shukup kotomno okai be,
シュクプ コトムノ オカイ ベ,
成長する ように ある もの
に見える人、
- 931 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまと
- 932 imut ruwe
イムト ルウエ
腰に差す 跡
刀から
- 933 shibopke ruwe
シボプケ ルウエ
着る物 跡
衣装まで
- 934 horkasuye
ホロカスイエ
真似る
そっくり同じものを
- 935 kane okai be,
カネ オカイ ベ,
(同時) ある もの
身につけている者が、
- 936 awoterke-an humi
アウオテレケ・アン フミ
我・家に飛び入る 音
館に飛び込んできた音に
- 937 ehomatba p
エホマトバ プ
驚く もの
驚いたもの
- 938 kone p ne kusu
コネ プ ネ クス
(繋辞類) もの (繋辞類) (理由・目的)
だから
- 939 aba tuika un
アバ トウイカ ウン
簾戸 上 (方向)
入り口の方を
- 940 inkan ru konna
インカン ル コンナ
見る 跡 は
目を丸くして
- 941 chainatara.
チャイナタラ.
目を見開いている
みつめています。
- 942 Tu urar ikkeu
トゥ ウララ イクケウ
二つの 霧 元
何度もあたしを包んでいる
- 943 re urar ikkeu
レ ウララ イクケウ
三つの 霧 元
霞の真ん中を見ようとして
- 944 i-kocharikar.
イ・コチャリカラ.
我・払う
霞を眼力でうち払いました。
- 945 Ki p ne koroka
キ プ ネ コロカ
する もの (繋辞類) (逆接)
そうしたけれど
- 946 naani tu sui
ナアニ トウ スイ
まさに 二つの 回
何度やっても
- 947 naani re sui
ナアニ レ スイ
まさに 三つの 回
何度繰り返しても
- 948 ainu kat ne
アイヌ カト ネ
人間 姿 (繋辞類)
人の姿に
- 949 i-kar eaikap. Aine
イ・カラ エアイカプ. アイネ
我・する できない (接続)
できません。ようやく

- 950 **i-koshikraiba p,**
 イ・コシクライバ プ、
 我・見る もの
 あたしに目の先が届いたものの、
- 951 **kanibor kashi**
 カニボロ カシ
 顔色 上
 彼の顔色が
- 952 **koraikosamba**
 コライコサムバ
 蒼ざめる
 真っ青になりました。
- 953 **Katune kane**
 カトゥネ カネ
 姿をとる (同時)
 ただあたりまえに
- 954 **i-erayap kuni p**
 イ・エラヤパ クニ プ
 我・感心する はずの もの
 あたしを感心して見るの
- 955 **newa ne yakne**^{*21}
 ネワ ネ ヤクネ
 であって (繫辞類) (条件)
 ならば
- 956 **kotom korokaiki,**
 コトム コロカイキ、
 ようである (逆接)
 いかにもそうなのですが、
- 957 **i-tukarikepo**
 イ・トゥカリケポ
 我・手前
 あたしの前
- 958 **koshikerana-**
 コシケラナ・
 目を下に
 で伏し目
- 959 **atte kane**
 アトテ カネ
 たたせる (同時)
 しながらも、
- 960 **huihuinawano**
 フイフイナワノ
 隅々まで
 すみずみまで
- 961 **i-uwambare aine**
 イ・ウワムバレ アイネ
 我・調べる (接続)
 あたしを観察する間は
- 962 **i-kobakun wa**
 イ・コバクン ワ
 我・方向 (接続)
 あたしの方へ
- 963 **shikirba kane**
 シキリバ カネ
 振り向く (同時)
 向かって
- 964 **okai rok be,**
 オカイ ロク ベ、
 ある (完了) もの
 いらした人が、
- 965 **i-ekoobi wa**
 イ・エコオビ ワ
 我・離れる (接続)
 あたしに
- 966 **shikirba hine**
 シキリバ ヒネ
 振り向く (接続)
 背を向けて
- 967 **kebushbe nuye**
 ケブシベ ヌイエ
 鞆 彫り刻む
 刀鞆の彫り物
- 968 **shirka nuye**
 シリカ ヌイエ
 鞆 彫り刻む
 刀鞆の彫刻
- 969 **kokipshiriechiu.**
 コキプシリエチウ。
 熱中する
 に没頭し始めました。
- 970 **Shiriki chiki,**
 シリキ チキ、
 そのような有様である (条件)
 そのような態度をとられたから、
- 971 **yayeinukuri-**
 ヤイエイヌクリ・
 もじもじする
 あたしはもじもじ遠慮
- 972 **am be ne kusu**
 アム ベ ネ クス
 ある もの (繫辞類) (理由・目的)
 して
- 973 **a-tusamekka**
 ア・トゥサメクカ
 我・袖山
 自分の着物の袖やま
- 974 **ekuikui kane,**
 エクイクイ カネ、
 噛む (同時)
 をおずおず噛みつつ、
- 975 **itak uturu**
 イタク ウトゥル
 言葉 間
 伝える口上もしどろもどろに
- 976 **a-rakup kane**
 ア・ラクパ カネ
 我・とぎれる (同時)
 つつかえつつかえ、

*21 原綴 kne のみ。

- 977 **itak uturu**
イタク ウトゥル
言葉 間
言葉の合間も
- 978 **a-mushish kane,**
ア・ムシシ カネ,
我・むせる (同時)
コホン、エエーッと咳払いしながら、
- 979 **tapne tapne**
タプネ タプネ
これである これである
かくかくしかじか
- 980 **Ikoshikupmat**
イコシクプマト
(人名)
イコシクプマツである
- 981 **pon a-koro sapo**
ボン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
あたしの姉さまが
- 982 **kimatek wa**
キマテク ワ
慌てる (接続)
大あわてで
- 983 **orotunashno**
オロトゥナシノ
一刻も早く
『いっときも早く
- 984 **Kotanraunkuru**
コタンラウンクル
人名
コタンラビと
- 985 **pon a-koro yubi**
ボン ア・コロ ユビ
小さい 我・もつ 兄
わが許婚者のところへ
- 986 **chikatunashka wa**
チカトゥナシカ ワ
急いで助ける (接続)
大急ぎで行って
- 987 **i-kore kunak**
イ・コレ クナク
我・与える (引用)
ください
- 988 **ramu yan. ari**
ラム ヤン. アリ
思う (命令) (引用)
な』と
- 989 **i-uitek-an i**
イ・ウイテク・アニ
我・遣わされる こと
あたしを使わしたことを
- 990 **a-ye awa,**
ア・イエ アワ,
我・言う (展開)
伝えたら、
- 991 **sennekasui**
センネカスイ
まさか
まさかまた
- 992 **shiran kuni**
シラン クニ
有様である ように
彼がそんな態度をとるとは
- 993 **a-ramu rok i,**
ア・ラム ロク イ,
我・思う (完了) ことには
思わなかったのに、
- 994 **Kotanraunkuru**
コタンラウンクル
人名
コタンラビとは
- 995 **ashba kisar**
アシバ キサラ
聾 耳
どこ吹く風かというように
- 996 **i-tutanure**
イ・トゥタヌレ
我・向けさせる
知らんぷりして
- 997 **senne ponno**
センネ ポンノ
(否定) 少し
あたしの言葉が
- 998 **ekottanu.**
エコトタヌ.
関わる
てんで聞こえないふり。
- 999 **Hosari bentok**
ホサリ ベントク
振り向く 途端
振り向きも
- 1000 **hekiru bentok**
ヘキル ベントク
振り向く 途端
見向きも
- 1001 **eyaiunkeshke.**
エヤイウンケシケ.
みずからおこなわない
しません。
- 1002 **Shiran chiki,**
シラン チキ,
有様である (条件)
こんなことってある？
- 1003 **konepkeukata**
コネプケウカタ
何ということか
何ということでしょう、
- 1004 **konepkashita**
コネプカシタ
何としたことか
ああお気の毒に。

コタンラびとに腹を踏まれた姫が物語る

- 1005 **ene hetapne**
エネ ヘタプネ
このように これ
あんなにもまあ
- 1006 **pon a-koro sapo**
ポン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
姉さまが
- 1007 **kimatek hawe**
キマテク ハウエ
慌てる 声
驚きあわてて
- 1008 **i-kimattekka hawe**
イ・キマテクカ ハウエ
我・驚かす 声
あたしに危急の使いを
- 1009 **okai rok awa,**
オカイ ロク アワ,
ある (完了) (展開)
託したというのに、
- 1010 **nekona**
ネコナ
どのように
いったい
- 1011 **Kotanraunkuru**
コタンラウクル
人名
コタンラびとは
- 1012 **an ruwe ta an.**
アン ルウェ タ アン.
ある 跡 これ ある
どうしたのでしょうか？
- 1013 **otu itak nak**
オトゥ イタク ナク
二つの 言葉 (?)
さまざまな言葉
- 1014 **ore itak nak shipba kane**
オレ イタク ナク シンバ カネ
三つの 言葉 (?) 繰り返す (同時)
いろんな言葉をくり返し
- 1015 **itak-an yakka**
イタク・アン ヤクカ
言う・我 (譲歩)
しやべっても
- 1016 **oar ponnoka**
オアラ ポンノカ
全く 少しも
まったく
- 1017 **hosari ruwe**
ホサリ ルウェ
振り向く 跡
振り向くことも
- 1018 **hekiru ruwe**
ヘキル ルウェ
振り向く 跡
見向くことも
- 1019 **oarak isam.**
オアラ イサム.
全く 無い
てんでしない。
- 1020 **Somo un ashba**
ソモ ウン アシバ
(否定) ある 聞こえない
『まさか耳が聞こえない』
- 1021 **ruwe hean. ari**
ルウェ ヘアン. アリ
跡 なのか (引用)
のかしら？』と
- 1022 **yainu-an kusu**
ヤイヌ・アン クス
考える・我 (理由・目的)
おもって
- 1023 **kimatek-am be**
キマテク・アム ベ
慌てる・我 もの
あたしはあわて
- 1024 **kone p ne kusu**
コネ プ ネ クス
(繋辞類) もの (繋辞類) (理由・目的)
て
- 1025 **chituye amset**
チトウイェ アムセト
切れた 寝台
台座
- 1026 **koehankeno**
コエハンケノ
ほど近く
の近くまで
- 1027 **oman-an wa**
オマン・アン ワ
行く・我 (接続)
行つて
- 1028 **sui a-ye awa,**
スイ ア・イエ アワ,
再び 我・言う (展開)
また同じように言ったところ、
- 1029 **somokaunsui**
ソモカウンスイ
まさか〜しない)
まさかまた
- 1030 **shirki kuni**
シリキ クニ
そうする ように
そうするとは
- 1031 **a-ramu rok i,**
ア・ラム ロク イ,
我・思う (完了) ことには
思わなかったのに、
- 1032 **Kotanraunkuru**
コタンラウクル
人名
コタンラびとの

- 1033 **matke humi**
 マトケ フミ
 起き上がる 音
 立ち上がる音が
- 1034 **shiukosanu.**
 シウコサヌ.
 さっと音がする
 シュッとしました。
- 1035 **Kurkashike**
 クルカシケ
 上
 そうして
- 1036 **tan arka itak**
 タン アラカ イタク
 この 痛い 言葉
 こんな痛いことばを
- 1037 **ebarsere**
 エバラセレ
 広げる
 燃え上がらせて
- 1038 **ene okai i.**
 エネ オカイ イ.
 このように ある ことには
 こうあるには、
- 1039 **Usaine tap sui.**
 ウサイネ タブ スイ.
 (呼びかけ) これ 再び
 「これはこれは
- 1040 **A-wen tureshi.**
 ア・ウェン トウレシ.
 我・悪い 妹
 わが悪しき従妹よ。
- 1041 **Iramshitnere.**
 イラムシトネレ.
 うるさいなあ
 うるさいなあ。
- 1042 **Konentapora**
 コネンタポラ
 誰が
 誰が今から急に
- 1043 **ashba wakusu**
 アシバ ワクス
 聞こえない (接続)
 耳が聞こえなくなったとて
- 1044 **iramshitnere**
 イラムシトネレ
 うるさいなあ
 あきあきするほど
- 1045 **katkoro hawe-**
 カトコロ ハウェ・
 振舞う 言う
 大声でしゃべって
- 1046 **okai be ne ya.**
 オカイ ベ ネ ヤ.
 ある もの (繫辞類) (疑問)
 いるのか。
- 1047 **A-wen unarbe**
 ア・ウェン ウナラベ
 我・悪い おば
 わがおばが
- 1048 **nekona hene**
 ネコナ ヘネ
 どのように も
 どのような
- 1049 **katkoro ko**
 カトコロ コ
 振舞う (条件)
 振る舞いをして
- 1050 **echi-renkaine**
 エチ・レンカイン
 汝ら・裁量で
 そなたたちの手に
- 1051 **echi-kar eaikap be**
 エチ・カラ エアイカプ ベ
 汝ら・作る できない もの
 負えるもの
- 1052 **ne wakusu**
 ネ ワクス
 (繫辞類) (接続)
 ではないのに、
- 1053 **chikosomokur-**
 チコソモクル・
 (否定)
 無礼
- 1054 **yaikatanu**
 ヤイカタヌ
 畏れはばかる
 にも
- 1055 **katkoro hawe-**
 カトコロ ハウェ・
 振舞う 言う
 そんなことを
- 1056 **okai be ne ya.**
 オカイ ベ ネ ヤ.
 ある もの (繫辞類) (疑問)
 言ったのか」
- 1057 **ari itak kane**
 アリ イタク カネ
 (引用) 言う (同時)
 と彼は言って
- 1058 **a-tokse honihi*22**
 ア・トクセ ホニヒ
 我・膨れた 腹
 あたしのぼっこりしたお腹を

*22 小児の体型は腹がつき出ている。ここではシヌタブカの妹姫が娘らしい体にもなっていないことを表していると解釈した。tokse hohi <膨れている、突き出ている腹>の文例には Atokse honi/aerep kor 「わが膨れたる腹にてわれ腹拍子を取りつゝ」(研 874) というのがある。

コタンラびとに腹を踏まれた姫が物語る

- 1059 **kochinrikikur-**
コチンリキクル・
足を高く
足を高くあげて
- 1060 **eshitaiki**
エシタイキ
踏みつける
蹴飛ばし
- 1061 **shirikooterke.**
シリコオテレケ.
跳んで踏む
ドーンと踏みつけました。
- 1062 **Harkisotta**
ハラキソトタ
左座に
左座で
- 1063 **muk karkarse**
ムク カラカラセ
植物名 コロコロ転がる
あたしはバアソブの根が転がる
- 1064 **a-shikobayar.**
ア・シコバヤラ.
我・見せかける
みたいにコロコロ転がりました。
- 1065 **A-keutumkashi-**
ア・ケウトウムカシ・
我・心の上
あたしは気が
- 1066 **mukkosanu,**
ムクコサヌ,
急に塞がる
遠くなるほどびっくりし、
- 1067 **hese buira**
ヘセ ブイラ
息をする 孔
息も
- 1068 **an-i-koseshke**
アニ・コセシケ
我・ふさがれる
詰まって
- 1069 **orkeuse*23-an. Aine**
オロケウセ・アン. アイネ
(不詳) (接続)
(不詳)
- 1070 **tashusoyoshma-an.**
タシュソヨシマ・アン.
吐息をつく・我
ホオーッと大きな息をつきました。
- 1071 **A-chish hau konna**
ア・チシ ハウ コンナ
我・泣く 声 は
あたしの泣き声が
- 1072 **waise kane.**
ワイセ カネ.
泣き声がする (同時)
ワアッと響き渡ります。
- 1073 **Konepkeukata**
コネプケウカタ
何ということか
おおあわれ!
- 1074 **konepkashita**
コネプカシタ
何としたことか
なんだってまあ!
- 1075 **pokasham be ka**
ポカシナム ベ カ
それより小さい もの も
ちよつとしたことだつて
- 1076 **a-yainiukeshte rok i,**
ア・ヤイニウケシテ ロク イ,
我・できない (完了) ところ
あたしはできないのに、
- 1077 **konep wen itak**
コネプ ウェン イタク
何 悪い 言葉
何をあたしが悪口
- 1078 **a-ki wakusu**
ア・キ ワクス
我・する (接続)
叩いたからとて
- 1079 **Kotanraumbe**
コタンラウムベ
人名
コタンラの奴が
- 1080 **katuchiwente**
カトウチウエンテ
侮辱すること
大恥を
- 1081 **i-y-ekarkar**
イ・イエカラカラ
我・する
あたしにかかせ
- 1082 **i-oterke**
イ・オテレケ
我・跳んで踏む
あたしを踏みつける
- 1083 **newa ne yakka**
ネワ ネ ヤクカ
であつて (繫辞類) (譲歩)
にしても
- 1084 **rayaikeko**
ライイケコ
穏やかならざる
躍り跳ねるような酷いことを
- 1085 **i-y-ekarkar shiri**
イ・イエカラカラ シリ
我・する 様子
したので

*23 orkeuse 不詳。

- 1086 **okai chiki,**
オカイ チキ,
ある (条件)
あったから、
- 1087 **yayikush keutum**
ヤイクシ ケウトウム
悔しい 心
情けなく
- 1088 **a-yaikore.**
ア・ヤイコレ.
我・もつ
あたしは思いました。
- 1089 **Kotanraumbe**
コタンラウムベ
人名
コタンラの奴が
- 1090 **somo i-kaobash yakun**
ソモ イ・カオバシ ヤクン
(否定) 我・救援する (条件)
あたしたちを救援しないなら
- 1091 **ouse itak ari**
オウセ イタク アリ
ただ (だけ) 言葉 で
ただ言葉だけで
- 1092 **ye yakka**
イエ ヤクカ
言う (譲歩)
言っても
- 1093 **pirika noine okai be,**
ピリカ ノイネ オカイ ベ,
よい らしく ある もの
よさそうなのに、
- 1094 **itasasa**
イタササ
痛い
ずいぶん痛い
- 1095 **chiemoninishte**
チエモニニシテ
酷い仕打ちをする
手荒なことを
- 1096 **i-y-ekarkar shiri,**
イ・イエカラカラ シリ,
我・する 様子
あたしにしたことを、
- 1097 **ineapkusu**
イネアプクス
何と
なんてまあ
- 1098 **a-eyayomap wa**
ア・エヤヨマブ ワ
我・悔しがる (接続)
あたしは口惜しくて
- 1099 **humash nankora.**
フマシ ナンコラ.
気配がする だろうか
ならなかったかしら。
- 1100 **Chish turanno**
チシ トウランノ
泣く ともに
泣き声をあげながら
- 1101 **a-matkosanu**
ア・マトコサヌ
我・パッと立ち上がる
あたしは飛び起き
- 1102 **soyoshma-an.**
ソヨシマ・アン.
外に飛び出す・我
パッと外に飛び出しました。
- 1103 **A-mi chikirbe**
ア・ミ チキリベ
我・着る 刺繍衣
あたしは着物を
- 1104 **a-eobarakur-**
ア・エオバラクル・
(不詳)
(不詳)
- 1105 **baise*²⁴ kane**
バイセ カネ
(不詳) (同時)
(不詳)
- 1106 **hoyubu-an.**
ホユブ・アン.
走る・我
走り出しました。
- 1107 **Konepkeukata**
コネプケウカタ
何ということか
『可哀想になあ!』
- 1108 **konepkashita.**
コネプカシタ.
何としたことか
ああお気の毒に!
- 1109 **Pon a-koro sapo**
ポン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
姉さまは
- 1110 **nekona tapne**
ネコナ タプネ
どのように これである
どんなにか
- 1111 **untere humi**
ウンテレ フミ
人を待つ 気配
待ち遠しくて
- 1112 **okai be ne ya.**
オカイ ベ ネ ヤ.
ある もの (繫辞類) (疑問)
いらっしゃることか。

p. 19

*²⁴ eobarakurbaise 不詳。

- 1113 **A-wen unarbe**
 ア・ウエン ウナラベ
 我・悪い おば
 ろくでなしばあやに
- 1114 **tun a-ne wa**
 トウン ア・ネ ワ
 二人 我・である (接続)
 あたしたち二人で
- 1115 **a-koterke yakka**
 ア・コテレケ ヤクカ
 我・跳ばす (譲歩)
 かかっていっても、
- 1116 **tapne chikibo newa**
 タブネ チキボ ネワ
 これである もう少し であって
 もう少しで
- 1117 **inosashire-an anke**
 イノサウシレ・アン アンケ
 先回りする・我 しようとする
 イヨチへ先回りされそうだった
- 1118 **humash rokwa,**
 フマシ ロクワ,
 気配がする (完了) + (接続)
 のでしたが、
- 1119 **pon a-koro sapo**
 ポン ア・コロ サポ
 小さい 我・もつ 姉
 姉さまは
- 1120 **ouse shinen ne kane,**
 オウセ シネン ネ カネ,
 ただ (だけ) 一人 (繫辞類) (同時)
 今たった一人で戦っているのかわ』
- 1121 **ari yainu-an chiki**
 アリ ヤイヌ・アン チキ
 (引用) 考える・我 (条件)
 とあたしは思い、
- 1122 **nisomap^{*25} tura**
 ニソマップ トウラ
 心配する とともに
 姉を案じながら
- 1123 **terke-an humi**
 テレケ・アン フミ
 跳ねる・我 音
 跳んで行く音が
- 1124 **rimnatara.**
 リムナタラ.
 ドスンと響く
 ドシドシドシ。
- 1125 **Ek-an awa,**
 エク・アン アワ,
 来る・我 (展開)
 トミサンベチに来たところが、
- 1126 **ran kiroro**
 ラン キロロ
 下がる 広い路
 浜手へ降りる大路の
- 1127 **kiroro but ta**
 キロロ ブト タ
 広い路 河口 (場所)
 出口に
- 1128 **a-wen unarbe**
 ア・ウエン ウナラベ
 我・悪い おば
 ろくでなしばあや-
- 1129 **mi chikirbe**
 ミ チキリベ
 着る 刺繍衣
 まとった着物は
- 1130 **chiyashbayashba,**
 チヤシバヤシバ,
 裂かれる
 ボロボロに裂けていて、
- 1131 **otu tubep sai ne^{*26}**
 オトゥ トゥベプ サイ ネ
 二つの 紐 輪 (繫辞類)
 たくさんの投げ縄を下げたみたいに、
- 1132 **ore tubep sai ne^{*27}**
 オレ トゥベプ サイ ネ
 三つの 紐 輪 (繫辞類)
 いくつもの紐状の輪になって
- 1133 **chiekotpa,**
 チエコトパ,
 結びついている
 くつつき垂れ、
- 1134 **oat chinki**
 オアト チンキ
 片方の 裾
 裾の片側は
- 1135 **toop rik ta an kane**
 トオブ リク タ アン カネ
 ずっと遠く 高所 (場所) ある (同時)
 はるか上にずり上がっていて
- 1136 **oat chinki**
 オアト チンキ
 片方の 裾
 もう片方の裾は
- 1137 **toop ra ta an kane.**
 トオブ ラ タ アン カネ.
 ずっと遠く 川岸 (場所) ある (同時)
 下の方にずり落ちている。
- 1138 **Kimui kashike**
 キムイ カシケ
 頭 上
 頭には

*25 原綴 nisobap

*26 原綴 otubep saine

*27 原綴 ore bepsaine

- 1139 **chishitoshito**
チシトシト
縮こまる
グシャグシャになった
- 1140 **boro ketushi**
ボロ ケトウシ
大きい 長持ち
嫁入り道具入れの袋
- 1141 **tomotarotte wa**
トモタロトテ ワ
負い繩かける (接続)
の真ん中に負い繩かけて
- 1142 **se kane.**
セ カネ.
背負う (同時)
背負っているが、
- 1143 **Oar shikehe**
オアラ シケヘ
全く 荷物
片方の荷物は
- 1144 **tane tane ebittek anke,**
タネ タネ エビトテク アンケ,
今 今 はずれる しようとする
今にもはずれそうで、
- 1145 **oar shike**
オアラ シケ
全く 荷
もう片方は
- 1146 **eheuke kane.**
エヘウケ カネ.
上に傾く (同時)
頭にのしかかっていたー
- 1147 **Taban seshsereke**
タバシ セシセレケ
この 泣きじゃくる
たいそう泣きじゃくり
- 1148 **ekoseutkan-**
エコセウトカン・
自分の肋骨
あばら骨を
- 1149 **rikin kane,**
リキン カネ,
昇る (同時)
しゃくり上げながら、
- 1150 **I-nukara awa**
イ・ヌカラ アワ
我・見る (展開)
あたしを見るなり
- 1151 **ene itak i.**
エネ イタキ.
このように 言う ことには
こう言いました。
- 1152 **Achikara ta.**
アチカラ タ.
いやなことだ (感嘆)
「ああいまいましい！」
- 1153 **Ayakanna ta.**
アヤカンナ タ.
ろくでもないことだ (感嘆)
腹が立つ！
- 1154 **A-wen matkarku**
ア・ウエン マトカラク
我・悪い 姪
わが悪しき姪
- 1155 **utarorke.**
ウタロロケ.
たち
らめが。
- 1156 **Ene hetapne**
エネ ヘタブネ
このように これ
あんなにもまあ
- 1157 **a-reshba humi**
ア・レシバ フミ
我・育てる 気配
あちしが育てるのに
- 1158 **a-eshinki*28 humi**
ア・エシンキ フミ
我・疲労する 気配
苦勞したので
- 1159 **okai rok awa,**
オカイ ロク アワ,
ある (完了) (展開)
あったのに、
- 1160 **chiwenokbare**
チウエノクバレ
悲しませる
人の恩を仇で
- 1161 **i-y-ekarkar**
イ・イエカラカラ
我・する
返し
- 1162 **shiri okai.**
シリ オカイ.
様子 ある
くさるのか。
- 1163 **Nekona hene**
ネコナ ヘネ
どのように も
お前たちがどう
- 1164 **i-kichi kuni p**
イ・キチ クニ プ
我・する ところ もの
動き
- 1165 **katkoro kuni p**
カトコロ クニ プ
振舞う ところ もの
どう振る舞った

*28 原綴 eshin のみ

- 1166 **echi-ne apkusu**
エチ・ネ アプクス
汝ら・である としても
としても
- 1167 **echi-eokatune**
エチ・エオカトゥネ
汝らただでは済まない
この後ただでは
- 1168 **echi-ki nankoro wa.**
エチ・キ ナンコロ ワ.
汝ら・する だろう (文終結)
すまないぞ」
- 1169 **ari chish koro**
アリ チシ コロ
(引用) 泣く (同時)
と泣きながら
- 1170 **too i-akkari.**
トオ イ・アクカリ.
ずっと遠くへ 我・過ぎる
遠くへ通り越して行った。
- 1171 **Sonno hetapne**
ソンノ ヘタプネ
真に これ
ほんとにまあ、
- 1172 **a-wen unarbe**
ア・ウェン ウナラベ
我・悪い おば
ろくでなしばあやは
- 1173 **chihoiyore*²⁹**
チホイヨレ
乱心する
邪神に魅入られ
- 1174 **chibauchikore.**
チバウチコレ.
乱心する
妖魔に憑かれてしまった。
- 1175 **Kashikobakta**
カシコバクタ
その上に
その上
- 1176 **neita bakno**
ネイタ バクノ
どこに まで
どこまでも
- 1177 **chiwennoramu**
チウェンノラム
悪く思う
あたしたちを恨んで
- 1178 **i-y-ekarkar**
イ・イエカラカラ
我・する
やる
- 1179 **haweokai chiki,**
ハウエオカイ チキ,
言う (条件)
と言ったから、
- 1180 **irushka keutum**
イルシカ ケウトウム
怒る 心
猛然と腹が
- 1181 **a-yaikore.**
ア・ヤイコレ.
我・もつ
立ってきた。
- 1182 **Terke-an kane**
テレケ・アン カネ
跳ねる・我 (同時)
あたしは跳んで
- 1183 **a-ewak ushike ta**
ア・エワク ウシケ タ
我・住む ところ (場所)
シヌタブカの館で
- 1184 **chish turanno**
チシ トウランノ
泣く ともに
泣きながら
- 1185 **awoterke-an.**
アウォテレケ・アン.
我・家に飛び入る
家の中に踏み込んだ。
- 1186 **Inkar-an awa,**
インカラ・アン アワ,
見る・我 (展開)
見れば、
- 1187 **amso kurka**
アムソ クルカ
寝台 上
台座の上
- 1188 **ukoterke okake**
ウコテレケ オカケ
組み合う あと
組み討ちした跡が
- 1189 **chicharichari.**
チチャリチャリ.
散らされている
歴然と残り、
- 1190 **Kamui tamasai**
カムイ タマサイ
神 胸飾り
母伝来の首飾りや
- 1191 **kamui ninkari**
カムイ ニンカリ
神 耳飾り
耳輪が
- 1192 **amso kurka**
アムソ クルカ
寝台 上
台座のうえに

*²⁹ 原綴 chihoiyoro

- 1193 **chicharichari***³⁰ **kane.**
チチャリチャリ カネ.
散らされている (同時)
散らかっていました。
- 1194 **Shiran ko,**
シラン コ,
有様である (条件)
そんな中で、
- 1195 **pon a-kor sapo**
ボン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
姉さまが
- 1196 **shitchashnure**
シトチャシヌレ
あたりを片付ける
掃除をし
- 1197 **koro okai.**
コロ オカイ.
(同時) ある
ていらした。
- 1198 **pon a-koro sapo**
ボン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
姉さまは
- 1199 **mashkinno**
マシキンノ
あまりに
あまりにも
- 1200 **moire-am be**
モイレ・アム ベ
遅い・我 もの
あたしの帰りが遅い
- 1201 **kone p ne kusu**
コネ プ ネ クス
(繫辞類) もの (繫辞類) (理由・目的)
ので
- 1202 **shino i-enisomap wa,**
シノ イ・エニソマブ ワ,
まことに 我・心配する (接続)
ひどく案じていたから、
- 1203 **inkan ruwe konna**
インカン ルウェ コンナ
見る 跡 は
あたしを見て
- 1204 **chainatara.**
チャイナタラ.
目を見開いている
目を見張っている。
- 1205 **A-chishhau konna**
ア・チシハウ コンナ
我・泣き声 は
あたしは泣き声
- 1206 **kari kane,**
カリ カネ,
回る (同時)
まじりに、
- 1207 **tapne tapne**
タブネ タブネ
これである これである
かくかくしかじかと
- 1208 **Kotanraumbé**
コタンラウムベ
人名
コタンラの奴が
- 1209 **katun ruwe okai,**
カトゥン ルウェ オカイ,
形をとる 跡 ある
振る舞い、
- 1210 **kashike un**
カシケ ウン
上 ある
おまけに
- 1211 **tapne kane**
タブネ カネ
これである (同時)
こんなことも
- 1212 **hawean kane,**
ハウエアン カネ,
言う (同時)
言って、
- 1213 **a-tokse honihi**
ア・トクセ ホニヒ
我・膨れた 腹
あたしのぼっこりお腹を
- 1214 **toikooterke**
トイコオテレケ
跳んで踏みつける
躍り上がって大地に踏みつけ
- 1215 **muk karkarse**
ムク カラカラセ
植物名 コロコロ転がる
ムクという蔓草の根が転がる
- 1216 **a-shikobayar.**
ア・シコバヤラ.
我・見せかける
みたいに転がした。
- 1217 **Naanika rai-an yakka**
ナアニカ ライ・アン ヤクカ
まさに 死ぬ・我 (譲歩)
危うくあたしが死にそうになっても
- 1218 **seenne ponno**
セエンネ ポンノ
(否定) 少し
まるつきり
- 1219 **ekottanu i**
エコトタヌ イ
関わる こと
知らん顔していたことを

*³⁰ 原綴 chiehichari

- 1220 **a-ye chiki,**
ア・イエ チキ,
我・言う (条件)
あたしがしゃべったから、
- 1221 **Ikoshikupmat**
イコシクプマト
(人名)
イコシクプマツである
- 1222 **pon a-koro sapo**
ポン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
姉さまは
- 1223 **inu rok be**
イヌ ロク ベ
聞く (完了) もの
ただ聞いているだけでも
- 1224 **tanto tori**
タント トリ
今日 泊る
一日いっぱい
- 1225 **chimoshiriko-**
チモシリコ・
国土じゅう
国土がグラグラ
- 1226 **suiba kane**
スイバ カネ
揺する (同時)
揺れるほど
- 1227 **okai rokine.**
オカイ ロキネ.
ある したあげく
驚いていましたが、
- 1228 **Kor wem buri**
コロ ウェム ブリ
持つ 悪い 行い
怒りの形相
- 1229 **enantuika**
エナントウイカ
顔一面
を顔中に
- 1230 **chihobunire.**
チホブニレ.
起きる
みなぎらせ、
- 1231 **Achikara ta.**
アチカラ タ.
いやなことだ (感嘆)
「ああいまいましい！」
- 1232 **Ayakanna ta.**
アヤカンナ タ.
ろくでもないことだ (感嘆)
腹が立つ！
- 1233 **Kotanraumbe**
コタンラウムベ
人名
コタンラの奴めが！
- 1234 **konewano tap sui**
コネワノ タブ スイ
どうして これ 再び
どこの血を引くものかと思えば
- 1235 **a-yairakbarep newa**
ア・ヤイラクバレブ ネワ
我・縁者 であって
ほかでもない同じ血筋の者と
- 1236 **a-i-koresu*³¹ haweokai kusu,**
ア・イ・コレス ハウエオカイ クス,
される・我ら・共育 言う (理由・目的)
許婚者として育てられていると言って、
- 1237 **I-resu yubi hene**
イ・レス ユビ ヘネ
我・育てる 兄 も
兄さまが
- 1238 **tu pirika kuni p**
トゥ ピリカ クニ プ
二つの よい はずの もの
たくさんのいいこと
- 1239 **re pirika kuni p**
レ ピリカ クニ プ
三つの よい はずの もの
いくつものいいことを
- 1240 **eitakhopba.**
エイタクホババ.
言い置く
言い置いて行かれた。
- 1241 **Tambe kusu**
タムベ クス
これ (理由・目的)
それゆえ
- 1242 **aokai ne yakka**
アオカイ ネ ヤクカ
我 (繫辞類) (譲歩)
わらわも
- 1243 **keutum ot ta**
ケウトウム オト タ
心 所 (場所)
心の内に
- 1244 **ohaine kane ari**
オハイネ カネ アリ
なるほど (音節調整) (引用)
納得して
- 1245 **a-eramuyupke**
ア・エラムユプケ
我・心強い
心強く思つ

*³¹ 金田一は、「ukoresu <相共に育て合う>は婚約の意である。その所相形 a-i-uko-resu の u が落ちたもの」と脚注して「われら相育てられていた」(金 I122)と訳している。萱野は、aikoresukuru を「私のいいなづけである人」(教 26-130)と訳す。

- 1246 **kane an-an.**
カネ アナン.
(同時) いる・我
ていた。
- 1247 **Tambe kusu**
タムベ クス
これ (理由・目的)
それで、
- 1248 **a-wen unarbe**
ア・ウェン ウナラベ
我・悪い おぼ
あのばあやが
- 1249 **chihoiyore,**
チホイヨレ,
乱心する
邪神に憑かれ、
- 1250 **chikoikka**
チコイクカ
盗む
盗みを
- 1251 **i-y-ekarkar,**
イ・イエカラカラ,
我・する
したり、
- 1252 **usa okirashnu**
ウサ オキラシヌ
(譲歩) 力が強い
戦うにも手強い
- 1253 **humi okai wakusu,**
フミ オカイ ワクス,
気配 ある (接続)
様子であったから、
- 1254 **ene hetapne**
エネ ヘタブネ
このように これ
あんなにも
- 1255 **a-eyam humi okai be**
ア・エヤム フミ オカイ ベ
我・心配する 気配 ある もの
大切な
- 1256 **a-matakipo ne koroka**
ア・マタキポ ネ コロカ
我・妹 (繫辞類) (逆接)
妹を、
- 1257 **kimatek-an wakusu**
キマテク・アン ワクス
慌てる (接続)
大急ぎで
- 1258 **a-uitek awa,**
ア・ウイテク アワ,
我・ (展開)
使わしたところ、
- 1259 **naanika**
ナアニカ
まさに
もう少しで
- 1260 **a-mukkaneraike wa**
ア・ムクカネライケ ワ
我・無傷で殺す (接続)
あいつに半殺しにされる
- 1261 **ene hawash i ta an.**
エネ ハワシ タ アン.
このように 言われる こと これ ある
ところだったというのか。
- 1262 **Konep a-kar kusu**
コネプ ア・カラ クス
何 我・する (理由・目的)
何しに
- 1263 **a-koasuranu p**
ア・コアスラス プ
我・伝言する もの
わが知らせを持った者に
- 1264 **katkoro hawe**
カトコロ ハウエ
振舞う 声
振る舞ったそのざまこそ
- 1265 **oyoyobota.**
オヨヨボタ.
(感嘆)
ああいまいましい!
- 1266 **ene hene iki-an**
エネ ヘネ イキ・アン
このように も する・我
どのようにでもすることが
- 1267 **eashkai i**
エアシカイ イ
できる こと
できるの
- 1268 **newa ne yakne,**
ネワ ネ ヤクネ,
であって (繫辞類) (条件)
であるならば、
- 1269 **taban te wano**
タバン テ ワノ
この これ から
今すぐにでも
- 1270 **Kotanraumbe**
コタンラウムベ
人名
コタンラの奴
- 1271 **a-koatchorauki wa,**
ア・コアトチャウキ ワ,
我・向かう (接続)
の所へ怒鳴り込んで行って、
- 1272 **a-toiko tata**
ア・トイコ タタ
我・激しく たたく
叩つ斬り
- 1273 **a-toiko humba p**
ア・トイコ フムバ プ
我・激しく 切り刻む もの
細切れにしてやるところ

- 1274 ne koroka,
ネ コロカ,
(繫辞類) (逆接)
だけれど、
- 1275 neino ka
ネイノ カ
ように も
そうも
- 1276 iki-an eaikap.
イキ・アン エアイカプ。
する・我 できない
いかぬ。
- 1277 Nekona hene
ネコナ ヘネ
どのように も
奴がどのように
- 1278 katkoro kuni p
カトコロ クニ プ
振舞う ところ もの
振る舞った
- 1279 e-ne apkusu
エ・ネ アプクス
汝・である としても
にしても
- 1280 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまが
- 1281 ek wa ne yakne,
エク ワ ネ ヤクネ,
来る (接続) (繫辞類) (条件)
帰ってきて、
- 1282 e-ebawetesu-an
エ・エバウエテス・アン
汝・証言する・我
わらわが奴の言ったことを証言し
- 1283 wa ne yakne,
ワ ネ ヤクネ,
(接続) (繫辞類) (条件)
たならば、
- 1284 chitoikoraie
チトイコライケ
惨殺する
兄上にひどい殺しかた
- 1285 e-ekarkar-an
エ・エカラカラ・アン
汝・される
をされる
- 1286 nankon na.
ナンコン ナ。
だろう ぞ
であろうぞ」
- 1287 ari itak kane,
アリ イタク カネ,
(引用) 言う (同時)
と言って、

- 1288 i-raukotabu
イ・ラウコタブ
我・つかむ
あたしを抱き寄せ
- 1289 i-shikoruye
イ・シコルイエ
我・撫でる
あたしを抱きしめ
- 1290 i-keuhumsu.
イ・ケウフムス。
我・無事をねぎらう
無事の帰還をことほぎました。

1.6 ニソシッチウエ神の女盗り事件

- 1291 Orowano
オロワノ
(始点)
それから
- 1292 tutko rerko
トゥトコ レレコ
二日 三日 (日数)
二三日
- 1293 okai-an awa,
オカイ・アン アワ,
いる・我ら (展開)
たった
- 1294 shineanto ta,
シネアント タ,
ある日 (場所)
ある日のこと、
- 1295 tane shironuman awa,
タネ シロヌマン アワ,
今 日が暮れる (展開)
もう日も暮れかけていたところ、
- 1296 rabokita
ラボキタ
そうしている間
ちょうどその時
- 1297 tuima shimoshiri kese
トゥイマ シモシリ ケセ
遠い 大いなる国土 末端
はるかな島の西のはてに
- 1298 bushkosanu,
ブシコサヌ,
爆音が鳴る
爆発する音がし、
- 1299 kamui ek humi
カムイ エク フミ
神 来る 音
神がやってくる音が
- 1300 keurototke.
ケウロトトケ。
響く
ゴロゴロ鳴り轟きました。

- 1301 **Iyainumare.**
イヤイヌマレ。
驚いた
まあ驚いた。
- 1302 **Saure rametok**
サウレ ラメトク
軽輩の 勇者
たいしたことがない勇者が
- 1303 **omanan humi**
オマナン フミ
行き来する 音
やってくる音
- 1304 **newa ne yakne**
ネワ ネ ヤクネ
であって (繫辞類) (条件)
なのであれば
- 1305 **ne kotom korokaiki,**
ネ コトム コロカイキ,
(繫辞類) ようである (逆接)
そのようにあるだろうに、
- 1306 **shino rametok**
シノ ラメトク
まことに 勇者
まことの勇者
- 1307 **kone p ne kusu**
コネ プ ネ クス
(繫辞類) もの (繫辞類) (理由・目的)
なものだから、
- 1308 **tura kamui mau**^{*32}
トゥラ カムイ マウ
ともに 神 風
伴う神風には
- 1309 **tane eashiri**
タネ エアシリ
今 それこそ
それこそ
- 1310 **tu shupne rera**
トゥ シュプネ レラ
二つの 渦になっている 風
たくさんの旋風
- 1311 **re shupne rera**
レ シュプネ レラ
三つの 渦になっている 風
いくつもの竜巻が
- 1312 **shikotchaotte.**
シコトチャオトテ。
自分の前に群がる
その前に群がっています。
- 1313 **An-ewak shiror**
アネワク シロロ
我・住む 場所
あたしの館とは
- 1314 **oyake un ek be**
オヤケ ウン エク ベ
よそ (方向) 来る もの
別の場所に来るの
- 1315 **newa ne yakne**
ネワ ネ ヤクネ
であって (繫辞類) (条件)
なら
- 1316 **kotom korokaiki,**
コトム コロカイキ,
ようである (逆接)
いいのに、
- 1317 **kamui ewaki**
カムイ エワキ
神 住まい
このお館あたりを
- 1318 **attomsama**
アトトムサマ
中
真っ直ぐ
- 1319 **yayomare p**
ヤヨマレ プ
自分を入れる もの
目指してやって来るもの
- 1320 **ne kotomno**
ネ コトムノ
(繫辞類) ように
らしく
- 1321 **iramu-an.**
イラム・アン。
思う・我
思われました。
- 1322 **Irukaine ko,**
イルカイネ コ,
しばらく経つ (条件)
たちまち、
- 1323 **tura kamui mau**
トゥラ カムイ マウ
ともに 神 風
勇者が連れてきた神風には
- 1324 **tu shupne rera**
トゥ シュプネ レラ
二つの 渦になっている 風
たくさんの巻風
- 1325 **re shupne rera**
レ シュプネ レラ
三つの 渦になっている 風
いくつもの竜巻が
- 1326 **shikotchaotte,**
シコトチャオトテ,
自分の前に群がる
風先に次々と巻き上がり、
- 1327 **tane eashiri**
タネ エアシリ
今 それこそ
今こそ

*32 原綴 mau が欠。

- 1328 chashi kar be
 チャシ カラ ベ
 チャシ 打つもの
 山城にあたる風は
- 1329 kosebepatki,
 コセベパトキ,
 ばたばたと鳴る
 ハタハタハタ、
- 1330 toyan kar be
 トヤン カラ ベ
 地面 打つもの
 地面を打つ風は
- 1331 koturimimse.
 コトゥリミムセ.
 響き渡る
 ゴウゴウと鳴り轟く。
- 1332 Humash chiki,
 フマシ チキ,
 気配がする (条件)
 そんな気配に、
- 1333 pon a-koro sapo tura
 ポン ア・コロ サポ トゥラ
 小さい 我・もつ 姉 ともに
 姉さまと
- 1334 utomohosarpa-an kane
 ウトモホサラパ・アン カネ
 顔見合わせる・我 (同時)
 あたしは顔を見合わせて
- 1335 ukobabise-a-atte kane
 ウコバビセ・ア・アトテ カネ
 囁き交わす・我 (同時)
 ヒソヒソ囁き交わして
- 1336 buine okai-an ko,
 ブイネ オカイ・アン コ,
 自分たちだけで いる・我ら (条件)
 自分たちだけでいると、
- 1337 rabokita eashiri
 ラボキタ エアシリ
 そうしている間 それこそ
 その間にもそれこそ、
- 1338 neptapteta,
 ネプタプテタ,
 何ということか
 何だってまあ、
- 1339 bayekai humi
 バイエカイ フミ
 行き来する 音
 やって来るその音ときたら
- 1340 orsaureko
 オロサウレコ
 とんでもなく
 とんでもない
- 1341 okai be ne ya
 オカイ ベ ネ ヤ
 あるもの (繫辞類) (疑問)
 音なのかしら
- 1342 ari hawokai an kane
 アリ ハウオカイ アン カネ
 (引用) 言う ある (同時)
 とあたしたちは言って
- 1343 a-konram konna
 ア・コンラム コンナ
 我・心 は
 心の中で
- 1344 kochupnatara.
 コチュプナタラ.
 すぼまる
 二人ともおびえていました。
- 1345 Rabokita
 ラボキタ
 そうしている間
 やがて
- 1346 kanakan kuni p
 カナカン クニ プ
 どういう ところ もの
 何者かが
- 1347 soyun yakura
 ソユン ヤクラ
 外にある 櫓
 外やぐら
- 1348 yakura ka un
 ヤクラ カ ウン
 櫓 上 (方向)
 の上に
- 1349 hachir hum konna
 ハチリ フム コンナ
 落ちる 音 は
 降下する音が
- 1350 rimkosanu.
 リムコサヌ.
 ドスンと鳴る
 ドシンとしました。
- 1351 Chise sam ka ta
 チセ サム カ タ
 家 そば 上 (場所)
 家のそば
- 1352 kanakatkorobe
 カナカトコロベ
 どのような もの
 何者かの
- 1353 apkash humi
 アプカシ フミ
 歩く 音
 足音だけで
- 1354 taban boro chise
 タバン ボロ チセ
 この 大きい 家
 このお館は
- 1355 chashi turano
 チャシ トゥラノ
 チャシ 一緒に
 山城とともに

- 1356 **shintā suye**
 シンタ スイエ
 揺りかご 揺する
 揺りかごを揺らす
- 1357 **ekannayukar.**
 エカンナユカラ.
 ようである
 さながらに揺れました。
- 1358 **Humash chiki,**
 フマシ チキ,
 気配がする (条件)
 それだけでも
- 1359 **a-eanuramuka-**
 ア・エアヌラムカ・
 我・心の上
 あたしたちには
- 1360 **kittararke.**
 キッタララケ.
 怖れる
 気味が悪い。
- 1361 **Mosem tuyor**
 モセム トウヨロ
 玄関納屋 中
 その者は玄関
- 1362 **eshikiru,**
 エシキル,
 回る
 に入ってきて、
- 1363 **mosem tuyor**
 モセム トウヨロ
 玄関納屋 中
 物置土間の中で
- 1364 **koshitoptobo**
 コシトプトボ
 身を上げ下げする
 身をかがめかがめ
- 1365 **koshireurewe.**
 コシレウレウエ.
 身を曲げる
 身を曲げたりひねったり。
- 1366 **Ratki aba**
 ラトキ アバ
 垂れ下がった 簾戸
 母屋入り口の御簾を
- 1367 **omasuyere,**
 オマウスイエレ,
 そよがせる
 するりと抜け、
- 1368 **mintar ot ta**
 ミンタラ オト タ
 土間 所 (場所)
 内土間へ
- 1369 **ahun kuni p**
 アフン クニ プ
 入る ところ もの
 入ってきた者を
- 1370 **a-nukar kusu,**
 ア・ヌカラ クス,
 我・見る (理由・目的)
 あたしが見て、
- 1371 **seenne nak sui**
 セエンネ ナク スイ
 (否定) (?) 再び
 まさかまた
- 1372 **shiran kuni**
 シラン クニ
 有様である ように
 そんなふうだとは
- 1373 **a-ramu rok be,**
 ア・ラム ロク ベ,
 我・思う (完了) もの
 思わなかったのに、
- 1374 **konep ne kuni p**
 コネプ ネ クニ プ
 何 (繫辞類) ところ もの
 何ということ
- 1375 **ne nankora.**
 ネ ナンコラ.
 (繫辞類) だろうか
 でしょうか。
- 1376 **Pon nuburi**
 ポン ヌブリ
 小さい 山
 小山から
- 1377 **tek a-ushte**
 テク ア・ウシテ
 手 生える
 手を生やし
- 1378 **chikir a-ushte**
 チキリ ア・ウシテ
 足 生える
 脚を生やした
- 1379 **semkorachi okai be,**
 セムコラチ オカイ ベ,
 まるで (する) ように ある もの
 ような者が、
- 1380 **shirar hayokbe**
 シララ ハヨクベ
 岩 装束
 岩の鎧が
- 1381 **chikin ne oman**
 チキン ネ オマン
 脚 (繫辞類) 行く
 脚先から
- 1382 **tek ne oman be mi wa,**
 テク ネ オマン ベ ミ ワ,
 手 (繫辞類) 行く もの 着る (接続)
 手の先まで蔽っているのを着て、
- 1383 **shirar tumama**
 シララ トウママ
 岩 胴体
 岩の胴を

- 1384 **kanchi bak emush**
 カンチ バク エムシ
 櫛 まで 刀
 櫛ほどの刀が
- 1385 **chieninninu*³³ kane.**
 チエニンニヌ カネ.
 貫いている (同時)
 貫いています。
- 1386 **Nan ne kor be**
 ナン ネ コロ ベ
 顔 (繫辞類) 持つ もの
 顔なるものは
- 1387 **soshke bira ne,**
 ソシケ ビラ ネ,
 はがれる 崖 (繫辞類)
 くずれおちた崖のようで、
- 1388 **etu ne kor be**
 エトウ ネ コロ ベ
 嘴 (繫辞類) 持つ もの
 鼻といえは
- 1389 **ratki shitu**
 ラトキ シトゥ
 垂れ下がった 尾根
 下り降りる山の峰
- 1390 **chiehumnatuiba**
 チエフムナトゥイバ
 ぶつつり切られた
 をスパッと切りとって
- 1391 **ahunboru tup bish**
 アフンボル トゥブ ビシ
 あの世入り口 二つ 浜
 あの世の入口の洞穴がふたつ
- 1392 **chieroshki**
 チエロシキ
 立っている
 並び立っている
- 1393 **semkorachi.**
 セムコラチ.
 まるで (する) ように
 かのよう。
- 1394 **Shik ne koro be**
 シク ネ コロ ベ
 目 (繫辞類) 持つ もの
 眼というものは
- 1395 **chiamenaye**
 チアメナイエ
 爪で筋をつけている
 爪あとのような細い目を
- 1396 **okai be ne.**
 オカイ ベ ネ.
 ある もの (繫辞類)
 している者でした。
- 1397 **Shin*³⁴ mintar ot ta**
 シン ミンタラ オト タ
 様子 土間 所 (場所)
 そやつは内土間に
- 1398 **ash bokaiki**
 アシ ボカイキ
 立つ さえも
 立っているのも
- 1399 **ewen kane.**
 エウエン カネ.
 よくない (同時)
 やつとこさです。
- 1400 **Tekkakipo**
 テクカキポ
 かざした手
 小手うちかざし
- 1401 **rikunruke**
 リクンルケ
 高くかざす
 高くかざし
- 1402 **raunruke,**
 ラウンルケ,
 低くかざす
 低くかざして、
- 1403 **tun a-ne wa**
 トウン ア・ネ ワ
 二人 我・である (接続)
 あたしたち二人
- 1404 **i-kurkashike**
 イ・クルカシケ
 我・上
 のからだを
- 1405 **uwambare.*³⁵**
 ウワムバレ.
 見て調べる
 よくよく見調べました。
- 1406 **Chise oshke**
 チセ オシケ
 家 中
 お館の中も
- 1407 **ebittano**
 エビトタノ
 一面中
 すみずみまで
- 1408 **uwambare.**
 ウワムバレ.
 見て調べる
 見調べました。
- 1409 **An-ewak ushike**
 アネワク ウシケ
 我・住む ところ
 わが屋敷

*³³ 原綴 chieninnu

*³⁴ shin 不明。

*³⁵ 原綴 uwambere

p. 24

- 1410 **upsoroho**
 ウフソロホ
 内部
 内部には
- 1411 **shino erayap be ne noine**
 シノ エラヤブ ベ ネ ノイネ
 まことに 感心する もの (繫辞類) らしく
 ほとほと感心したらしい
- 1412 **katun shiri okai.**
 カトゥン シリ オカイ.
 形をとる 様子 ある
 様子が見てとれます。
- 1413 **Itak ne manu p**
 イタク ネ マヌ プ
 言葉 (繫辞類) という もの
 物言うその言葉なるものは
- 1414 **eraunkuchi**
 エラウンクチ
 喉元
 喉奥
- 1415 **komeshkosamba**
 コメシコサムバ
 急にもぐ
 でゴボゴボと崩れ
- 1416 **esambarkashi**
 エサムバラカシ
 口元
 口元で
- 1417 **koyashrotok**
 コヤシロトトケ
 ビリビリビリ
 ビリビリ響く声で
- 1418 **ene okai i.**
 エネ オカイ イ.
 このように ある ことには
 こう言いました。
- 1419 **Koninkar kusu.**
 コニンカラ クス.
 さて (理由・目的)
 「これこれ。
- 1420 **Tomisambechi**
 トミサムベチ
 (地名)
 トミサンベチ
- 1421 **Shinutapka ta**
 シヌタプカ タ
 (地名) (場所)
 シヌタプカの
- 1422 **kamui katkemat**
 カムイ カトケマト
 神 婦人
 神のごとき淑女
- 1423 **utarorke.**
 ウタロロケ.
 たち
 たちよ。

- 1424 **Itak-an chiki**
 イタク・アン チキ
 言う・我 (条件)
 我が輩が申し述べることを
- 1425 **pirikano nu yan.**
 ビリカノ ヌ ヤン.
 良く 聞く (命令)
 よく聞け。
- 1426 **A-kor kotani**
 ア・コロ コタニ
 我・もつ 村
 わが村
- 1427 **reikoro katu**
 レイコロ カトゥ
 名のる 様
 の名は
- 1428 **Nisoshitchiwe**^{*36}
 ニソシッチウエ
 (地名)
 ニソシッチウエ
- 1429 **ne ruwe ne.**
 ネ ルウエ ネ.
 (繫辞類) 跡 (繫辞類)
 である。
- 1430 **Kamui a-ne wa,**
 カムイ ア・ネ ワ,
 神 我・である (接続)
 我が輩は神であって、
- 1431 **Kamui ot ta hene**
 カムイ オト タ ヘネ
 神 所 (場所) も
 天界にも
- 1432 **ainu ot ta hene**
 アイヌ オト タ ヘネ
 人間 所 (場所) も
 人間界にも
- 1433 **a-kon rametok**
 ア・コン ラメトク
 我・もつ 勇者
 度胸や
- 1434 **a-kor bawetok**
 ア・コロ バウエトク
 我・もつ 雄弁
 雄弁において

^{*36} nisoshitchiwi 「nis-o-sitciw-i <雲・そこへ・収まる・所>、雲のそこへ収まる処の意。この天空のはてに、天雲の収まるどころあり、そこより雲は湧き出で、空にみちわたり、又そこへ収まりて雲無き空ともなる、そのすべての雲の収まる天門を云ふ。(研 692)、<雲・そこに・おちつく・所>雲がそこに落ちつく所とは、雲がどこか空の一方にいつも落ちつく所があって、晴天の日は雲がそこにみな落ちつくから一点の雲もみえないが、そら一ぱいに雲がかゝるときは、ここから雲が出て来て、それで満天に満ち満ち、それ故ここをく雲の関>とか、<あまの戸>など訳す(金 II362)」

- 1435 **ebetturashi p**
 エベトトラシ プ
 匹敵する もの
 我が輩にかなう者は
- 1436 **shinep ka isam,**
 シネプ カ イサム,
 一つ も いない
 一人もいない、
- 1437 **shisak rametok**
 シサク ラメトク
 またとない 勇者
 たぐいまれなる勇者が
- 1438 **a-ne ruwe ne.**
 ア・ネ ルウェ ネ.
 我・である 跡 (繫辞類)
 我が輩なのである。
- 1439 **Eebaki ta**
 エエバキ タ
 次 (場所)
 それからまた
- 1440 **kamui ot ta**
 カムイ オト タ
 神 所 (場所)
 天界には
- 1441 **a-yaikotomka p**
 ア・ヤイコトムカ プ
 我・ふさわしい もの
 我が輩の嫁にふさわしい者を
- 1442 **a-hunara yakka**
 ア・フナラ ヤクカ
 我・探す (譲歩)
 探しても
- 1443 **oar oar sambe**
 オアラ オアラ サムベ
 全く 全く 心臓
 まったく我が輩の意に
- 1444 **a-ramuoshma p**
 ア・ラムオシマ プ
 我・同意する もの
 かなう
- 1445 **pirika menoko**
 ピリカ メノコ
 よい 女
 美女は
- 1446 **shinep ka**
 シネプ カ
 一つ も
 一人も
- 1447 **isam ruwe ne.**
 イサム ルウェ ネ.
 いない 跡 (繫辞類)
 いなかった。
- 1448 **Tambe kusu**
 タムベ クス
 これ (理由・目的)
 それゆえ、
- 1449 **ainu moshiri**
 アイヌ モシリ
 人間 国土
 人間界
- 1450 **moshiriso kurka**
 モシリソ クルカ
 国土の上 上
 その国おもてを
- 1451 **a-uwambare wa**
 ア・ウワムバレ ワ
 我・調べる (接続)
 見調べて
- 1452 **inkar-an awa,**
 インカラ・アン アワ,
 見る・我 (展開)
 みたところ、
- 1453 **Tomisambechi**
 トミサムベチ
 (地名)
 トミサンベチ
- 1454 **Shinutapka ta**
 シヌタプカ タ
 (地名) (場所)
 シヌタプカの
- 1455 **kamui katkemat**
 カムイ カトケマト
 神 婦人
 神の如き淑女
- 1456 **utarorke**
 ウタロロケ
 たち
 たちが、
- 1457 **tap eashiri**
 タプ エアシリ
 これ それこそ
 それこそ
- 1458 **a-yaikotomka.**
 ア・ヤイコトムカ.
 我・ふさわしい
 結婚相手にふさわしいと思った。
- 1459 **Kamui rametok**
 カムイ ラメトク
 神 勇者
 神の勇者である
- 1460 **echi-yubihi**
 エチ・ユビヒ
 汝ら・兄
 汝らの兄者が
- 1461 **pirika kunine**
 ピリカ クニネ
 よい ように
 いいあんばいに
- 1462 **uimam^{*37} kusu**
 ウイマム クス
 交易をする (理由・目的)
 交易するとて

- 1463 **tono moshiri**
トノ モシリ
殿 国土
和の国
- 1464 **ochipnere**
オチブネレ
舟を出す
へ船出し
- 1465 **wa isam i**
ワ イサム イ
(接続) いない こと
ていないことも
- 1466 **a-eraman kusu,**
ア・エラマン クス、
我・知る (理由・目的)
わかったから、
- 1467 **okakehe**
オカケヘ
後に
出発した後
- 1468 **a-tushmak wa**
ア・トゥシマク ワ
我・隙を窺う (接続)
我が輩はその隙を狙って
- 1469 **setatekbashte**
セタテクバシテ
女を強奪する
泥棒犬のごとく
- 1470 **echi-ekarkar-an**
エチ・エカラカラ・アン
我・汝に・する
汝らをさらに
- 1471 **kusu ek-an**
クス エク・アン
(理由・目的) 来る・我
やって来た
- 1472 **ruwe taban na.**
ルウェ タバン ナ.
跡 これである ぞ
のであるぞ。
- 1473 **Echi-obittano**
エチ・オビトタノ
汝ら・皆
二人とも
- 1474 **hokukoshikup**
ホクコシクブ
許婚がいる
婚約者がいる
- 1475 **menoko utar**
メノコ ウタラ
女 たち
娘たち
- 1476 **echi-ne yakka,**
エチ・ネ ヤクカ、
汝ら・である (譲歩)
であつても、
- 1477 **ainu hoku**
アイヌ ホク
人間 夫
人間の男と
- 1478 **echi-koro kasuno,**
エチ・コロ カスノ、
汝ら・持つ 以上
結婚するより、
- 1479 **kamui hoku**
カムイ ホク
神 夫
神と
- 1480 **echi-koro anakne,**
エチ・コロ アナクネ、
汝ら・持つ は
結婚したならば、
- 1481 **bakno echi-epirika p**
バクノ エチ・エピリカ プ
まで 汝ら・得をする もの
それだけでも儲けもの
- 1482 **ruwe taban na.**
ルウェ タバン ナ.
跡 これである ぞ
だぞ。
- 1483 **Tun echi-ne wa**
トゥン エチ・ネ ワ
二人 汝ら・である (接続)
汝ら二人とも
- 1484 **echi-tura rusui-an koroka,**
エチ・トゥラ ルスイ・アン コロカ、
汝ら・伴う したい・我 (逆接)
連れて行きたいが、
- 1485 **echi-koban chiki**
エチ・コバン チキ
汝ら・拒否する (条件)
嫌なら
- 1486 **echi-inanike ka**
エチ・イナニケ カ
汝ら・どれか も
どちらか一人を
- 1487 **i-tura kunak ramu yan.**
イ・トゥラ クナク ラム ヤン.
我・連れる (引用) 思う (命令)
連れて行くと思え。
- 1488 **Too shisotta a wa okai**
トオ シソッタ ア ワ オカイ
ずっと遠くへ 右座に 座る (接続) ある
あの右座に座っておられる
- 1489 **katkemat anakne**
カトケマト アナクネ
婦人 は
淑女は

*37 原綴 uimap

コタンラびとに腹を踏まれた姫が物語る

- 1490 **ainu ne kusu,**
アイヌ ネ クス,
人間 (繫辞類) (理由・目的)
人間だから、
- 1491 **naa too netobake**
ナア トオ ネットバケ
まだ ずっと遠くへ 身体
まだその姿が
- 1492 **a-nukara eashkai koroka,**
ア・ヌカラ エアシカイ コロカ,
我・見る できる (逆接)
見えるが、
- 1493 **taa oharkiso a*38 wa an**
タア オハラキシ ア ワ アン
ここに 左座 座る (接続) ある
こちらの左座に座っている
- 1494 **katkemat anakne**
カトケマト アナクネ
婦人 は
淑女は
- 1495 **oar ponnoka**
オアラ ポンノカ
全く 少しも
まったく少しも
- 1496 **netobake somo a-nukar.**
ネットバケ ソモ ア・ヌカラ.
身体 (否定) 我・見る
我が輩にはその姿が見えない。
- 1497 **Iyotta**
イヨッタ
最も
どうやらこちらの方が
- 1498 **pirika shiretok koro**
ピリカ シレトク コロ
よい 美貌の人 持つ
美人の
- 1499 **kotomno shiran kusu**
コトムノ シラン クス
ように 有様である (理由・目的)
ようだから、
- 1500 **keke hetak**
ケケ ヘタク
さあ さあ
さあ
- 1501 **i-tura kunak ramu yan.**
イ・トゥラ クナク ラム ヤン.
我・連れる (引用) 思う (命令)
連れて行くぞ」
- 1502 **ari itak kane**
アリ イタク カネ
(引用) 言う (同時)
と言いながら
- 1503 **i-kurkashike**
イ・クルカシケ
我・上
あたしの体を
- 1504 **uwambare.**
ウワムバレ.
見て調べる
じろじろ見つめました。
- 1505 **Inu newa**
イヌ ネワ
聞く であって
聞くだけに、
- 1506 **inkar newa**
インカラ ネワ
見る であって
見るだけに、
- 1507 **a-ki p ne koroka,**
ア・キ プ ネ コロカ,
我・する もの (繫辞類) (逆接)
しただけでも、
- 1508 **an-eramuka-**
アネラムカ・
我・気持ちの上
気味悪く
- 1509 **kittararke.**
キッタララケ.
怖れる
ぞっとする。
- 1510 **Ikoshikupmat**
イコシクプマト
(人名)
イコシクプマツである
- 1511 **pon a-koro sapo**
ボン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
姉さまは
- 1512 **inu rok be,**
イヌ ロク ベ,
聞く (完了) もの
それを聞いただけで、
- 1513 **koro wem buri**
コロ ウェム ブリ
持つ 悪い 行い
怒りの形相を
- 1514 **enantuikashi**
エナントウイカシ
顔面
顔中に
- 1515 **chihobunire**
チホブニレ
起きる
みなぎらせ
- 1516 **tan arka itak**
タン アラカ イタク
この 痛い 言葉
痛罵を

*38 原文には欠。

- 1517 **ebarsere**
エバラセレ
広げる
浴びせて
- 1518 **ene itak i.**
エネ イタキ.
このように 言う ことには
こう言いました。
- 1519 **Usaine tap sui**
ウサイネ タブ スイ
(呼びかけ) これ 再び
「おやおや、これは呆れた!
- 1520 **hawash hawe**
ハワシ ハウエ
言われる 声
おっしゃることは
- 1521 **an-oyamokte na.**
アノヤモクテ ナ.
我・不思議に思う ぞ
腑に落ちませぬぞ。
- 1522 **Kamui okai wa,**
カムイ オカイ ワ,
神 ある (接続)
たくさん神々がいらっしやっても、
- 1523 **matkon rusui***³⁹
マトコン ルスイ
妻を持つ (欲求)
われら姉妹を嫁に欲しい
- 1524 **hawe ne yakun,**
ハウエ ネ ヤクン,
声 (繫辞類) (条件)
というのなら、
- 1525 **I-resu yubi**
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまが
- 1526 **an rabokita**
アン ラボキタ
ある そうしている間
いるうちに、
- 1527 **nep kusu**
ネブ クス
何 (理由・目的)
何で
- 1528 **somo matetunno,**
ソモ マテトゥンノ,
(否定) 結婚を申し込む
嫁とりを申し込まずに
- 1529 **I-resu yubi**
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまが
- 1530 **ohashirkehe**
オハシリケヘ
留守の所
留守
- 1531 **tushmak wa**
トゥシマク ワ
競う (接続)
の隙を狙って
- 1532 **setatekbashte**
セタテクバシテ
女を強奪する
泥棒犬のように
- 1533 **i-y-ekarkar**
イ・イエカラカラ
我・する
女を盗んで行き
- 1534 **rusui hawe**
ルスイ ハウエ
(欲求) 声
たいと
- 1535 **ene okai i**
エネ オカイ イ
このように ある こと
こういう
- 1536 **tambe ne ya.**
タムベ ネ ヤ.
これ (繫辞類) (疑問)
のか。
- 1537 **Kamui buri**
カムイ ブリ
神 行い
神々の習いが
- 1538 **ene okai i**
エネ オカイ イ
このように ある こと
こんなこと
- 1539 **ne hawe hean.**
ネ ハウエ ヘアン.
(繫辞類) 声 なのか
だというのか。
- 1540 **Kamui anakne**
カムイ アナクネ
神 は
神というものは
- 1541 **heru kamui ne**
ヘル カムイ ネ
ただの 神 (繫辞類)
神々同士で
- 1542 **urameroshki p**
ウラメロシキ プ
互いの心を立てる もの
結婚すべきもの
- 1543 **ne nankoro be**
ネ ナンコロ ベ
(繫辞類) だろう もの
であろうのに、

*39 原綴 matkonru rusui

- 1544 **hemanta**
ヘマンタ
何
何かの
- 1545 **arkamiashi**
アラカミアシ
化物
大化け物、
- 1546 **katuhu ka**
カトゥフ カ
様子 も
その格好も
- 1547 **iramukittarara**
イラムキッタララ
気味が悪い
怖じ気をふるい
- 1548 **okai wa**
オカイ ワ
ある (接続)
たくなるようだが、
- 1549 **koohanepo**
コオハネポ
笑止にも
生意気にも
- 1550 **itakiboro**
イタキボロ
言葉つき
そのことばは
- 1551 **a-eraman kane**
ア・エラマン カネ
我・知る (同時)
われらに通じて、
- 1552 **mat kon rusui**
マト コン ルスイ
女 持つ (欲求)
嫁がほしい
- 1553 **haweokai.**
ハウエオカイ.
言う
のだそうな。
- 1554 **Annitne kamui**
アンニトネ カムイ
極悪である 神
極悪の神が
- 1555 **inkar kamui**
インカラ カムイ
見る 神
見守る神々
- 1556 **shiksama ta,**
シクサマ タ,
眼前 (場所)
の目の前で、
- 1557 **chikosomokur-**
チコソモクル・
(否定)
おそれつつしみも
- 1558 **yaikatanu,**
ヤイカタヌ,
畏れはばかる
せず、
- 1559 **shiknu ihoma p**
シクヌ イホマ プ
生きている 恐れる もの
死にたくて
- 1560 **tusa ihoma p**
トゥサ イホマ プ
快復する 恐れる もの
くたばりたくて
- 1561 **katkoro hawe**
カトコロ ハウエ
振舞う 声
そんなことをする
- 1562 **ene okai i**
エネ オカイ イ
このように ある こと
の
- 1563 **tambe ne ya.**
タムベ ネ ヤ.
これ (繫辞類) (疑問)
か」
- 1564 **ari hawash awa,**
アリ ハワシ アワ,
(引用) 言われる (展開)
と言ったら、
- 1565 **arkamiashi**
アラカミアシ
化物
大魔神は
- 1566 **mina ne manu p**
ミナ ネ マヌ プ
笑う (繫辞類) という もの
笑い声らしきもの
- 1567 **eraunkuchi**
エラウンクチ
喉元
で喉奥が
- 1568 **komeshrototke**
コメシロトトケ
壊れる音
ウフウフウフと鳴り、
- 1569 **esambarkashi**
エサムバラカシ
口元
口もとから
- 1570 **koyashrototke.**
コヤシロトトケ.
ビリビリビリ
ビリビリビリと聞こえてきました。
- 1571 **Konep wen itak**
コネプ ウェン イタク
何 悪い 言う
「我が輩が何の悪い口を

- 1572 a-ki wakusu.
ア・キ ワクス。
我・する (接続)
きいたってか。
- 1573 Shirum menoko
シルム メノコ
汚い 女
このくされ女
- 1574 wem menoko
ウェム メノコ
悪い 女
ばか女めが!
- 1575 Itak ne yakka
イタク ネ ヤクカ
言葉 (繫辞類) (譲歩)
たとえ言葉だけでも
- 1576 chiekosomoyaikatanu
チエコソモヤイカタヌ
遠慮すること
おそれはばかりもせず
- 1577 i-y-ekarkar hawe
イ・イエカラカラ ハウエ
我・する 声
いうそのこと
- 1578 orsaureko ki hawe
オロサウレコ キ ハウエ
とんでもなく する 声
とんでもないことをいう
- 1579 ene okai i
エネ オカイ イ
このように ある こと
もの
- 1580 tambe ne ya.
タムベ ネ ヤ。
これ (繫辞類) (疑問)
だな。
- 1581 Eani e-koban ko
エアニ エ・コバン コ
汝 汝・拒否する (条件)
お前が嫌なら
- 1582 nentapora
ネンタポラ
誰が
誰が
- 1583 e-tura nankora.
エ・トゥラ ナンコラ。
汝・伴う だろうか
そなたを連れて行こうか。
- 1584 Tan kamui katkemat
タン カムイ カトケマト
この 神 婦人
こちらの淑女こそ
- 1585 sonno a-yaikotomka.
ソンノ ア・ヤイコトムカ。
真に 我・ふさわしい
まさに我が輩にピッタリだ]
- 1586 ari itak kane.
アリ イタク カネ。
(引用) 言う (同時)
と言いつて、
- 1587 sennekasui
センネカスイ
まさか
まさかまた
- 1588 arkamiashi
アラカミアシ
化物
大化け物が
- 1589 katkoro kuni
カトコロ クニ
振舞う ように
そのように振る舞うとは
- 1590 a-ramu rok i,
ア・ラム ロク イ,
我・思う (完了) ことには
おもわなかったのに、
- 1591 i-kotetterke
イ・コテテレケ
我・跳びかかる
あたしに跳びかかり
- 1592 a-oat tapsutu
ア・オアト タプストゥ
我・片方の 肩
あたしの片方の肩を
- 1593 eshikari
エシカリ
つかむ
むずとつかみ
- 1594 aba orun
アバ オルン
簾戸 (方向)
戸口へ
- 1595 i-etetterke.
イ・エテテレケ。
我・よろよろ跳ぶ
ノタノタ歩いて行きました。
- 1596 Arbeutanke
アラバウタンケ
激しい危急の叫び
驚きの声を
- 1597 a-ekususuye,*40
ア・エクススイエ,
我・不意に放つ
あたしはふりしぼり、
- 1598 yayehoturiri-an.
ヤイエホトゥリリ・アン。
自分を引っ張る・我
足をつっぱりました。

*40 原綴 Aekusu yuye

- 1599 **Pon a-koro sapo**
 ボン ア・コロ サポ
 小さい 我・もつ 姉
 姉さまは
- 1600 **humse tura**
 フムセ トウラ
 声を出す とともに
 フムっと氣勢をあげて
- 1601 **matkosanu,**
 マトコサヌ,
 さっと立ち上がる
 さっと立ち上がり、
- 1602 **A-tumam noshki**
 ア・トゥマム ノシキ
 我・胴 真中
 あたしの胴を
- 1603 **yupke kishma kane.**
 ユプケ キシマ カネ,
 強い 抱える (同時)
 ぎっちりつかまえました。
- 1604 **tun a-ne wa**
 トウン ア・ネ ワ
 二人 我・である (接続)
 あたしたち二人が
- 1605 **ikkeu kiroro**
 イクケウ キロロ
 腰 力
 渾身のちから
- 1606 **montum kiroro**
 モントウム キロロ
 腕の力 力
 腕いっぱい力を
- 1607 **a-yaikosapte wa**
 ア・ヤイコサプテ ワ
 我・みずから出す (接続)
 しぼり出して
- 1608 **shiyupba-an ko,**
 シユプバ・アン コ,
 引き締める・我 (条件)
 ふんばると、
- 1609 **boro rui kuni p**
 ボロ ルイ クニ プ
 大きい 激しい ところ もの
 そのでかぶつは
- 1610 **rorunsoba ta**
 ロルンソバ タ
 上座の上手 (場所)
 上座のはしっこに
- 1611 **a-eterke kane.**
 ア・エテレケ カネ,
 跳ばされる (同時)
 はね跳ばされました。
- 1612 **Boro rui kuni p**
 ボロ ルイ クニ プ
 大きい 激しい ところ もの
 そのどでかい奴が
- 1613 **shiyupba ko,**
 シユプバ コ,
 引き締める (条件)
 ふんばると、
- 1614 **aba tuika ta**
 アバ トウイカ タ
 簾戸 上 (場所)
 戸口まで
- 1615 **i-eterke-an.**
 イ・エテレケ・アン,
 我・跳ね飛ばされる
 あたしが引っ張られました。
- 1616 **Orowano**
 オロワノ
 (始点)
 それから
- 1617 **tu noiwan sui**
 トウ ノイワン スイ
 二つの 六つの 回
 数十回も
- 1618 **re noiwan sui**
 レ ノイワン スイ
 三つの 六つの 回
 何百回も
- 1619 **i-eterke-an chiki,**
 イ・エテレケ・アン チキ,
 我・跳ね飛ばされる (条件)
 はね跳ばされて、
- 1620 **tane anakne**
 タネ アナクネ
 今 は
 とうとう
- 1621 **shinki rui be**
 シンキ ルイ ベ
 疲れる 激しい もの
 疲れ果てた
- 1622 **a-ne p ne kusu,**
 ア・ネ プ ネ クス,
 我・である もの (繫辞類) (理由・目的)
 ものだから、
- 1623 **a-montum konna**
 ア・モントウム コンナ
 我・気力 は
 あたしの力も
- 1624 **koshumnatar.**
 コシムナタラ,
 萎れている
 つきてしまいました。
- 1625 **Pon a-kor sapo**
 ボン ア・コロ サポ
 小さい 我・もつ 姉
 姉さま
- 1626 **newa ne yakka**
 ネワ ネ ヤクカ
 であって (繫辞類) (譲歩)
 も

- 1627 **shinki rui be**
シンキ ルイ ベ
疲れる 激しい もの
精根尽き
- 1628 **kone p ne kusu,**
コネ プ ネ クス,
(繫辞類) もの (繫辞類) (理由・目的)
果てて、
- 1629 **konubopbeta-**
コヌボプベタ・
汗で
脂汗を
- 1630 **rikan kane.**
リカン カネ.
湿っている (同時)
浮かべています。
- 1631 **Arwen kamui**
アラウェン カムイ
ひどい 神
極悪の神
- 1632 **annitne kamui**
アンニトネ カムイ
極悪である 神
大魔神は
- 1633 **humse hawe**
フムセ ハウエ
声を出す 声
おたけびの声
- 1634 **shinka hawe**
シンカ ハウエ
雄叫び 声
フムという声を
- 1635 **utumshitaiki**
ウトウムシタイキ
ぶつかり合う
こもごもあげながら
- 1636 **ene itak i.**
エネ イタキ.
このように 言う ことには
こう言いました。
- 1637 **Sonno hetapne**
ソンノ ヘタブネ
真に これ
「ほんにまあ!
- 1638 **tu pon matkachi**
トゥ ボン マトカチ
二つの 小さい 少女
こむすめ二人の
- 1639 **tumkoro humi**
トゥムコロ フミ
元気になる 気配
強いこと
- 1640 **kirorashnu humi**
キロラシヌ フミ
力が強い 気配
力あること
- 1641 **ebosokusu**
エボソクス
なるほど
なるほど
- 1642 **barkoro*41 hawe**
バラコロ ハウエ
(不詳) 声
(不詳)
- 1643 **okai be ne kusu**
オカイ ベ ネ クス
ある もの (繫辞類) (理由・目的)
あるものだから
- 1644 **ohanakusu**
オハナクス
こしやくにも
まさか
- 1645 **aokai bak be**
アオカイ バク ベ
我 まで もの
俺さまほどのものが
- 1646 **tane anakne**
タネ アナクネ
今 は
もはや
- 1647 **inosawshire-an*42 anke**
イノサウシレ・アン アンケ
先回りする・我 しようとする
今にも先手をうたれる
- 1648 **humash humi**
フマシ フミ
気配がする 気配
ようなことが
- 1649 **ene okai i**
エネ オカイ イ
このように ある こと
あると
- 1650 **tambe ne ya.**
タムベ ネ ヤ.
これ (繫辞類) (疑問)
いうのか。
- 1651 **Nekona hene**
ネコナ ヘネ
どのように も
汝らがどう
- 1652 **katkoro kuni p**
カトコロ クニ プ
振舞う ところ もの
振舞つ
- 1653 **echi-ne a kusu,**
エチ・ネ ア クス,
汝ら・である 完了 (理由・目的)
ても、

*41 parkor 不詳。

*42 inosawshire 不詳。

- 1654 **neita bakno**
 ネイタ バクノ
 いつ まで
 あくまで
- 1655 **a-ki a itak kurkashi**
 ア・キ ア イタク クルカシ
 我・する 完了 言葉 上
 俺の言葉に
- 1656 **chikooterke,**
 チコオテレケ,
 踏む
 さからって、
- 1657 **chiyainikorooshmare**
 チヤイニコロオシマレ
 恥ずかしい
 我が輩の面子を
- 1658 **echi-i-y-ekarkar wa**
 エチ・イ・イエカラカラ ワ
 汝ら・我・する (接続)
 つぶす
- 1659 **ne a yakne,**
 ネ ア ヤクネ,
 (繫辞類) 完了 (条件)
 のであれば、
- 1660 **ukokushishba**
 ウコクシシバ
 とともに
 二人とも
- 1661 **pon shiknupo**
 ボン シクヌポ
 小さい 生存
 決して生かしておかず
- 1662 **poon tusapo**
 ポオン トウサポ
 小さい 助け
 助けて
- 1663 **echi-ki nankoro wa,**
 エチ・キ ナンコロ ワ,
 汝ら・する だろう (接続)
 やらずに、
- 1664 **chitoikotata**
 チトイコタタ
 叩き切る
 ぶった斬り
- 1665 **chitoikoraike**
 チトイコライケ
 惨殺する
 ぶち殺して
- 1666 **echi-ekarkar**
 エチ・エカラカラ
 汝ら・なす
 やる
- 1667 **kusu ne ruwe taban.**
 クス ネ ルウェ タバン.
 (理由・目的) (繫辞類) 跡 これである
 からな]
- 1668 **ari itak kane**
 アリ イタク カネ
 (引用) 言う (同時)
 と言って、
- 1669 **heise hawe**
 ヘイセ ハウェ
 息 声
 息をハッハッと
- 1670 **kobiunatarata.**
 コビウナタラ.
 荒い
 激しくついています。
- 1671 **Hawash chiki**
 ハワシ チキ
 言われる (条件)
 そう言われると
- 1672 **tane anakne**
 タネ アナクネ
 今 は
 さすがに
- 1673 **yayoshkoro keutum**
 ヤヨシコロ ケウトウム
 口惜しい 心
 くやしく
- 1674 **a-yaikore.**
 ア・ヤイコレ.
 我・もつ
 なりました。
- 1675 **Konep wen keutum**
 コネプ ウェン ケウトウム
 何 悪い 心
 何一つ悪気も
- 1676 **konep wen sambe**
 コネプ ウェン サムベ
 何 悪い 心臓
 邪心も
- 1677 **a-kon rok wakusu**
 ア・コン ロク ワクス
 我・もつ (完了) (接続)
 無かったから、
- 1678 **sonno hetapne**
 ソンノ ヘタプネ
 真に これ
 ほんにまあ
- 1679 **I-resu yubi**
 イ・レス ユビ
 我・育てる 兄
 兄さまが
- 1680 **nomi kamui**
 ノミ カムイ
 祈る 神
 いつも祀っている神々が
- 1681 **uwatte nankoro be,**
 ウワトテ ナンコロ ベ,
 集まる だろう もの
 大勢いらっしゃるだろうに、

- 1682 **ene hetapne**
エネ ヘタブネ
このように これ
なんとまあ
- 1683 **tane anakne**
タネ アナクネ
今 は
今は
- 1684 **chiyaiwennukare**
チヤイウエンヌカレ
弱りきる
せっぱつまって
- 1685 **uwesamanno**
ウエサマンノ
いっしょに
あたしたち二人が
- 1686 **i-y-ekarkar-an**
イ・イエカラカラ・アン
我・される
弱り切っている
- 1687 **shiri okai ko,**
シリ オカイ コ,
様子 ある (条件)
その様を、
- 1688 **shine kamui boka**
シネ カムイ ボカ
一つの 神 さえ
ただ一人の神も
- 1689 **hosarba**
ホサラバ
振り向く
振り向いて
- 1690 **kashichiobiki**
カシチオビキ
救援に赴く
助けに
- 1691 **i-y-ekarkar wa**
イ・イエカラカラ ワ
我・する (接続)
かけつけて来て
- 1692 **i-kore eaikap wa**
イ・コレ エアイカプ ワ
我・与える できない (接続)
くれることが出来ない
- 1693 **hetapne. Shiran chiki,**
ヘタブネ、 シラン チキ、
これ 有様である (条件)
のか! そうであるなら
- 1694 **Irushka keutum**
イルシカ ケウトウム
怒る 心
とても腹が
- 1695 **a-yaikore.**
ア・ヤイコレ.
我・もつ
立つ。
- 1696 **Konepkeukata**
コネプケウカタ
何ということか
あああわれな、
- 1697 **konepkashita**
コネプカシタ
何としたことか
お気の毒に!
- 1698 **I-resu yubi**
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまが
- 1699 **ene hetapne**
エネ ヘタブネ
このように これ
あんなにも
- 1700 **i-esambesak**
イ・エサムベサク
我・命のように
ご自分の心臓がなくなるほど
- 1701 **i-omap shiri**
イ・オマプ シリ
我・可愛がる 様子
あたしを可愛がって
- 1702 **okai rok awa,**
オカイ ロク アワ,
ある (完了) (展開)
いらしたのに、
- 1703 **tane anakne**
タネ アナクネ
今 は
今しも
- 1704 **sembirke ta**
セムビリケ タ
陰 (場所)
兄さまがいない所で
- 1705 **rai ne manu p**
ライ ネ マヌ プ
死ぬ (繫辞類) という もの
死というものを
- 1706 **a-ki kusu**
ア・キ クス
我・する (理由・目的)
与えられ
- 1707 **shiriki shiri**
シリキ シリ
そのような有様である 様子
ようとしている
- 1708 **hawash chiki,**
ハワシ チキ、
言われる (条件)
ということだから、
- 1709 **tun a-ne wa**
トゥン ア・ネ ワ
二人 我・である (接続)
あたしたち二人の

- 1710 **chish-an hawe***43
 チシ・アン ハウエ
 泣く・我 声
 泣き叫ぶ声が
- 1711 **tununitara.**
 トゥヌニタラ.
 美しい音が響く
 響きわたりました。
- 1712 **Boro rui kuni p**
 ボロ ルイ クニ プ
 大きい 激しい ところ もの
 その大でかぶつをば
- 1713 **makan ne ko**
 マカン ネ コ
 どのような (繫辞類) (条件)
 ときには
- 1714 **a-kochinrikikur-**
 ア・コチンリキクル・
 我・足を高々と
 脚を高く
- 1715 **buni kane**
 ブニ カネ
 上げる (同時)
 ふりあげて
- 1716 **a-toikooterke.**
 ア・トイコオテレケ.
 我・激しく踏む
 あたしは、どんと踏みつけました。
- 1717 **oshserke haukan**
 オシセレケ ハウカン
 驚く 声
 そいつは、たまげた声の末尾を
- 1718 **kari kane,**
 カリ カネ,
 回る (同時)
 裏声にしながら、
- 1719 **Sonno hetapne**
 ソンノ ヘタプネ
 真に これ
 「ほんとにまあ!
- 1720 **shirum menoko**
 シルム メノコ
 汚い 女
 くされ女
- 1721 **utarorke.**
 ウタロロケ.
 たち
 めらが!
- 1722 **chikosomokur-**
 チコソモクル・
 (否定)
 無礼な
- 1723 **yaikatanu shiri**
 ヤイカタヌ シリ
 畏れはばかる 様子
 ことをする
- 1724 **ene okai i***44
 エネ オカイ イ
 このように ある こと
 もの
- 1725 **tambe ne ya.**
 タムベ ネ ヤ.
 これ (繫辞類) (疑問)
 だな」
- 1726 **ari itak kane,**
 アリ イタク カネ,
 (引用) 言う (同時)
 と言って、
- 1727 **tane tane**
 タネ タネ
 今 今
 今にも今にも
- 1728 **i-tuye anke**
 イ・トウイエ アンケ
 我・切る しようとする
 あたしを斬り殺そうと
- 1729 **i-tauki anke**
 イ・タウキ アンケ
 我・叩き切る しようとする
 たたつ斬ろうと
- 1730 **i-ki p ne koroka,**
 イ・キ プ ネ コロカ,
 我・する もの (繫辞類) (逆接)
 するのだけれど、
- 1731 **neita bakno ne yakka**
 ネイタ バクノ ネ ヤクカ
 いつ まで (繫辞類) (譲歩)
 いつまでも
- 1732 **i-orauki kuni**
 イ・オラウキ クニ
 我・逃がす ように
 あたしに追いつけ
- 1733 **niukesh be**
 ニウケシ ベ
 しかねる もの
 ない
- 1734 **kone p ne kusu,**
 コネ プ ネ クス,
 (繫辞類) もの (繫辞類) (理由・目的)
 ものだから、
- 1735 **ubakitara**
 ウバキタラ
 相変わらず
 あいかわらず

*43 原綴 hewe

*44 原綴 i 欠。

- 1736 **i-eterke kane.**
イ・エテレケ カネ.
我・跳びかかる (同時)
あたしに跳びかかって来ます。
- 1737 **Rabokita**
ラボキタ
そうしている間
ちょうどその時
- 1738 **arekushkonna**
アレクシコンナ
突然
突然
- 1739 **rikunsui ka wa**
リクンスイ カ ワ
煙出しの穴 上 から
煙出し穴から
- 1740 **kemka imeru**
ケムカ イメル
血糸色 光
真っ赤な閃光が
- 1741 **tatushbe kunne**
タトウシベ クンネ
樺のたいまつ ように
たいまつのように
- 1742 **chupchise ne**
チュプチセ ネ
月暈 (繫辞類)
月の暈のように
- 1743 **a-nan kotchake**
ア・ナン コトチャケ
我・顔 前
あたしの顔の前で
- 1744 **eemakkosanu**
エエマクコサヌ
輝く
パツと輝いた
- 1745 **yak a-ramu,**
ヤク ア・ラム,
ということ 我・思う
と思ったら、
- 1746 **sennenaksui**
センネナクスイ
まさかこうまた
まさか
- 1747 **shiriki kuni**
シリキ クニ
そのような有様である ように
そうなるとは
- 1748 **a-ramu rok i,**
ア・ラム ロク イ,
我・思う (完了) ことには
思わなかったのに、
- 1749 **annitne kamui**
アンニトネ カムイ
極悪である 神
極悪の神
- 1750 **arwen bito**
アラウエン ビト
ひどい 人
極悪のお方が
- 1751 **shikiru tom ta*45**
シキル トム タ
振り向く 中ほど (場所)
振り向いた瞬間
- 1752 **tui rukhumi**
トゥイ ルクフミ
切れる 断片
ちぎれた断片が
- 1753 **chiusatchari.**
チウサトチャリ.
散らばる
左右へパツと散りました。
- 1754 **Wen rok be kusu**
ウエン ロク ベ クス
悪い (完了) もの (理由・目的)
悪かった奴の
- 1755 **inoto base**
イノト バセ
魂 重い
死んだ魂が重い
- 1756 **humash nankora.**
フマシ ナンコラ.
音がする だろわか
音を立てるのかしら。
- 1757 **Moshiri umake**
モシリ ウマケ
国土 崩れる
国土がガラガラと崩れ落ち
- 1758 **kotan umake**
コタン ウマケ
村 崩れる
村里が壊れ落ちる
- 1759 **semkorachi**
セムコラチ
まるで (する) ように
それさながらに、
- 1760 **inotoorke**
イノトオロケ
たましい
たましいが
- 1761 **hobuni humi**
ホブニ フミ
起き上がる 音
天に昇ろうとする音が

*45 原綴 shikurutomta. 例文に shisak rametok/shikiru tom ta/tui ruk humi/chiusatchari (教 151)、shikiru tom ta/a-temnikor ka ta/ohaunot charke/ekannayukar/tui rukhumi/chiusatchari (教 XV24) がある。知里の『語法』hontom-ta の項に「shikuru hontom-ta 避ける途端に」という記述があり、それとの混同か。

- 1762 **keurototke.**
ケウロトトケ。
響く
ゴウゴウと鳴り響きました。
- 1763 **Humash awa**
フマシ アワ
音がする (展開)
そういう音がした
- 1764 **hontomo ta**
ホントモ タ
途中 (場所)
そのとたん
- 1765 **bokna moshir**
ボクナ モシリ
下方の 国土
よみの国
- 1766 **a-kooterke kotomno,**
ア・コオテレケ コトムノ、
踏みつけられる ように
に踏みつけられたらしく、
- 1767 **a-ekanoterke p**
ア・エカノテレケ プ
上から踏みつけられる もの
上から踏みつけられたもの
- 1768 **kone p ne kusu,**
コネ プ ネ クス、
(繫辞類) もの (繫辞類) (理由・目的)
だから、
- 1769 **areboknashiri*46**
アレボクナシリ
全く下方の世界
よみの国
- 1770 **chieahunke.**
チエアフンケ。
入れられる
に潜り込む。
- 1771 **Hontomo ta**
ホントモ タ
途中 (場所)
その途中で
- 1772 **shimoshiripa ne**
シモシリパ ネ
国土のかみ (繫辞類)
この国土のかみのはずれに
- 1773 **koshibusu ne ko,**
コシブス ネ コ、
出現する (繫辞類) (条件)
現れ出ようとするば
- 1774 **kanakan kuni p orowa**
カナカン クニ プ オロワ
どういう ところ もの (始点)
誰やらから
- 1775 **a-ekanoterke**
ア・エカノテレケ
上から踏みつけられる
上から踏みつけられ、
- 1776 **shimoshirkesh un**
シモシリケシ ウン
国土のしも (方向)
この国のしものはずれ
- 1777 **ne yakka**
ネ ヤクカ
(繫辞類) (譲歩)
でも、
- 1778 **tu noiwan sui**
トゥ ノイワン スイ
二つの 六つの 回
何十回
- 1779 **re noiwan sui**
レ ノイワン スイ
三つの 六つの 回
何百回
- 1780 **shibusu kusu ne ko**
シブス クス ネ コ
現れる (理由・目的) (繫辞類) (条件)
出ようとしても
- 1781 **a-ekanoterke.**
ア・エカノテレケ。
上から踏みつけられる
上から踏みつけられる。
- 1782 **Tane anakne**
タネ アナクネ
今 は
とうとう
- 1783 **iwan boknashiri**
イワン ボクナシリ
六人 冥府
六重の奈落の底、
- 1784 **teine boknashiri**
テイネ ボクナシリ
湿った 冥府
ジメジメしたよみの国
- 1785 **a-kooterke,**
ア・コオテレケ、
踏みつけられる
へ蹴落とされ、
- 1786 **ahun hum konna**
アフン フム コンナ
入る 音 は
そこへ入って行く音が
- 1787 **oroneambe**
オロネアムベ
はなはだしく
おびただしく
- 1788 **kumrak kumrak kane.**
クムラク クムラク カネ。
泡立つ 泡立つ (同時)
ゴボゴボゴボゴボ響きます。

*46 ar-bok-na-shiri <全く・下・方の・世界>のこと。

p. 30

- 1789 Tu kamui rai hum
トゥ カムイ ライ フム
二つの 神 死ぬ 音
たくさんの神々が死んでいく音
- 1790 re kamui rai hum
レ カムイ ライ フム
三つの 神 死ぬ 音
いくつもの死霊の音が
- 1791 shitasare kane,
シタサレ カネ,
自分に逆らって行かせる (同時)
ひきかえして来ては、
- 1792 toop toop
トオブ トオブ
ずっと速く ずっと速く
はるか遠い
- 1793 teine boknamoshiri
テイネ ボクナモシリ
湿った 冥府
ジメジメしたよみの国
- 1794 kohumerauta-
コフメラウタ・
音を立てて奥に
へ音低く
- 1795 rorba kane.
ロロバ カネ.
沈む (同時)
沈んで行きました。
- 1796 kohumokake
コフモカケ
音の後
音が静まったあとは、
- 1797 chakkosanu,
チャクコサヌ,
静まり返る
ぱっとうち晴れ、
- 1798 nep humi ka
ネブ フミ カ
何 音 も
何の音も
- 1799 nep hawe ka
ネブ ハウェ カ
何 声 も
何の声も
- 1800 oarar isam.
オアララ イサム.
全く 無い
まったくしない。
- 1801 Shittoyakan
シトトヤカン
地上一帯
地上も地下も
- 1802 kokishnatara.
コキシナタラ.
静まる
ひっそりしています。

1.7 コタンラびとの弁明

- 1803 Rabokita
ラボキタ
そうしている間
そのうち
- 1804 chise sam ka ta
チセ サム カ タ
家 そば 上 (場所)
館のそばに
- 1805 ainu ek hum konna
アイヌ エク フム コンナ
人間 来る 音 は
人がやって来る音が
- 1806 tunash kane,
トゥナシ カネ,
素早い (同時)
急ぎ足に聞こえ、
- 1807 mosem tuyor
モセム トウヨロ
玄関納屋 中
玄関納屋に
- 1808 oshikiru.
オシキル.
回る
まわってきます。
- 1809 Tan chikutkesh
タン チクトケシ
この 咳払い
おとないの咳払いが
- 1810 chimaknaraye.
チマクナライエ.
奥に移る
コホンと聞こえました。
- 1811 Kanakan kuni p
カナカン クニ プ
どういう ところ もの
何者なのか、
- 1812 ratki aba
ラトキ アバ
垂れ下がった 簾戸
垂らしてある母屋の御簾を
- 1813 omausuyere
オマウスイエレ
そよがせる
フワリそよがせ、
- 1814 mintar ka ta
ミンタラ カ タ
土間 上 (場所)
内土間に
- 1815 rutkosanu p
ルトコサヌ プ
サッと入る もの
すいっと入ってきた者を

コタンラびとに腹を踏まれた姫が物語る

- 1816 a-nukar a kusu,
ア・ヌカラ ア クス,
我・見る 完了 (理由・目的)
あたしが見たら、
- 1817 sennekasui
センネカスイ
まさか
まさかまた
- 1818 inkar-an kunak
インカラ・アン クナク
見る・我 (引用)
見るとは
- 1819 a-ramu rok i,
ア・ラム ロク イ,
我・思う (完了) ことには
思わなかったのに、
- 1820 Kotanraumbe
コタンラウムベ
人名
コタンラの奴、
- 1821 ene hetapne
エネ ヘタプネ
このように これ
あんなにもまあ、
- 1822 a-tokse honi
ア・トクセ ホニ
我・膨れた 腹
あたしのぼっこりお腹を
- 1823 oterke wa
オテレケ ワ
着地する (接続)
踏みつけて、
- 1824 naanika i-raike,
ナアニカ イ・ライケ,
まさに 我・殺す
危うくあたしを殺そうとした、
- 1825 kashike un
カシケ ウン
上 (方向)
そのうえに
- 1826 tu arka itak
トゥ アラカ イタク
二つの 痛い 言葉
たくさんの痛罵
- 1827 re arka itak
レ アラカ イタク
三つの 痛い 言葉
いくつもの荒々しい言葉を
- 1828 i-kosuiपा hawe,
イ・コスイパ ハウエ,
我・揺らす 声
あたしに浴びせたそのことを、
- 1829 ene hetapne
エネ ヘタプネ
このように これ
なんとまあ
- 1830 a-eyayomap
ア・エヤヨマップ
我・悔しがる
あたしは口惜しく
- 1831 a-rushka humi
ア・ルシカ フミ
我・怒る 気配
腹がたったこと
- 1832 okai rok be,
オカイ ロク ベ,
ある (完了) もの
であった奴が、
- 1833 orhemkusu
オロヘムクス
いったいどうして
いったいどうした
- 1834 okai nankora.
オカイ ナンコラ.
ある だろうか
のか、
- 1835 woromakombu
ウォロマコムブ
水中にある昆布
水に浸かってうるけた昆布
- 1836 shikobayar kane.
シコバヤラ カネ.
さながらである (同時)
みたいに色を失っている。
- 1837 Ki p ne koroka
キ プ ネ コロカ
する もの (繫辞類) (逆接)
そうしながらも
- 1838 kosancha ot ta
コサンチャ オト タ
口元 所 (場所)
口元に
- 1839 mina kane,
ミナ カネ,
笑う (同時)
うす笑いを浮かべながら、
- 1840 i-oshmake
イ・オシマケ
我の・背後
あたしの後ろを
- 1841 urekushte
ウレクシテ
通る
通って
- 1842 hokaetok ta
ホカエトク タ
横座 (場所)
上座の客席に
- 1843 a hum konna
ア フム コンナ
座る 音 は
座る音が

- 1844 **naikosanu.**
ナイコサヌ。
鳴り響く
ガシヤリとしました。
- 1845 **A i moire**
ア イ モイレ
座る こと 遅い
座るやいなや、
- 1846 **tun a-ne wa**
トゥン ア・ネ ワ
二人 我・である (接続)
あたしたち二人
- 1847 **i-kurkashike**
イ・クルカシケ
我・上
の方を
- 1848 **uwambare kane**
ウワムバレ カネ
見て調べる (同時)
じつと見て、
- 1849 **ene itak i.**
エネ イタキ。
このように 言う ことには
こう言いました。
- 1850 **Koninkara kusu.**
コニンカラ クス。
さて (理由・目的)
「これこれ。
- 1851 **A-tureshipo**
ア・トゥレシポ
我・妹
わが従姉妹
- 1852 **utarorke.**
ウタロロケ。
たち
たちよ。
- 1853 **Itak-an chiki**
イタク・アン チキ
言う・我 (条件)
わが申し述べることを
- 1854 **pirikano nu yan.**
ピリカノ ヌ ヤン。
良く 聞く (命令)
しっかり聞きなさい。
- 1855 **Somo enene yakka**
ソモ エネネ ヤクカ
(否定) このようである (譲歩)
そうでなくても
- 1856 **tapne I-resu yubi**
タブネ イ・レス ユビ
これである 我・育てる 兄
イレスユビの兄者は、
- 1857 **kamui ewaki**
カムイ エワキ
神 住まい
お館が
- 1858 **eyam haweokai rok awa,**
エヤム ハウエオカイ ロク アワ、
気にかかる 言う (完了) (展開)
気がかりだと言っていたが、
- 1859 **sonno hetapne**
ソンノ ヘタブネ
真に これ
ほんにまあ、
- 1860 **Nisoshitchiwe un**
ニソシッチウエ ウン
(地名) ある
ニソシッチウエの
- 1861 **annitne kamui**
アンニトネ カムイ
極悪である 神
極悪の神が
- 1862 **naanika**
ナアニカ
まさに
あやうく
- 1863 **a-turesh utari**
ア・トゥレシ ウタリ
我・妹 たち
わが従姉妹たちを
- 1864 **pirika shiri**
ピリカ シリ
よい 様子
いいように
- 1865 **chikoeikka**
チコエイタカ
収奪
さらって
- 1866 **i-y-ekarkar shiri**
イ・イエカラカラ シリ
我・する 様子
いこうとしていた
- 1867 **ene okai ta an.**
エネ オカイ タ アン。
このように ある (感嘆) ある
のか。
- 1868 **Kamui renkaine**
カムイ レンカイネ
神 意志に従う
さいわいにして
- 1869 **a-toikoraike wa**
ア・トイコライケ ワ
我・惨殺する (接続)
俺がぶっ殺して、
- 1870 **teine boknamoshiri**
テイネ ボクナモシリ
湿った 冥府
ジメジメしたよみの国
- 1871 **a-kooterke wa isam**
ア・コオテレケ ワ イサム
我・踏み落とす (接続) いない
へ踏みつけてやった

- 1872 ruwe*47 taban.
ルウェ タバン.
跡 これである
のだ。
- 1873 Taban tewano
タバン テワノ
この これから
今これからは
- 1874 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
イレスユビの兄者が
- 1875 yan bakno
ヤン バクノ
上陸する まで
帰国するまでは、
- 1876 nepka
ネプカ
何か
何も
- 1877 echi-shitoma p ka
エチ・シトマ プ カ
汝ら・恐れる もの も
おそれるものは
- 1878 isam ruwe taban.
イサム ルウェ タバン.
無い 跡 これである
なくなったのだぞ。」
- 1879 ari itak awa,
アリ イタク アワ,
(引用) 言う (展開)
と言ったところ、
- 1880 Ikoshikupmat
イコシクプマト
(人名)
イコシクプマツである
- 1881 pon a-kor sapo
ボン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
あたしの姉さまは、
- 1882 otop chinki
オトプ チンキ
髪 裾
髪の中のすそが
- 1883 eshitchiure kane
エシトチウレ カネ
頭を下げる (同時)
床につくほど
- 1884 okai rok awa,
オカイ ロク アワ,
ある (完了) (展開)
頭を垂れていましたが、
- 1885 hetarkosanu,
ヘタラコサヌ,
サッと面を上げる
パッと顔をあげ、
- 1886 koro wem buri
コロ ウェム ブリ
持つ 悪い 行い
怒りの色を
- 1887 enantuikashi
エナントウイカシ
顔面
顔面に
- 1888 chibarsere
チバラセレ
広がる
燃え上がらせ、
- 1889 tan arka itak
タン アラカ イタク
この 痛い 言葉
この荒々しい言葉
- 1890 ebarsere*48
エバラセレ
広げる
を燃え上がらせて
- 1891 ene okai i.
エネ オカイ イ.
このように ある ことには
こう言いました。
- 1892 Achikara ta.
アチカラ タ.
いやなことだ (感嘆)
「ああいまいましい！」
- 1893 Ayakanna ta.
アヤカンナ タ.
ろくでもないことだ (感嘆)
腹が立つ！
- 1894 Kotanraunkuru
コタンラウクル
人名
コタンラのひと、
- 1895 pon a-wen yubi
ボン ア・ウェン ユビ
小さい 我・悪い 兄
憎きわが許婚者、
- 1896 an-otui ike,
アノトウイ イケ,
尻が切れる こと
最低の奴め。
- 1897 Koneptapteta,
コネプタプテタ,
何ということ
何だつてまあ、

*47 原綴 rewe

*48 原綴 ebar

- 1898 **somo yashtoma**
ソモ ヤシトマ
(否定) 恥ずかしい
はずかしげもなく
- 1899 **yayesunke**
ヤイエスンケ
自慢する
ほらをふく
- 1900 **newa ne yakka**
ネワ ネ ヤクカ
であって (繫辞類) (譲歩)
にしても
- 1901 **orsaureko ki**
オロサウレコ キ
とんでもなく する
たいそうなほら
- 1902 **haweokai be ne ya.**
ハウエオカイ ベ ネ ヤ.
言う もの (繫辞類) (疑問)
をふいたものだわね。
- 1903 **Koneita tapne**
コネイタ タプネ
どこに これである
どこに
- 1904 **annitne kamui**
アンニトネ カムイ
極悪である 神
極悪の神
- 1905 **arwen kamui**
アラウエン カムイ
ひどい 神
とんでもない神を
- 1906 **raike wakusu,**
ライケ ワクス,
殺す (接続)
殺したなどと、
- 1907 **inkar kamui**
インカラ カムイ
見る 神
見守る神々の
- 1908 **shik sama ta**
シク サマ タ
目 そば (場所)
目の前で
- 1909 **wen sunke ki**
ウエン スンケ キ
悪い 嘘 する
よくもひどい嘘を
- 1910 **haweokai be ne ya.**
ハウエオカイ ベ ネ ヤ.
言う もの (繫辞類) (疑問)
ついたものだわ。
- 1911 **Koneita tapne**
コネイタ タプネ
どこに これである
どこにまあ
- 1912 **nepka a-ehomatu p hene**
ネプカ ア・エホマトウ プ ヘネ
何か 我・驚く もの も
『何かに驚くことや
- 1913 **a-shitoma p hene**
ア・シトマ プ ヘネ
恐ろしい もの も
恐ろしいことが
- 1914 **an chiki,**
アン チキ,
ある (条件)
あったなら、
- 1915 **Kotanraunkuru**
コタンラウンクル
人名
コタンラびと
- 1916 **koasuranu wa**
コアスラヌ ワ
に知らせる (接続)
に知らせて
- 1917 **kepbirorke**
ケブピロロケ
お蔭で
その人の庇護の元に
- 1918 **etusa yan.**
エトウサ ヤン.
助かる (命令)
助かりなさい。
- 1919 **Neino**
ネイノ
ように
そのように
- 1920 **a-ye wa an na.**
ア・イエ ワ アン ナ.
我・言う (接続) ある ぞ
彼に頼んであるからな』
- 1921 **ari I-resu yubi**
アリ イ・レス ユビ
(引用) 我・育てる 兄
と兄さまが
- 1922 **itak hopba.**
イタク ホプバ.
言葉 残す
言いのこしていった。
- 1923 **Tambe kusu**
タムベ クス
これ (理由・目的)
それで
- 1924 **a-wen unarbe**
ア・ウエン ウナラベ
我・悪い おぼ
われらのぼあやが
- 1925 **ochiu tushtekka**
オチウ トウシテッカ
姦通する 黙らす
邪神に憑かれて

- 1926 **kinin tushtekka,**
 キニン トウシテッカ,
 淫乱 黙らす
 色にくるい
- 1927 **kashikobakta**
 カシコバクタ
 その上に
 おまけに
- 1928 **totto korobe**
 トトト コロベ
 母 持つ物
 母の形見
- 1929 **huchi korobe**
 フチ コロベ
 祖母 持つ物
 祖母の形見の品々を
- 1930 **chikoeikka**
 チコエイクカ
 収奪
 盗んで
- 1931 **i-y-ekarkar.**
 イ・イエカラカラ,
 我・する
 身につけた。
- 1932 **A-kishma awa,**
 ア・キシマ アワ,
 抑えられる (展開)
 わらわが彼女をつかんだら、
- 1933 **a-wen unarbe**
 ア・ウェン ウナラベ
 我・悪い おば
 憎きばあやは
- 1934 **okirashnu p**
 オキラシヌ プ
 力が強い もの
 強力の者
- 1935 **kone p ne kusu,**
 コネ プ ネ クス,
 (繫辞類) もの (繫辞類) (理由・目的)
 だったので、
- 1936 **tun a-ne wa**
 トウン ア・ネ ワ
 二人 我・である (接続)
 二人とも
- 1937 **oar oar**
 オアラ オアラ
 全く 全く
 ととてもとても
- 1938 **a-monpokashte.**
 ア・モンボカシテ.
 我・かなわない
 かなわない。
- 1939 **Tambe kusu**
 タムベ クス
 これ (理由・目的)
 それゆえ
- 1940 **pirika keutum**
 ビリカ ケウトウム
 よい 心
 そなたは、いい心根や
- 1941 **ramuhauke keutum**
 ラムハウケ ケウトウム
 親切な 心
 やさしい気持ちの
- 1942 **koro be e-ne**
 コロ ベ エ・ネ
 持つ もの 汝・である
 持ち主の
- 1943 **hawe ne kuni**
 ハウェ ネ クニ
 声 (繫辞類) ように
 ようだと
- 1944 **a-ramu kusu,**
 ア・ラム クス,
 我・思う (理由・目的)
 思ったから、
- 1945 **a-matakipo**
 ア・マタキポ
 我・妹
 わが妹を
- 1946 **a-uitek wa**
 ア・ウイテク ワ
 我・召し使う (接続)
 つかわして
- 1947 **e-koasuranu-an ko,**
 エ・コアスラス・アン コ,
 汝・知らせる・我 (条件)
 そなたに異変を知らせると、
- 1948 **irammayaisere**
 イラムマヤイセレ
 気の毒である
 おおかわいそうになあ!
- 1949 **monak kimatek wa**
 モナク キマテク ワ
 そうでなくても 慌てる (接続)
 そうでなくても、驚いて
- 1950 **chish shiri am be,**
 チシ シリ アム ベ,
 泣く 様子 ある もの
 妹が泣いているのに、
- 1951 **chieramunishte**
 チエラムニシテ
 強情を張ること
 薄情にも
- 1952 **chiemoninishte**^{*49}
 チエモニニシテ
 酷い仕打ちをする
 手荒な

*49 原綴 chie monishte

- 1953 e-ekarkar kusu,
エ・エカラカラ クス,
汝・する (理由・目的)
あつかいをして、
- 1954 shukup matkachi
シュクプ マトカチ
成長する 少女
少女の
- 1955 katu chiwente
カトゥ チウエンテ
2q1 様子 q2 姿 痛めつけられる
尊厳を傷つける
- 1956 newa ne yakka
ネワ ネ ヤクカ
であって (繫辞類) (譲歩)
にしても
- 1957 senne saure,
センネ サウレ,
(否定) 軽輩の
とんでもない侮辱、
- 1958 tokse honi
トクセ ホニ
脈打つ 腹
幼児体型のぼっこりしたお腹を
- 1959 e-shirikooterke.
エ・シリコオテレケ.
激しく踏みつける
はげしく踏みつけた。
- 1960 Hunaktaebak un sui
フナクタエバク ウン スイ
いいあんばいに ある 再び
さいわいにも
- 1961 sermak koro
セレマク コロ
背後 持つ
強い憑き神を持つ
- 1962 kashkamui koro kuni p
カシカムイ コロ クニ プ
守り本尊 持つ ところ もの
強い守り神がいる者
- 1963 kone p ne kusu,
コネ プ ネ クス,
(繫辞類) もの (繫辞類) (理由・目的)
であったから、
- 1964 hetopo shiknu
ヘトポ シクヌ
逆に 生きている
すぐ生き返った
- 1965 ruwe okai.
ルウェ オカイ.
跡 ある
のだ。
- 1966 Arekushkonna
アレクシコンナ
突然
突然
- 1967 rai wa ne chiki,
ライ ワ ネ チキ,
死ぬ (接続) (繫辞類) (条件)
死んでしまったなら、
- 1968 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまが
- 1969 hoshibi ita
ホシビ イタ
帰る ときに
帰ってきたときに、
- 1970 nekona tapne
ネコナ タプネ
どのように これである
どのように
- 1971 e-hawean nankora.
エ・ハウエアン ナンコラ.
汝・言う だろうか
そなたは言いわけするのか。
- 1972 A-wen unarbe katapne
ア・ウェン ウナラベ カタプネ
我・悪い おば さえ
ろくでなしのばあやさえも
- 1973 kosamberai
コサムベライ
心が死ぬほど
心が死んでしまうほど
- 1974 e-shitoma,
エ・シトマ,
汝・恐れる
そなたは恐ろしがり、
- 1975 wen katchak be
ウェン カトチャク ベ
悪い 臆病な もの
あまりにいくじなしの
- 1976 haukecashba p
ハウケカシバ プ
弱すぎる もの
あまりにも弱すぎる
- 1977 e-ne kusu tashi
エ・ネ クス タシ
汝・である (理由・目的) (強調)
そなたゆえ、
- 1978 kashichiobiuki ka
カシチオビウキ カ
救援に赴く も
われらを助けに
- 1979 i-e-y-ekarkar ka
イ・エ・イエカラカラ カ
我に・汝する も
来も
- 1980 somoki ko,
ソモキ コ,
しない (条件)
せずに、

コタンラびとに腹を踏まれた姫が物語る

- 1981 **ene ashitoma p**
 エネ アシトマ プ
 このように 怖ろしい もの
 あのように恐ろしい
- 1982 **annitne kamui**
 アンニトネ カムイ
 極悪である 神
 極悪の神を
- 1983 **nekon e-iki wa**
 ネコン エ・イキ ワ
 どのように 汝・する (接続)
 どのようにして
- 1984 **e-raike p ne hawe,**
 エ・ライケ プ ネ ハウエ,
 汝・殺す もの (繫辞類) 声
 そなたが殺したというのか、
- 1985 **nitne kamui**
 ニトネ カムイ
 悪い 神
 魔神を
- 1986 **raike kuru e-ne**
 ライケ クル エ・ネ
 殺す 人 汝・である
 殺した男が
- 1987 **somo shinki i**
 ソモ シンキ イ
 (否定) 疲れる こと
 疲労もなく
- 1988 **ne wakusu,**
 ネ ワクス,
 (繫辞類) (接続)
 できるものではないのに、
- 1989 **nepka ponnoka**
 ネプカ ポンノカ
 何か 少しも
 いっこうに
- 1990 **e-eshinki**
 エ・エシンキ
 汝・疲労する
 そなたは疲れも
- 1991 **ruwe ka isamno**
 ルウェ カ イサムノ
 跡 も 無く
 見せずに、
- 1992 **rai ibor oma**
 ライ イボロ オマ
 死ぬ 顔色 ある
 死人のように真っ青な顔色
- 1993 **e-ki p ne hawe,**
 エ・キ プ ネ ハウエ,
 汝・する もの (繫辞類) 声
 をしている様子、
- 1994 **nekona hene**
 ネコナ ヘネ
 どのように も
 わがまま勝手に失敬な
- 1995 **katkoro kuni p**
 カトコロ クニ プ
 振舞う ところ もの
 ふるまいを
- 1996 **iki kuni p**
 イキ クニ プ
 する ところ もの
 している
- 1997 **e-ne apkusu,**
 エ・ネ アプクス,
 汝・である としても
 そなたであったとしても、
- 1998 **I-resu yubi**
 イ・レス ユビ
 我・育てる 兄
 兄さまが
- 1999 **ek wa ne yakne,**
 エク ワ ネ ヤクネ,
 来る (接続) (繫辞類) (条件)
 帰ってきたならば、
- 2000 **ene ene e-i-ki i**
 エネ エネ エ・イ・キ イ
 このように このように 汝・我にする こと
 そなたがしたことや
- 2001 **e-hawean i**
 エ・ハウエアニ
 汝・言う こと
 言ったこと
- 2002 **obittano**
 オビトタノ
 皆
 すべてを
- 2003 **a-ebawetesu**
 ア・エバウエテス
 我・証言する
 わらわが証言する
- 2004 **kusu ne na.**
 クス ネ ナ.
 (理由・目的) (繫辞類) ぞ
 つもりぞ。
- 2005 **Eramu an.**
 エラム アン.
 不詳 ある
 覚えておけ。
- 2006 **Neitaka**
 ネイタカ
 どこにも
 どこにまあ!
- 2007 **tusushke tura**
 トウスシケ トウラ
 震える ともに
 ブルブル震えながら
- 2008 **nuinak kane an,**
 ヌイナク カネ アン,
 隠れる (同時) ある
 隠れていたくせに、

- 2009 **orowa ene ene**
オロワ エネ エネ
(始点) このように このように
かくかくしかじか
- 2010 **shiriki i**
シリキ イ
そのような有様である こと
このようにしたとか
- 2011 **humash i**
フマシ
気配がする こと
そのような気がするとか、
- 2012 **nuburbe*50 nesun**
ヌブルベ ネスン
巫力の強い者 こそ
きつと強い霊能者が
- 2013 **katkoro hawe**
カトコロ ハウエ
振舞う 声
なさったこと
- 2014 **okai ne**
オカイ ネ
ある (繫辞類)
にちがいないのに、
- 2015 **oribak poka**
オリバク ポカ
畏まる さえ
おそれはばかりも
- 2016 **somokino**
ソモキノ
しないうちに
せずに、
- 2017 **ene hawean i**
エネ ハウエアニ
このように 言う こと
申し述べるのが
- 2018 **tambe ne ya.**
タムベ ネ ヤ.
これ (繫辞類) (疑問)
これなのか。
- 2019 **Kimatek ka ta**
キマテク カ タ
慌てる 上 (場所)
急ぎながら
- 2020 **terke ka ta**
テレケ カ タ
跳ねる も (場所)
跳びながら
- 2021 **iki koroka**
イキ コロカ
する (逆接)
ではあるが、
- 2022 **rikunsui ka wa**
リクンスイ カ ワ
煙出しの穴 上 から
煙出し窓から
- 2023 **kemka imeru**
ケムカ イメル
血色 光
真っ赤なきらめく光が
- 2024 **chupchise ne**
チュプチセ ネ
月暈 (繫辞類)
月の輪(月暈)のように
- 2025 **chishikayere shiri**
チシカイエレ シリ
光が屈折する 様子
ピカピカ光っているのを
- 2026 **a-nukar yak a-ramu,**
ア・ヌカラ ヤク ア・ラム,
我・見る ということ 我・思う
わらわが見たと思ったとたん、
- 2027 **arwen kamui**
アラウエン カムイ
ひどい 神
極悪の神
- 2028 **boro rui kuni p**
ボロ ルイ クニ プ
大きい 激しい ところ もの
大でかぶつが
- 2029 **eattamkirune**
エアトタムキルネ
一太刀返しざまに
一刀のもとに
- 2030 **a-raike humi**
ア・ライケ フミ
我・殺す 気配
斬り殺されたことを
- 2031 **a-noeraman.**
ア・ノエラマン.
我・よくわかる
わらわはよく存じておる。
- 2032 **Tap eashiri**
タップ エアシリ
これ それこそ
今はじめて
- 2033 **pase kamui**
パセ カムイ
重い 神
位の高い重き神々
- 2034 **chinomi kamui**
チノミ カムイ
祭られる 神
われらがいつも祀る神々が
- 2035 **kanto orowano**
カント オロワノ
天 (始点)
天から

*50 原綴 nurbe

- 2036 **chikatunashka**
チカトゥナシカ
急いで助ける
救いにかかけつけて
- 2037 **chikeutusare i**
チケウトウサレ イ
蘇生すること
助けてくださったことが
- 2038 **a-eraman awa,**
ア・エラマン アワ、
我・知る (展開)
わかったのに、
- 2039 **koneptapteta***51
コネプタプテタ
何ということ
なんだってまあ
- 2040 **yayesunke**
ヤイエスンケ
自慢する
自分がしたと
- 2041 **kichi hawe**
キチ ハウエ
する 声
ほらをふいて
- 2042 **okai be ne ya.**
オカイ ベ ネ ヤ.
あるもの (繫辞類) (疑問)
いるものだから
- 2043 **ari pon a-kor sapo**
アリ ボン ア・コロ サポ
(引用) 小さい 我・もつ 姉
と姉さまは
- 2044 **chikinrakare**
チキンラカレ
気狂じみる
気がちがったみたいに怒り
- 2045 **chikamuikare.**
チカムイカレ.
狂怒する
魔神が憑いたように狂怒しました。
- 2046 **Aokai ne yakka**
アオカイ ネ ヤクカ
我 (繫辞類) (譲歩)
あたしも
- 2047 **chish turanno**
チシ トウランノ
泣く ともに
泣きながら
- 2048 **tu arka itak**
トゥ アラカ イタク
二つの 痛い 言葉
さんざん
- 2049 **re arka itak**
レ アラカ イタク
三つの 痛い 言葉
痛いことばを
- 2050 **Kotanraumbe**
コタンラウムベ
人名
コタンラの奴
- 2051 **a-kosuyekara.**
ア・コスイエカラ.
我・振りかける
に浴びせてやりました。
- 2052 **Kotanraumbe**
コタンラウムベ
人名
コタンラの奴は
- 2053 **sonno sunke kuni p**
ソンノ スンケ クニ プ
真に 嘘 はずの もの
ほんとに嘘をついた
- 2054 **kone p ne kusu**
コネ プ ネ クス
(繫辞類) もの (繫辞類) (理由・目的)
ものだから
- 2055 **itak humi poka**
イタク フミ ポカ
言う 気配 さえ
言い返すことも
- 2056 **ewen***52 **kane,**
エウエン カネ、
よくない (同時)
できない、
- 2057 **yaikimui ka**
ヤイクムイ カ
自分の髪 上
自分の頭を
- 2058 **kiki kiki,**
キキ キキ、
掻く 掻く
かきかき、
- 2059 **Oar oar aokai**
オアラ オアラ アオカイ
全く 全く 我
「まったく俺が
- 2060 **wen-an ruwe ne.**
ウエン・アン ルウエ ネ.
悪い・我 跡 (繫辞類)
悪かった。
- 2061 **A-wen unarbe**
ア・ウエン ウナラベ
我・悪い おば
悪おばが

*51 原綴 konep teta

*52 原綴 wen

- 2062 **nekona hene iki yakka**
ネコナ ヘネ イキ ヤクカ
どのように も する (譲歩)
どうしても
- 2063 **a-turesh utara**
ア・トゥレシ ウタラ
我・妹 たち
わが従姉妹たちに
- 2064 **a-annokar kuni**
ア・アンノカラ クニ
打ち負かされる ように
うちまかされるとは
- 2065 **somo a-ramu.**
ソモ ア・ラム.
(否定) 我・思う
思えなかった。
- 2066 **Tambe kusu**
タムベ クス
これ (理由・目的)
それゆえ
- 2067 **kashichiobash**
カシチオバシ
救援すること
助けに
- 2068 **somo a-ki i**
ソモ ア・キ イ
(否定) 我・する こと
来なかったことは
- 2069 **shino wen ruwe ne.**
シノ ウェン ルウェ ネ.
まことに 悪い 跡 (繫辞類)
まことに悪かった。
- 2070 **yayababu-an**
ヤヤバブ・アン
詫びを言う・我
後悔してはいる
- 2071 **ruwe ne koroka,**
ルウェ ネ コロカ,
跡 (繫辞類) (逆接)
のだが、
- 2072 **annitne kamui**
アンニトネ カムイ
極悪である 神
極悪の神を
- 2073 **a-raike i anakne**
ア・ライケ イ アナクネ
我・殺す こと は
殺したのは
- 2074 **sonno aokai ne**
ソンノ アオカイ ネ
真に 我 (繫辞類)
まことに俺な
- 2075 **ruwe taban. ari**
ルウェ タバン. アリ
跡 これである (引用)
のであるぞ」と
- 2076 **hawean koroka,**
ハウエアン コロカ,
言う (逆接)
言ったけれど、
- 2077 **tun a-ne wa**
トゥン ア・ネ ワ
二人 我・である (接続)
あたしたち二人は
- 2078 **Kotanraumbe**
コタンラウムベ
人名
コタンラの奴の
- 2079 **bapoki**
バポキ
(不詳)
(不詳)
- 2080 **a-riserise.**
ア・リセリセ.
我ら・むしりにむしる
何度もつねりあげました。
- 2081 **Kotanraumbe**
コタンラウムベ
人名
コタンラの奴は
- 2082 **matkosanu**
マトコサヌ
さっと立ち上がる
パッと立ち上がって
- 2083 **ene itak i.**
エネ イタキ.
このように 言う ことには
こう言いました。
- 2084 **Usaine tap sui.**
ウサイネ タブ スイ.
(呼びかけ) これ 再び
「うるさいわい。
- 2085 **a-wen tureshi**
ア・ウェン トウレシ
我・悪い 妹
わがくされ従姉妹
- 2086 **utarorkehe.**
ウタロロケヘ.
たち
たちめが。
- 2087 **Chikosomokur-**
チコソモクル・
(否定)
遠慮
- 2088 **yaikatano**
ヤイカタン
畏れはばかる
えしやくも
- 2089 **i-y-ekarkar hawe**
イ・イエカラカラ ハウェ
我・する 声
なしに

- 2090 ene okai i
エネ オカイ イ
このように ある こと
よくもこうしゃべくる
- 2091 tambe ne ya.
タムベ ネ ヤ.
これ (繫辞類) (疑問)
ものだわい。
- 2092 okkayo rak be
オクカヨ ラク ベ
男 末裔 もの
男のはしくれ
- 2093 utarpa rak be
ウタラパ ラク ベ
首領 末裔 もの
一族の長のはしくれ
- 2094 a-ne awa,
ア・ネ アワ,
我・である (展開)
である俺さまだが、
- 2095 ouse shine
オウセ シネ
ただ (だけ) 一つの
たった一人の
- 2096 nitne kamui
ニトネ カムイ
悪い 神
魔神を
- 2097 a-raike eaikap be
ア・ライケ エアイカプ ベ
我・殺す できない もの
殺せなかった
- 2098 ne wakusu,
ネ ワクス,
(繫辞類) (接続)
からとて、
- 2099 ormashkino
オロマシキノ
ますます
あまりにも
- 2100 chibambeoshke*⁵³
チバムベオシケ
(不詳)
わが靈力を
- 2101 i-y-ekarkar wa
イ・イエカラカラ ワ
我・する (接続)
ないがしろにして
- 2102 ene hawash i
エネ ハワシ
このように 言われる こと
このように言う
- 2103 tambe ne ya.
タムベ ネ ヤ.
これ (繫辞類) (疑問)
のか。
- 2104 Nekona hene
ネコナ ヘネ
どのように も
どのように
- 2105 haweokai be
ハウエオカイ ベ
言う もの
そなたたちが言った
- 2106 echi-ne apkusu
エチ・ネ アプクス
汝ら・である としても
としても
- 2107 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
イレスユビの兄者が
- 2108 hoshibi ita
ホシビ イタ
帰る ときに
帰郷したとき
- 2109 echi-ebawetesu-an
エチ・エバウェテス・アン
汝ら・証言する
俺さまが言いつけて
- 2110 kusu ne na.
クス ネ ナ.
(理由・目的) (繫辞類) ぞ
やるからな」
- 2111 ari itak kane
アリ イタク カネ
(引用) 言う (同時)
と言って
- 2112 chisoyekatta.
チソイエカトタ.
飛び出す
外へ飛び出ていきました。
- 2113 Okake ta
オカケ タ
あと (場所)
そのあとで
- 2114 eashka
エアシカ
ほんとうに
それこそ
- 2115 Matakipo sambe. ari
マタキポ サムベ. アリ
妹 心臓 (引用)
「妹、わが命よ」

*⁵³ ci-pan-pe-oske/ekarkar <~こと (名詞句形成接頭辞)・薄い・もの・を編む/~をする>? 例文に atanan ainu/kamui turanno/chibambeoshke/chinuburkasure/neyakka/orsasureko/i-y-ekarkar hawe/okai be ne ya! 《萱野訳》「普通の人や/神々共に/呪術を薄められ (分解訳:bambe-oshke <薄め・編む>)/靈力も私どもより遙かに上/で/緩からぬことを/私たちに与えたとは/驚いたものだ。」(教 26-141) がある。

- 2116 **Sapo. ari**
サポ、アリ
姉 (引用)
「あねさま」と
- 2117 **utashpa**
ウタシパ
互いに
あたしたちはかわるがわる
- 2118 **ueshikari-an**
ウエシカリ・アン
向き合う・我
抱きあい
- 2119 **uruiruye-an kane**
ウルイルイェ・アン カネ
撫でさすり合う・我 (同時)
肩から腕をなであい
- 2120 **uchishkar-an**
ウチシカラ・アン
泣き合う・我
手を取り合って泣いて喜び
- 2121 **ukeuhumsu-an.**
ウケウフムス・アン.
無事をねぎらいあう・我ら
無事を喜びあいました。
- 2122 **Tap orowa**
タブ オロワ
これ (始点)
それから
- 2123 **tun a-ne wa**
トゥン ア・ネ ワ
二人 我・である (接続)
あたしたち二人は
- 2124 **inumbe oshmak**
イヌムベ オシマク
炉縁 陰
炉ぶちのうしろを
- 2125 **a-otetterke kane**
ア・オテテレケ カネ
我・跳ねる (同時)
さんざん踏みつけて
- 2126 **Kotanraumbe**
コタンラウムベ
人名
コタンラの奴の
- 2127 **ohaike a-kar kane**
オハイケ ア・カラ カネ
誹謗する 我・する (同時)
悪口を言いながら
- 2128 **a-uminare.**
ア・ウミナレ.
我ら・笑わせ合う
笑いあいました。
- 2129 **Oar oar**
オアラ オアラ
全く 全く
まったくもって
- 2130 **Kotanraumbe**
コタンラウムベ
人名
コタンラの奴が
- 2131 **wen sunke**
ウェン スンケ
悪い 嘘
ひどい嘘
- 2132 **ki kuni i**
キ クニ イ
する ところ こと
をついたことを
- 2133 **utashba**
ウタシパ
互いに
かわるがわる
- 2134 **a-esapse kane.**
ア・エサプセ カネ.
我・嘲笑う (同時)
あざわらいました。
- 2135 **Sonno sonno**
ソンノ ソンノ
真に 真に
ほんとにほんとに
- 2136 **yaikeukor-an kane.**
ヤイケウコロ・アン カネ.
苦勞する・我 (同時)
大難儀で疲れました。
- 2137 **Keshto an ko**
ケシト アン コ
毎日 ある (条件)
毎日毎日
- 2138 **uarsotta**
ウアラソトタ
炬をはさんで向かい合って
向かいあった席で
- 2139 **a-wen unarbe newa**
ア・ウェン ウナラベ ネワ
我・悪い おば と
ろくでなしのばあやと
- 2140 **Kotanraumbe orushbe**
コタンラウムベ オルシベ
人名 話
コタンラの奴のことを
- 2141 **a-ye kane,**
ア・イェ カネ,
我・言う (同時)
あたしたちは話しながら、
- 2142 **a-karkar kuni p**
ア・カラカラ クニ プ
我・作る ところ もの
自分たちの針仕事を
- 2143 **utashpa**
ウタシパ
互いに
かわるがわる

コタンラびとに腹を踏まれた姫が物語る

- 2144 a-reka kane,
ア・レカ カネ,
我・ほめる (同時)
ほめあい、
- 2145 uweneusar-an koro
ウウェネウサラ・アン コロ
お話しをする・我ら (同時)
楽しくおしゃべりしながら
- 2146 okai-an awa,
オカイ・アン アワ,
いる・我ら (展開)
暮らしていたところ、
- 1.8 兄の帰還
- 2147 shineanto ta
シネアント タ
ある日 (場所)
ある日のこと
- 2148 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
イレスユビの兄さまの
- 2149 chibehenkusa*⁵⁴ hau
チベヘンクサ ハウ
(不詳) 声
船荷を降ろす声
- 2150 kari kane.
カリ カネ.
回る (同時)
遠くから聞こえてきました。
- 2151 Hontomota
ホントモタ
途中に
たちまち
- 2152 chise sam ka ta
チセ サム カ タ
家 そば 上 (場所)
館のそばに
- 2153 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまの
- 2154 apkash humi
アプカシ フミ
歩く 音
足音と
- 2155 tumba maikan
トゥムバ マイカン
鏗 音
鏗鳴りの音が
- 2156 tununitara,
トゥヌニタラ,
美しい音が響く
響き渡り、
- 2157 mosem tuyor
モセム トウヨロ
玄関納屋 中
兄さまが玄関納屋の中
- 2158 oshikiru.
オシキル.
回る
にまわってきました。
- 2159 Isenramkusu
イセンラムクス
いつものように
いつものことながら
- 2160 tonokosam be
トノコサム ベ
和国へ下る もの
和人との交易に行つて来て
- 2161 mashkin teta
マシキン テタ
ますます ここで
ますます
- 2162 kamui shiri ne.
カムイ シリ ネ.
神 様子 (繫辞類)
神の如き姿になっています。
- 2163 Boshtoko ubush
ボシトコ ウブシ
小行器 群
小行器の一揃い
- 2164 amba kane
アムバ カネ
持つ (同時)
を手に持って、
- 2165 mintar ka ta
ミンタラ カ タ
土間 上 (場所)
内土間に
- 2166 imeru tura
イメル トウラ
光 ともに
光をはなち
- 2167 urar tura
ウララ トウラ
霧 ともに
もやにつつまれ
- 2168 rutkosanu.
ルトコサヌ.
サッと入る
ずいとい入ってました。
- 2169 I-resu yubi ohai.
イ・レス ユビ オハイ.
我・育てる 兄 (感嘆)
「兄さまよ!」

p. 36

*⁵⁴ cip-e-hen-kusa <舟・で・顔?・渡す>? 似た語彙の用例に chibekusa wa yan 「船に積んで(脚注: chip-e-kusa <舟・にて・渡す>舶来する)帰って来」(金 I434)がある。

- 2170 **a-raikotenke.**
ア・ライコテンケ。
我・泣き叫ぶ
あたしは大声で叫びました。
- 2171 **Tun a-ne wa**
トゥン ア・ネ ワ
二人 我・である (接続)
あたしたち二人は
- 2172 **matkosamba,**
マトコサムバ,
さっと立ち上がる
パッと立ち上がり、
- 2173 **rorunso ka ta**
ロルンソ カ タ
上座 上 (場所)
上座にいる
- 2174 **I-resu yubi**
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さま
- 2175 **a-eobushna-**
ア・エオブシナ・
(不詳)
の両側から
- 2176 **ratkiratki kane.**
ラトキラトキ カネ。
垂れ下がる (同時)
ぶらさがりました。
- 2177 **Ikichi-an chiki,**
イキチ・アン チキ,
する・我 (条件)
そうしたら
- 2178 **I-resu yubi**
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまは
- 2179 **shum kina ne**
シュム キナ ネ
枯れる 草 (繫辞類)
しおれた草のようにクタッと
- 2180 **horaochiwe,**
ホラオチウエ,
落ちて来る
座り込み、
- 2181 **Tureshpo sambe.**
トゥレシポ サムベ。
妹 心臓
「大事な妹たちよ!」
- 2182 **ari itak kane**
アリ イタク カネ
(引用) 言う (同時)
と言って
- 2183 **tun a-ne wa**
トゥン ア・ネ ワ
二人 我・である (接続)
あたしたちの頭をさすり
- 2184 **i-shikoruiruiba kane.**
イ・シコルイルイバ カネ。
我・撫でる (同時)
両肩から腕をさすってくれました。
- 2185 **Tun a-ne wa**
トゥン ア・ネ ワ
二人 我・である (接続)
あたしたちは
- 2186 **chish turanno**
チシ トゥランノ
泣く ともに
泣きながら
- 2187 **shine itak**
シネ イタク
一つの 言葉
異口
- 2188 **a-eubaemko-**
ア・エウバエムコ・
我ら・半分ずつ
同音
- 2189 **uina kane,**
ウイナ カネ,
手に取る (同時)
に、
- 2190 **tapne tapne kane,**
タプネ タプネ カネ,
これである これである (同時)
かくかくしかじかと
- 2191 **A-koro unarbe**
ア・コロ ウナラベ
我・もつ おば
あのばあやが
- 2192 **katkoro shiri**
カトコロ シリ
振舞う 様子
したり
- 2193 **katkoro haweokai i**
カトコロ ハウェオカイ イ
振舞う 言う こと
言ったりしたことを
- 2194 **arobbittano**
アロビトタノ
すべて
すっかり
- 2195 **shine itak poka**
シネ イタク ポカ
一つの 言葉 さえ
一言も
- 2196 **a-hopba ka**
ア・ホプバ カ
我・残す も
言いのこすこと
- 2197 **somokino,**
ソモキノ,
しないうちに
なく

- 2198 a-ye oman*⁵⁵ ikiri,
ア・イエ オマン イキリ,
我・言う 行く 列
あたしが言った経緯、
- 2199 Kotanraumbe
コタンラウムベ
人名
コタンラの奴が
- 2200 katkoro shiri hene
カトコロ シリ ヘネ
振舞う 様子 も
したことや
- 2201 Nisoshitchiwe wa
ニソシチウエ ワ
(地名) から
ニソシッチウエから
- 2202 tapne tapne
タップネ タップネ
これである これである
これこれこんな格好
- 2203 am be ek wa
アム ベ エク ワ
ある もの 来る (接続)
の奴が来て、
- 2204 tapne kane
タップネ カネ
これである (同時)
かくかくしかじかと
- 2205 hawean orowa
ハウエアン オロワ
言う (始点)
言ったから
- 2206 nei am be
ネイ アム ベ
その ある もの
そのために
- 2207 otumioshma,
オトゥミオシマ,
戦いが生じる
戦いになり、
- 2208 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
とうとう
- 2209 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまが
- 2210 sembirke ta
セムビリケ タ
陰 (場所)
留守の間に
- 2211 annitne kamui
アンニトネ カムイ
極悪である 神
極悪の神に
- 2212 naanika
ナアニカ
まさに
もう少しで
- 2213 setatekbashte
セタテクバシテ
女を強奪する
さらわれる
- 2214 a-i-y-ekarkar
ア・イ・イエカラカラ
我・される
ところであつ
- 2215 a koroka*⁵⁶
ア コロカ
完了 (逆接)
たが、
- 2216 kamui tusare-an
カムイ トゥサレ・アン
神 助けられた
神に助けられた
- 2217 ruwe ne i
ルウェ ネ イ
跡 (繫辞類) こと
のであつたことやなど
- 2218 usa huihuike
ウサ フイフイケ
(譲歩) 隅々
どこからどこまで
- 2219 a-koomommomo kane
ア・コオモムモモ カネ
我・詳述する (同時)
くわしく
- 2220 a-ye wa okerpa.
ア・イエ ワ オケレパ.
我・言う (接続) 終える
語り終えました。
- 2221 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さま
- 2222 inu rok be
イヌ ロク ベ
聞く (完了) もの
ただ聞いただけでも
- 2223 tanto torino
タント トリノ
今日 一日中
今日一日じゅう

*⁵⁵ 原綴 omam

*⁵⁶ 原綴はこの後にも a koroka が重出。

- 2224 **chimoshirko-**
チモシリコ・
国土じゅう
グラグラと地面が
- 2225 **suiba kane**
スイバ カネ
揺する (同時)
揺れているほど
- 2226 **okai rok ine.**
オカイ ロク イネ.
ある (完了) (接続) どこ
驚いていらっしやいました。
- 2227 **Sonno hetapne.**
ソンノ ヘタブネ.
真に これ
「ほんとうにまあ!
- 2228 **i-keshke p batek**
イ・ケシケ プ バテク
我・嫉む もの のみ
われらをねたむ者ばかり
- 2229 **i-nonchip batek**
イ・ノンチプ バテク
我・魂を愚弄する のみ
ちよっかい出す者ばかりが
- 2230 **okai hene ki apkusu,**
オカイ ヘネ キ アプクス,
ある も する としても
たくさんいたとしても、
- 2231 **irukai isam-an ko**
イルカイ イサム・アン コ
しばらくの間 死ぬ・我 (条件)
ちよつとわれがいないと、
- 2232 **rabokita**
ラボキタ
そうしている間
そのあいだに
- 2233 **a-wen unarbe**
ア・ウェン ウナラベ
我・悪い おば
われらがばあや
- 2234 **an-otui ike hene**
アノトゥイ イケ ヘネ
尻が切れる こと も
あの尻切れの下等品が
- 2235 **katkoro hawe**
カトコロ ハウエ
振舞う 声
そのように振る舞った
- 2236 **ene okai i**
エネ オカイ イ
このように ある こと
というので
- 2237 **tambe ne ya.**
タムベ ネ ヤ.
これ (繫辞類) (疑問)
あるか。
- 2238 **Kotanraumbe**
コタンラウムベ
人名
コタンラの奴
- 2239 **a-wen aki**
ア・ウェン アキ
我・悪い 弟
われらが悪従弟
- 2240 **an-otui ike**
アノトゥイ イケ
尻が切れる こと
あの尻切れの下級品めが、
- 2241 **rametok hetapne**
ラメトク ヘタブネ
勇者 これ
勇士で
- 2242 **utarpa hetapne**
ウタラパ ヘタブネ
首領 これ
一族の長で
- 2243 **okai kuni**
オカイ クニ
ある ように
あると
- 2244 **a-ramu rokwa,**
ア・ラム ロクワ,
我・思う (完了) + (接続)
思っていたのに、
- 2245 **oroyachiki**
オロヤチキ
驚いたことに
あにはからんや、
- 2246 **oar katchak be**
オアラ カトチャク ベ
全く 臆病な もの
まったくのいくじなし
- 2247 **oar haukecashpa p**
オアラ ハウケカシパ プ
全く 弱すぎる もの
まったくの弱虫
- 2248 **ne rok okai wa**
ネ ロク オカイ ワ
(繫辞類) (完了) ある (接続)
であったと
- 2249 **ene hawash i**
エネ ハワシ
このように 言われる こと
こういうこと
- 2250 **tambe ne ya.**
タムベ ネ ヤ.
これ (繫辞類) (疑問)
であったか。
- 2251 **Nekona iki p**
ネコナ イキ プ
どのように する もの
奴がどんなことをした

- 2252 **e-ne apkusu**
 エ・ネ アプクス
 汝・である としても
 としても
- 2253 **okake ta**
 オカケ タ
 あと (場所)
 そのあとで
- 2254 **iyunin sakno**
 イユニン サクノ
 苦痛 無くて
 苦痛なしに
- 2255 **en^{*57} kuni**
 エン クニ
 (不詳) ように
 (不詳)
- 2256 **e-ramu kusu.**
 エ・ラム クス.
 汝・思う (理由・目的)
 思えよ」
- 2257 **ari itak kane**
 アリ イタク カネ
 (引用) 言う (同時)
 と言って
- 2258 **ishish hau konna**
 イシシ ハウ コンナ
 怒号する 声 は
 いきどおる声
- 2259 **yaknatara.**
 ヤクナタラ.
 響く
 割れるがごとし。
- 2260 **Makan okai i**
 マカン オカイ イ
 どのような ある とき
 あるところでは
- 2261 **emina kane,**
 エミナ カネ,
 それを笑う (同時)
 笑いつつ、
- 2262 **makan okai ita**
 マカン オカイ イタ
 どのような ある ときに
 またあるときは
- 2263 **inumbe oshmak**
 イヌムベ オシマク
 炉縁 陰
 炉ぶちの後ろを
- 2264 **otetterke,**
 オテテレケ,
 ギュウギュウ踏みつける
 ギュウギュウ踏みつけ、
- 2265 **chakke haukan-**
 チャクケ ハウカン・
 舌打ちする 声の末尾
 ちくしょうめと
- 2266 **kari kane.**
 カリ カネ.
 回る (同時)
 甲高くののしりました。
- 2267 **Pirka pirika.**
 ピリカ ピリカ.
 よい よい
 「よろし、よろし。
- 2268 **A-wen unarbe**
 ア・ウェン ウナラベ
 我・悪い おぼ
 ろくでなしのばあやが
- 2269 **neino an wem buri**
 ネイノ アン ウェム ブリ
 ように ある 悪い 行い
 そのような悪い癖を
- 2270 **annisapno kosan wa**
 アンニサプノ コサン ワ
 突然 出す (接続)
 とつぜん出して
- 2271 **neino iki a yakka**
 ネイノ イキ ア ヤクカ
 ように する 完了 (譲歩)
 そんなことをしたとしても
- 2272 **ene a-kar i ka isam.**
 エネ ア・カラ イ カ イサム.
 このように 我・する こと も 無い
 しかたがない。
- 2273 **A-koro unarbe**
 ア・コロ ウナラベ
 我・もつ おぼ
 われらのばあやが
- 2274 **an kushkeraipo**
 アン クシケライポ
 ある おかげで
 いたおかげで
- 2275 **uwesamanno**
 ウウェサマンノ
 いっしょに
 みなそろって
- 2276 **pirika shukup**
 ピリカ シュクブ
 よい 成長する
 りっぱに成長
- 2277 **a-ki ruwe ne kusu,**
 ア・キ ルウェ ネ クス,
 我・する 跡 (繫辞類) (理由・目的)
 できたのだから、
- 2278 **tambe anakne**
 タムベ アナクネ
 これ は
 このことは

*57 en 不詳。

- 2279 kamui tomo-
カムイ トモ・
神 真ん中
神におまかせ
- 2280 a-ekokanu
ア・エコカヌ
我・委ねる
することに
- 2281 kusu ne na.
クス ネ ナ.
(理由・目的) (繋辞類) ぞ
しようぞ。
- 2282 Eebaki ta
エエバキ タ
次 (場所)
次に
- 2283 a-nomi kamui
ア・ノミ カムイ
我・祀る 神
われが祀る神々が
- 2284 inne rok awa,
インネ ロク アワ,
大勢である 1 (完了) (展開)
たくさんいたのに、
- 2285 konep kamui
コネプ カムイ
何 神
何神かが
- 2286 tapne iyairaikere
タプネ イヤイライケレ
これである ありがとう
このように感謝して
- 2287 a-tureshipo
ア・トゥレシポ
我・妹
わが妹
- 2288 utarorke
ウタロロケ
たち
たちの
- 2289 kewetusare
ケウェトウサレ
体を生かす
からだを治し、
- 2290 kashichiobiuki
カシチオビウキ
救援に赴く
助けに
- 2291 ekarkar wa
エカラカラ ワ
する (接続)
かけつけて
- 2292 i-kore hawe
イ・コレ ハウェ
我・与える 声
くださったので
- 2293 okai be ne ya.
オカイ ベ ネ ヤ.
ある もの (繋辞類) (疑問)
あったのか」
- 2294 ari itak kane,
アリ イタク カネ,
(引用) 言う (同時)
と言って、
- 2295 A-uitek rametok utar
ア・ウイテク ラメトク ウタラ
我・召し使う 勇者 たち
従僕たちを
- 2296 bawetenke hine,
バウエテンケ ヒネ,
声をあげて命じる (接続)
よばわり、
- 2297 usa tonoto
ウサ トノト
(譲歩) 酒
酒や
- 2298 usa amam hene
ウサ アマム ヘネ
(譲歩) 穀物 も
米だの
- 2299 usa pirika p
ウサ ピリカ プ
(譲歩) よい もの
いろいろ上等な
- 2300 kerambe hene
ケラムベ ヘネ
おいしいもの も
和菓子だの
- 2301 machikor be hene
マチコロ ベ ヘネ
女の宝物 もの も
耳飾り首飾りやら
- 2302 sarambe hene
サラムベ ヘネ
絹 も
絹物やら
- 2303 boronno
ボロンノ
たくさん
たくさん
- 2304 an-ewak ushike
アネワク ウシケ
我・住む ところ
わが館
- 2305 upsororke
ウプソロロケ
懐の中
の中に
- 2306 a-erura wa
ア・エルラ ワ
運ばれる (接続)
運んで

- 2307 **boro ikiri a-kar.**
 ボロ イキリ ア・カラ.
 大きい 列 される
 山のように積み上げました。
- 2308 **Ineapkusū**
 イネアアクス
 何と
 なんとまあ
- 2309 **an-enubetne wa**
 アネヌベトネ ワ
 我・喜ぶ (接続)
 あたしたちは喜んだ
- 2310 **humash nankora.**
 フマシ ナンコラ.
 気配がする だろうか
 ことでしょうか。
- 2311 **Pon a-koro sapo tura**
 ポン ア・コロ サポ トウラ
 小さい 我・もつ 姉 ともに
 姉さまと
- 2312 **tun a-ne wa**
 トウン ア・ネ ワ
 二人 我・である (接続)
 二人で
- 2313 **tu mina itak**
 トウ ミナ イタク
 二つの 笑う 言葉
 数々のおかしい言葉
- 2314 **re mina itak**
 レ ミナ イタク
 三つの 笑う 言葉
 いくつもの冗談を
- 2315 **a-utasare kane**
 ア・ウタサレ カネ
 我ら・交換する (同時)
 交わしあって
- 2316 **uwenubetne-an chiki,**
 ウウェヌベトネ・アン チキ,
 喜ぶ・我 (条件)
 喜びあっていると、
- 2317 **I-resu yubi**
 イ・レス ユビ
 我・育てる 兄
 兄さまは
- 2318 **eukobi eukobi*⁵⁸**
 エウコビ エウコビ
 別れる 別れる
 あたしたちの両方へ
- 2319 **okkeu kurkan**
 オクケウ クルカン
 襟首 上
 首が
- 2320 **isam kane**
 イサム カネ
 無い (同時)
 なくなるほど深く
- 2321 **i-henkotba kane**
 イ・ヘンコトバ カネ
 我・愛撫する (同時)
 何度も何度もうなずきながら
- 2322 **ene itak i.**
 エネ イタク.
 このように 言う ことには
 こう言いました。
- 2323 **Tanto anakne**
 タント アナクネ
 今日 は
 「今日は
- 2324 **ponno shinki-an kusu**
 ポンノ シンキ・アン クス
 少し 疲れる・我 (理由・目的)
 すこし疲れたから
- 2325 **tanto pirikano**
 タント ピリカノ
 今日 良く
 今晚よく
- 2326 **shini-an orowa**
 シニ・アン オロワ
 休む・一人 (始点)
 休んでから
- 2327 **nisatta**
 ニサトタ
 明日
 あした
- 2328 **arokunnewano**
 アロクンネワノ
 真つ暗なうちから
 朝早くから
- 2329 **ekimne-an wa**
 エキムネ・アン ワ
 山に行く・我 (接続)
 山に入って
- 2330 **ashiri chikoikip**
 アシリ チコイキブ
 新しい 獲物
 新しく生きのいい獲物を
- 2331 **a-tomot wa**
 ア・トモト ワ
 我・獲る (接続)
 捕った
- 2332 **newa ne yakne,**
 ネワ ネ ヤクネ,
 と (繫辞類) (条件)
 ならば、

*⁵⁸ **eukobi** は e-u-ko-hopi <それについて・互い・に・置いて行く、のこして去る>「あっちにもこっちにも、両方へ」の-h- が落ちた形か? 文例に **Pon a-kor yubi/turanno/eukobi eukobi/i-henkotba-an/iyomap-an kane/shisak uwepirika/a-ki rok ine** 《萱野訳》「夫/と二人で一緒になり/別々に目と目を合わせ/顔き合い/孫を可愛がっている。」(教 25-141) がある。

- 2333 ashiri keraan
アシリ ケラアン
新しい 味がある
新鮮なうまき
- 2334 pirika chikoikip
ピリカ チコイキプ
よい 獲物
よき獲物を
- 2335 a-e kane
ア・エ カネ
我・食べる (同時)
食べて
- 2336 kamuinomi-an
カムイノミ・アン
神に祈る・我
神祀り
- 2337 kusu ne.
クス ネ.
(理由・目的) (繫辞類)
をしよう」
- 2338 ari itak kane,
アリ イタク カネ,
(引用) 言う (同時)
と言って、
- 2339 Tonokosan wa
トノコサン ワ
和国へ下る (接続)
和の国へ行って
- 2340 ene ene
エネ エネ
このように このように
かくかくこのように
- 2341 kamui tono buri
カムイ トノ ブリ
神 殿 行い
和人の殿様の仕草が
- 2342 pirika i
ピリカ イ
よい こと
立派であったとか、
- 2343 ene ene
エネ エネ
このように このように
しかじかこのように
- 2344 a-ekatarotke i hene
ア・エカタロトケ イ ヘネ
我・親しくする こと も
親密につきあったことなど
- 2345 obittano
オビトタノ
皆
すべて
- 2346 eisoitak.
エイソイタク.
事実を物語る
語ってきかせました。
- 2347 Tono orushbe
トノ オルシベ
殿 話
和人のはなしを
- 2348 a-nu chiki,
ア・ヌ チキ,
我・聞く (条件)
聞いて、
- 2349 ineapkusu
イネアプクス
何と
なんとまあ
- 2350 an-erayap
アネラヤフ
我・感心する
あたしは感心し
- 2351 an-ekiroroan wa
アネキロロアン ワ
我・面白い (接続)
おもしろいなあとと思った
- 2352 humash nankora.
フマシ ナンコラ.
気配がする だろうか
ことでしょうか。
- 2353 Uweneusar-an kane
ウウェネウサラ・アン カネ
お話しをする・我ら (同時)
楽しく歓談して
- 2354 mokor-an.
モコロ・アン.
眠る・我ら
寝ました。

第2章

遭難

2.1 熊神来訪

- 2355 Or ishimne
オロ イシムネ
所 翌朝
その翌日
- 2356 kunne nisat
クンネ ニサト
暗い 朝
闇の暁と
- 2357 beken nisat
ベケン ニサト
明るい 朝
しののめの朝が
- 2358 okutekari
オクテカリ
なる
入れ替わって
- 2359 rabokita
ラボキタ
そうしている間
夜が明けはなたれる直前
- 2360 hobumba-an,
ホブムバ・アン,
起きる・我ら
あたしたちは飛び起き、
- 2361 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまは
- 2362 tu okkaipo
トゥ オクカイポ
二つの 男の子
ふたりの青年を
- 2363 shiturare
シトゥラレ
伸ばす
お供につれて
- 2364 kimoterke.
キモテレケ.
山へ駆けていく
山へ跳んで行きました。
- 2365 Okake ta
オカケ タ
あと (場所)
そのあと
- 2366 tun a-ne wa
トゥン ア・ネ ワ
二人 我・である (接続)
あたしたち二人は
- 2367 tam boro chise
タム ボロ チセ
この 大きい 家
この大館の
- 2368 onnaike wano
オンナイケ ワノ
内部 から
内側から
- 2369 soinake hene
ソイナケ ヘネ
家の外 も
外側まで
- 2370 ebittano
エビトタノ
一面中
すべて
- 2371 pirikano
ピリカノ
良く
きれいに
- 2372 a-chashnure.
ア・チャシヌレ.
我・掃除する
掃除しました。
- 2373 Pirika wakka
ピリカ ワクカ
よい 水
よい水
- 2374 ashiri wakka hemem
アシリ ワクカ ヘメム
新しい 水 も
新しい水も
- 2375 a-ta kane,
ア・タ カネ,
我・汲む (同時)
汲んできて、

- 2376 tane tokesh an kane.
タネ トケシ アン カネ.
今 日暮れ ある (同時)
はや日暮れになりました。
- 2377 Shine okkaipo
シネ オクカイポ
一つの 男の子
お供の青年の一人が
- 2378 rorun burai ot ta
ロルン ブライ オト タ
上座の 窓 所 (場所)
上座のまどの所に
- 2379 ek wa ene itak i.
エク ワ エネ イタキ.
来る (接続) このように 言う ことには
来てこう言いました。
- 2380 A-hekote kamui
ア・ヘコテ カムイ
我・連れ添う 神
「わがお仕えする殿が
- 2381 i-uitek hawe
イ・ウイテク ハウエ
我・召し使う 声
わたくしめに遣わした口上は
- 2382 ene okai i.
エネ オカイ イ.
このように ある ことには
こうであります。
- 2383 Yuk chikoikp
ユク チコイキプ
鹿 獲物
『鹿も
- 2384 newa ne yakka
ネワ ネ ヤクカ
であって (繫辞類) (譲歩)
も
- 2385 a-eyaikobuntek be
ア・エヤイコブンテク ベ
我ら・喜ぶ もの
われらが最上の獲物、
- 2386 nuburi koro kamui
ヌブリ コロ カムイ
山 持つ 神
熊神をも
- 2387 shumawe a-kor kusu,
シュマウエ ア・コロ クス,
獲物 我・もつ (理由・目的)
とることができたから、
- 2388 hoshki ruino
ホシキ ルイノ
先に 甚だしく
まず第一番に
- 2389 kamui huchi
カムイ フチ
神 祖母
火のばば神さまに
- 2390 a-i-nure,
ア・イ・ヌレ,
我ら・聞かす
ご報告し、そのあとで
- 2391 a-turesh utari
ア・トゥレシ ウタリ
我・妹 たち
わが妹たち
- 2392 ne yakka
ネ ヤクカ
(繫辞類) (譲歩)
にも
- 2393 a-i-nure na.
ア・イ・ヌレ ナ.
我ら・聞かす ぞ
聞かせよ。
- 2394 Nubetne yan.
ヌベトネ ヤン.
喜ぶ (命令)
喜べ』とな
- 2395 ari hawash chiki,
アリ ハワシ チキ,
(引用) 言われる (条件)
と言ったから、
- 2396 shino nubetne p
シノ ヌベトネ プ
まことに 喜ぶ もの
ほんとに嬉しかった
- 2397 a-ne p ne kusu
ア・ネ プ ネ クス
我・である もの (繫辞類) (理由・目的)
あたしたちは、
- 2398 utomohosarpa-an
ウトモホサラパ・アン
顔見合わせる・我
顔を見あわせて
- 2399 uwenubetne-an.
ウウェヌベトネ・アン.
喜ぶ・我
喜びあいました。
- 2400 Sonko koro be
ソンコ コロ ベ
伝言 持つ もの
伝令は
- 2401 a-utari
ア・ウタリ
我・人々
われらが一族の者たちに
- 2402 bawetenke,
バウエテンケ,
声をあげて命じる
命じて、
- 2403 kam se utara
カム セ ウタラ
肉 背負う 仲間
肉を背負う組

p. 40

- 2404 kirbu se kuni utara
キリブ セ クニ ウタラ
脂身 背負う ところ 仲間
脂身を背負う組とともに
- 2405 kimoterkeba.
キモテレケバ.
山へ駆けていく
山に跳んで引き返しました。
- 2406 Okake ta
オカケ タ
あと (場所)
その後で
- 2407 Pon a-koro sapo
ポン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
姉さまは
- 2408 ene itak i.
エネ イタキ.
このように 言う ことには
こう言いました。
- 2409 Koninkar kusu.
コンインカラ クス.
さて (理由・目的)
「これこれ。
- 2410 A-matakipo
ア・マタキポ
我・妹
わらわが妹
- 2411 kamui ne am be.
カムイ ネ アム ベ.
神 (繫辞類) ある もの
神のごとき人よ。
- 2412 Itak-an chiki
イタク・アン チキ
言う・我 (条件)
わらわが話すことを
- 2413 pirikano nu yan.
ピリカノ ヌ ヤン.
良く 聞く (命令)
しっかり聞きなさい。
- 2414 Ushshiu utara
ウシシウ ウタラ
召使い たち
召使いたちが
- 2415 ta chikuni
タ チクニ
拾って来る たきぎ
集めたたきぎには
- 2416 pirika ike
ピリカ イケ
よい こと
よいものも
- 2417 boronno
ボロンノ
たくさん
たくさん
- 2418 okai be ne koroka,
オカイ ベ ネ コロカ,
ある もの (繫辞類) (逆接)
あるが、
- 2419 pokashno okai be ka
ポカシノ オカイ ベ カ
劣って ある もの も
質のよくないのでも
- 2420 a-eyaikobuntek be
ア・エヤイコブンテク ベ
我ら・喜ぶ もの
わらわがほめて
- 2421 a-enubetne p newa,
ア・エヌベトネ プ ネワ,
我・喜ぶ もの であって
喜んだのもあるから、
- 2422 nuburi koro kuru
ヌブリ コロ クル
山 持つ 人
山にお住まいの
- 2423 kamui ekashi
カムイ エカシ
神 老人
熊神さまが
- 2424 an-ewak ushike
アネワク ウシケ
我・住む ところ
われらが館の
- 2425 upsoroho
ウプソロホ
内部
そのふところまで
- 2426 chiosanke kusu hawash.
チオサンケ クス ハワシ.
出る (理由・目的) 言われる
お出ましになるという。
- 2427 Shino nubetne-an kusu
シノ ヌベトネ・アン クス
まことに 喜ぶ・我 (理由・目的)
まこと嬉しいから、
- 2428 tun a-ne wa
トゥン ア・ネ ワ
二人 我・である (接続)
われら二人で
- 2429 taan ta
タアン タ
この (場所)
すぐその
- 2430 kotan oshmak ta
コタン オシマク タ
村 陰 (場所)
村奥
- 2431 ehankeno
エハンケノ
ほど近く
近くまで

- 2432 baye-an wa,
バイエ・アン ワ,
我・行く (接続)
行って、
- 2433 pirika chikuni
ピリカ チクニ
よい たきぎ
よいたきぎ
- 2434 ashit chikuni
アシト チクニ
新しい たきぎ
新しいたきぎを
- 2435 a-ta wa ari
ア・タ ワ アリ
我・拾って来る (接続) で
集めて、それでもって
- 2436 pase kamui
パセ カムイ
重い 神
位の高き神
- 2437 kamui ekashi
カムイ エカシ
神 老人
熊神さまに
- 2438 baro a-oshuke wa
パロ ア・オシュケ ワ
口 我・煮炊きする (接続)
煮炊きして食べさせた
- 2439 ne yakne,
ネ ヤクネ,
(繫辞類) (条件)
ならば、
- 2440 kamui huchi hemem
カムイ フチ ヘMEM
神 祖母 も
火のばば神さまも
- 2441 nuburi koro kuru
ヌブリ コロ クル
山 持つ 人
山の支配者
- 2442 kamui ekashi
カムイ エカシ
神 老人
熊神さまが
- 2443 shino nubetne yak ne
シノ ヌベトネ ヤク ネ
まことに 喜ぶ (条件) (繫辞類)
大喜びなされたなら、
- 2444 katkemat a-ne a
カトケマト ア・ネ ア
婦人 我・である 燃える
ただの淑女であったわれらは
- 2445 kasuno naa naa
カスノ ナア ナア
以上 まだ まだ
今以上にもっともっと
- 2446 katkemat a-ne
カトケマト ア・ネ
婦人 我・である
淑女の株があがる
- 2447 nankoro.
ナンコロ.
だろう
でしょう。
- 2448 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さま
- 2449 newa ne yakka
ネワ ネ ヤクカ
であって (繫辞類) (譲歩)
にしても
- 2450 shino nubetne
シノ ヌベトネ
まことに 喜ぶ
大喜びなさる
- 2451 nankoro.
ナンコロ.
だろう
でしょう」
- 2452 Hawash chiki,
ハワシ チキ,
言われる (条件)
そう言われて、
- 2453 aokai ne yakka
アオカイ ネ ヤクカ
我 (繫辞類) (譲歩)
あたしも
- 2454 ohaine kane
オハイン カネ
なるほど (音節調整)
もっともだ
- 2455 ari yainu-an kane.
アリ ヤイヌ・アン カネ.
(引用) 考える・我 (同時)
と思いました。
- 2456 Itak etoko
イタク エトコ
言葉 前方
姉さまの言葉が終わらぬうちに
- 2457 an-ehobuni
アネホブニ
我・～に飛び乗る
立ち上がって
- 2458 shibini-an kane.
シビニ・アン カネ.
身支度する・我 (同時)
まかないました。

2.2 異常な雪嵐

p. 41

- 2459 Tap orowa
 タブ オロワ
 これ (始点)
 それから
- 2460 utura-an wa
 ウトゥラ・アン ワ
 同行する・我 (接続)
 あたしたちは連れだつて
- 2461 kotan oshmak ta
 コタン オシマク タ
 村 陰 (場所)
 村奥へ
- 2462 baye-an awa,
 バイエ・アン アワ,
 我・行く (展開)
 行ったところ、
- 2463 orowano
 オロワノ
 (始点)
 それから
- 2464 sennekasui
 センネカスイ
 まさか
 まさか
- 2465 shiriki kuni
 シリキ クニ
 そのような有様である ように
 予想だに
- 2466 a-ramu rok i,
 ア・ラム ロク イ,
 我・思う (完了) ことには
 しなかつたことに、
- 2467 arekushkonna
 アレクシコンナ
 突然
 突然
- 2468 ubashruyambe
 ウバシルヤムベ
 吹雪
 ものすごい量の雪が
- 2469 horaochiwe shiri
 ホラオチウェ シリ
 落ちて来る 様子
 ドサドサ降り出してきて、
- 2470 koetoshtomne*¹
 コエトシトムネ
 (不詳)
 (不詳)
- 2471 oro a-kush wa
 オロ ア・クシ ワ
 所 我・通る (接続)
 今自分たちが通つて
- 2472 arki-an rok
 アラキ・アン ロク
 来る・我 (完了)
 来た
- 2473 bara ru ne yakka
 バラ ル ネ ヤクカ
 幅広い 道 (繫辞類) (譲歩)
 広い道も
- 2474 neoro ne ya
 ネオロ ネ ヤ
 どこ (繫辞類) (疑問)
 どこにあったか
- 2475 oar a-koyairambeutek,
 オアラ ア・コヤイラムベウテク,
 全く 我・わからない
 すっかりわからなくなり、
- 2476 hetopo hoshipba poka
 ヘトポ ホシバ ポカ
 逆に 戻る さえ
 すぐ引き返すことも
- 2477 a-eikap.
 ア・エアイカプ.
 我ら・できない
 できません。
- 2478 Ne wa arki-an wa
 ネ ワ アラキ・アン ワ
 どこ から 来る・我 (接続)
 どこから来て
- 2479 neun baye-an i ka
 ネウン バイエ・アニ カ
 どこに 我・行く こと も
 どこかへ行く道も
- 2480 a-erambetek.
 ア・エラムベテク.
 人々・知らない
 わかりません。
- 2481 Orowano
 オロワノ
 (始点)
 それから
- 2482 pon a-kor sapo
 ボン ア・コロ サポ
 小さい 我・もつ 姉
 姉さま
- 2483 kuchihi
 クチヒ
 帯
 の帯を
- 2484 a-yupke kishma kane
 ア・ユプケ キシマ カネ
 我・激しい 抱える (同時)
 ぎっちり握つて
- 2485 ine hunak un
 イネ フナク ウン
 (接続) どこ どこ (方向)
 いずこへか

*¹ koetoshtomne 不詳。

- 2486 **chish turanno**
チシ トウランノ
泣く ともに
泣きながら
- 2487 **baye-an.**
バイエ・アン.
我・行く
さまよい歩きました。
- 2488 **Neita shiribeker**
ネイタ シリベケレ
いつ 夜が明ける
いつ夜が明け
- 2489 **neita shirikunne ya**
ネイタ シリクンネ ヤ
いつ 日が暮れる (疑問)
いつ日が暮れたのかも
- 2490 **an-erambeutek.**
アネラムベウテク.
我・知らない
わかりません。
- 2491 **Tane anakne**
タネ アナクネ
今 は
とうとう
- 2492 **a-mi chikirbe**
ア・ミ チキリベ
我・着る 刺繍衣
着ている着物も
- 2493 **besosh ari**
ベソシ アリ
みぞれ で
降りしきる雪に
- 2494 **ukoteine**
ウコテイネ
共に濡れる
びっしょり濡れ、
- 2495 **ukorubush be**
ウコルブシ ベ
共に凍る もの
二人ともしばれてしまった
- 2496 **kone p ne kusu,**
コネ プ ネ クス,
(繫辞類) もの (繫辞類) (理由・目的)
から、
- 2497 **ukokirkeu ne^{*2}**
ウコキリケウ ネ
(不詳) (繫辞類)
(不詳)
- 2498 **ukokittama ne^{*3}**
ウコキトタマ ネ
(不詳) (繫辞類)
(不詳)
- 2499 **ushiru humi**
ウシル フミ
こすり合う 音
こすり合い
- 2500 **ukere humi**
ウケレ フミ
触れる 音
こすり合う音を
- 2501 **ukosashnatara**
ウコサシナタラ
摩擦し合う音がする
シュツシュツとさせ
- 2502 **uyuike-an.**
ウユイケ・アン.
寒さで震える・我
あたしたちはブルブル震えていました。
- 2503 **Pon a-kor sapo**
ボン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
姉さまは
- 2504 **chish turanno**
チシ トウランノ
泣く ともに
泣きながら
- 2505 **ene itak i.**
エネ イタキ.
このように 言う ことには
こう言いました。
- 2506 **Hokure hokure**
ホクレ ホクレ
早く 早く
「さあさあ
- 2507 **a-matakipo**
ア・マタキポ
我・妹
妹よ、
- 2508 **yaikoorsutke**
ヤイコオロストケ
自分を励ます
頑張って
- 2509 **ika ika**
イカ イカ
その上 その上
決して
- 2510 **e-i-obichi**
エ・イ・オビチ
汝・我を放す
わらわの手を放さない
- 2511 **kotom an na.**
コトム アン ナ.
ようである ある ぞ
ようになさいよ。
- 2512 **Sonno hetapne**
ソンノ ヘタプネ
真に これ
ほんとにまあ、

*2 ukokirkeu ne 不詳。

*3 ukokittama ne 不詳。

- 2513 **okai be tashi**
オカイ ベ タシ
あるもの (強調)
そうあるものが
- 2514 **shiriwen hene**
シリウェン ヘネ
悪天候 も
悪天候
- 2515 **ne apkusu**
ネ アプクス
(繫辞類) としても
であるとしても、
- 2516 **ormashkinno**
オロマシキンノ
あまりにも
あまりにも
- 2517 **yupkecashba wa**
ユプケカシバ ワ
激しすぎる (接続)
激しすぎて
- 2518 **ene humash i**
エネ フマン
このように 気配がする こと
このようにあるもの
- 2519 **tambe ne ya.**
タムベ ネ ヤ.
これ (繫辞類) (疑問)
かしら。
- 2520 **Sonno hetapne**
ソンノ ヘタプネ
真に これ
ほんとにまあ、
- 2521 **pirika shiripirika kane**
ピリカ シリピリカ カネ
よい 天気がよい (同時)
すばらしい上天気になった
- 2522 **shiran wa**
シラン ワ
有様である (接続)
ようだから、
- 2523 **soyunpa-an awa,**
ソユンパ・アン アワ,
外に出る・我 (展開)
外出したのに、
- 2524 **ene shiriki**
エネ シリキ
このように そのような有様である
こんな天気に
- 2525 **tambe ne ya.**
タムベ ネ ヤ.
これ (繫辞類) (疑問)
なろうとは。
- 2526 **Hemanta a-ye kusu**
ヘマンタ ア・イエ クス
何 我・言う (理由・目的)
わらわが何を言ったとて
- 2527 **ene an irenka sanke**
エネ アン イレンカ サンケ
このように ある 意図 出す
あのような提案を
- 2528 **hoshkino a-ki. orowa**
ホシキノ ア・キ. オロワ
先に 我・する (始点)
最初にわらわが出した。
- 2529 **orkikita**
オロキキタ
やむを得ないなら
いっそのこと
- 2530 **shinen a-ne wa**
シネン ア・ネ ワ
一人 我・である (接続)
わらわが一人で
- 2531 **ek-an wa**
エク・アン ワ
来る・我 (接続)
来た
- 2532 **neino ne yakne**
ネイノ ネ ヤクネ
ように (繫辞類) (条件)
のなら
- 2533 **rai-an hene**
ライ・アン ヘネ
死ぬ・我 も
わらわが死んでも
- 2534 **nekona hene ne yakka**
ネコナ ヘネ ネ ヤクカ
どのようにも (繫辞類) (譲歩)
どうなっても
- 2535 **nep ne ka a-ramu ka**
ネプ ネ カ ア・ラム カ
何 (繫辞類) も 我・思う も
何にも思いも
- 2536 **somoki p ne koroka,**
ソモキ プ ネ コロカ,
しないもの (繫辞類) (逆接)
しないのだが、
- 2537 **konepkeukata**
コネプケウカタ
何ということか
あああわれな!
- 2538 **konepkashita**
コネプカシタ
何としたことか
ああかわいそうに!
- 2539 **a-wenrenkabi**
ア・ウェンレンカビ
我・悪しき定め
わらわがよけいな提案を
- 2540 **okai rok kusu,**
オカイ ロク クス,
ある (完了) (理由・目的)
したせいで、

- 2541 **kamui a-matakipo**
カムイ ア・マタキポ
神 我・妹
神の如きわが妹
- 2542 **ukokushishno***4
ウコクシシノ
ともに
といっしよに
- 2543 **rai ne yakka**
ライ ネ ヤクカ
死ぬ (繫辞類) (譏歩)
死ぬにしても
- 2544 **sem katu ne**
セム カトゥ ネ
(否定) 様 (繫辞類)
異常な
- 2545 **a-ekarkar kusu**
ア・エカラカラ クス
我・する (理由・目的)
死に方を
- 2546 **ene shiri ki**
エネ シリ キ
このように 様子 する
しようとしている
- 2547 **tambe ne ya.**
タムベ ネ ヤ.
これ (繫辞類) (疑問)
のか」
- 2548 **ari chish turanno**
アリ チシ トウランノ
(引用) 泣く ともに
と泣きながら
- 2549 **hawash chiki,**
ハワシ チキ,
言われる (条件)
おっしやったから、
- 2550 **otu chishwembe**
オトゥ チシウエムベ
二つの 涙
はらはらと
- 2551 **ore chishwembe**
オレ チシウエムベ
三つの 涙
たくさんの涙を
- 2552 **a-yayekote.**
ア・ヤイエコテ.
我・自身にに結ぶ
あたしは流しました。
- 2553 **Konepkeukata**
コネプケウカタ
何ということか
あああわれな!
- 2554 **konepkashita**
コネプカシタ
何としたことか
おおお気の毒に!
- 2555 **konep wem buri**
コネプ ウェム ブリ
何 悪い 行い
なにも悪い行い
- 2556 **konep wen sambe**
コネプ ウェン サムベ
何 悪い 心臓
悪い心を
- 2557 **pon a-kor sapo**
ポン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
姉さまが
- 2558 **koro wa**
コロ ワ
持つ (接続)
持つて
- 2559 **i-shiren i**
イ・シレニ
我・誘う こと
あたしを誘った
- 2560 **ne wa kusu,**
ネ ワ クス,
(繫辞類) (接続) (理由・目的)
わけでもないのに、
- 2561 **arwen shiriwen**
アラウエン シリウエン
ひどい 悪天候
ひどい天気になった
- 2562 **wen renkabi**
ウェン レンカビ
悪い 悪だくみ
そのせい
- 2563 **okai rok kusu,**
オカイ ロク クス,
ある (完了) (理由・目的)
で、
- 2564 **tane anakne**
タネ アナクネ
今 は
今はとうとう
- 2565 **rai ne manu p**
ライ ネ マヌ プ
死ぬ (繫辞類) という もの
死とかいうものを
- 2566 **uwesamanno**
ウウェサマンノ
いっしよに
いっしよに
- 2567 **a-ki kusu**
ア・キ クス
我・する (理由・目的)
迎えようとする

*4 原綴 ikakushishno

- 2568 humash chiki,
フマシ チキ,
気配がする (条件)
ところらしいから、
- 2569 yayoshkoro keutum
ヤヨシコロ ケウトウム
口惜しい 心
くやしい気持ちが
- 2570 a-yaikore.
ア・ヤイコレ.
我・もつ
生じました。
- 2571 Konepkeukata
コネプケウカタ
何ということか
あああわれな!
- 2572 konepkashita
コネプカシタ
何としたことか
おおお気の毒に!
- 2573 I-resu yubi
イ・レス ユビ
我・育てる 兄
兄さまが
- 2574 ene hetapne
エネ ヘタプネ
このように これ
あんなにもまあ、
- 2575 tun a-ne wa
トゥン ア・ネ ワ
二人 我・である (接続)
あたしたち二人を
- 2576 chituyashkarap
チトゥヤシカラブ
憐れむこと
いとおしんで
- 2577 i-esambehauke
イ・エサムベハウケ
我・可愛がる
情け深く可愛がって
- 2578 shiriokai awa,
シリオカイ アワ,
ようである (展開)
くださっていたのに、
- 2579 sembirke ta
セムビリケ タ
陰 (場所)
お留守のときに、
- 2580 tane anakne
タネ アナクネ
今 は
いまや
- 2581 rai ne yakka
ライ ネ ヤクカ
死ぬ (繫辞類) (譲歩)
死ぬにしても
- 2582 sem katu ne
セム カトゥ ネ
(強調) 様 (繫辞類)
異常な
- 2583 a-ekarkar kusu
ア・エカラカラ クス
我・する (理由・目的)
死に方を
- 2584 a-ki kusu
ア・キ クス
我・する (理由・目的)
する
- 2585 humash chiki,
フマシ チキ,
音がする (条件)
ようだから、
- 2586 a-chishshau konna
ア・チシハウ コンナ
我・泣き声 は
あたしの泣き声が
- 2587 tununitara,
トゥヌニタラ,
美しい音が響く
響きわたり、
- 2588 I-resu yubi ohai.
イ・レス ユビ オハイ.
我・育てる 兄 (感嘆)
「兄さま、やーい」
- 2589 a-raikotenke.
ア・ライコテンケ.
我・泣き叫ぶ
あたしは絶叫しました。
- 2590 Nekona tapne
ネコナ タプネ
どのように これである
『どうにもこうにも
- 2591 orun baye-an i ka
オルン バイエ・アニ カ
(方向) 我・行く こと も
行く方向も
- 2592 erambeutek ko
エラムベウテク コ
知らない (条件)
わからなくては
- 2593 eboso kuni p
エボソ クニ プ
突き抜ける はずの もの
生きて帰ることが
- 2594 ne nankora.
ネ ナンコラ.
(繫辞類) だろうか
できるかしら』
- 2595 ari yainu-an chiki,
アリ ヤイヌ・アン チキ,
(引用) 考える・我 (条件)
と思ったから、

コタンラびとに腹を踏まれた姫が物語る

- 2596 ene wa boka
エネ ワ ボカ
このように (接続) さえ
もう
- 2597 iki-an i ka
イキ・アニ カ
する・我 こと も
どうにも
- 2598 isam kane.
イサム カネ.
無い (同時)
ならない。
- 2599 Pon a-kor sapo
ボン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
姉さま
- 2600 ne yakka
ネ ヤカカ
(繫辞類) (譲歩)
も
- 2601 somo i-ehoseno
ソモ イ・エホセノ
(否定) 我に・そむく
あたしと真逆に
- 2602 yainu p ne yakne
ヤイヌ プ ネ ヤクネ
考える もの (繫辞類) (条件)
考えているなら
- 2603 kotom korokaiki,
コトム コロカイキ,
ようである (逆接)
いいけれど、同じ考えらしく、
- 2604 Yuppo ohai.
ユプポ オハイ.
兄 (感嘆)
「兄さま、やーい」
- 2605 raikotenke kane.
ライコテンケ カネ.
泣き叫ぶ (同時)
と絶叫していました。
- 2606 Taban ubashruyambe
タバン ウバシルヤムベ
この 吹雪
この雪嵐の勢いは
- 2607 chioirkakur-
チオイリカクル・
列・群れ
どんどん強くなって
- 2608 yubu kane.
ユブ カネ.
強める (同時)
きます。
- 2609 Tane anakne
タネ アナクネ
今 は
とうとう
- 2610 kembui bakno
ケムブイ バクノ
針穴 まで
針のめどほどに
- 2611 an-eyaikeutum
アネヤイケウトウム
我・みずからの心
意識も
- 2612 oubekare.
オウベカレ.
抑える
うすれてきました。
- 2613 Hunakbakita
フナクバキタ
あるとき
いつのまにか
- 2614 pon a-kor sapo
ボン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
姉さま
- 2615 kuchihi a-obichi.
クチヒ ア・オビチ.
帯 我・手放す
の帯も放してしまいました。
- 2616 Pon a-kor sapo
ボン ア・コロ サポ
小さい 我・もつ 姉
姉さまが
- 2617 maune itak ari
マウネ イタク アリ
息である 言葉 で
息も絶え絶えに
- 2618 Matakpo sambe.
マタクポ サムベ.
妹 心臓
「大事な妹よ!」
- 2619 ari ubash tumuke un
アリ ウバシ トウムケ ウン
(引用) 雪 中 (方向)
と雪の中で
- 2620 hotuiba hawe
ホトウイバ ハウエ
叫ぶ・呼ぶ 声
呼びかける声
- 2621 tambe batek
タムベ バテク
これ のみ
それだけが
- 2622 pirika takar ne
ピリカ タカラ ネ
よい 夢 (繫辞類)
よき夢のように
- 2623 a-uweomante
ア・ウウェオマンテ
我・
聞こえてきて、

- 2624 **kunne toshir**
クンネ トシリ
暗い 洞穴
まっくらな岸辺の穴
- 2625 **toshiri chorboki**
トシリ チョロボキ
洞穴 下
水流でうがたれた穴に
- 2626 **an-i-y-eotke**
アニ・イエオトケ
我・突き落とされる
頭からつつこまれた
- 2627 **semkorachi**
セムコラチ
まるで (する) ように
みたいに、
- 2628 **nekon ne ya**
ネコン ネ ヤ
どのように (繫辞類) (疑問)
その後はどうしたやら
- 2629 **an-attaraye.**
アナトタライエ.
我・気を失う
全く気を失ってしまいました。
- 2630 **Ari an ko,**
アリ アン コ,
(引用) ある (条件)
とあって、
- 2631 **oyak ta terke.**
オヤク タ テレケ.
よそ (場所) 跳ねる
別な語り手に変わります。